

香川県立ミュージアム 年報

第 17 号（令和 6 年度）

香川県立ミュージアム

I 沿革・・・・・・・・・・・・・・ 4

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

- ①歴史展示・・・・・・・・・・・・ 5
- ②常設展示・・・・・・・・・・・・ 6
- ③特別展示・・・・・・・・・・・・ 9
- ④ロビー展示・・・・・・・・・・・・ 19
- ⑤展示案内（委託業務）・・・・ 19
- ⑥音声ガイドシステム・・・・ 19
- ⑦貸館事業・・・・・・・・・・・・ 19

(2) 館外展示

- 市町等共同企画展示・・・・・・ 19

(3) 企画・広報

- ①広報活動・・・・・・・・・・・・ 19
- ②パスポート事業・・・・・・・・ 20

(4) 展覧会企画力向上事業・・・・ 20

(5) 文化観光拠点施設機能強化事業・・ 21

2 地域連携事業

(1) 学校教育支援事業

- ①ミュージアム活用研究会・・・・ 22
- ②教員向けの講座（ティーチャーズ
プログラム）・・・・・・・・・・・・ 22
- ③収蔵資料・作品の複製教材の
制作、貸出・・・・・・・・・・・・ 22
- ④学校への広報・・・・・・・・・・・・ 22
- ⑤校外学習等への協力・・・・・・・・ 22
- ⑥職場体験学習・インターンシップ
への協力・・・・・・・・・・・・ 23
- ⑦大学との連携・・・・・・・・・・・・ 23
- ⑧博物館実習・・・・・・・・・・・・ 24
- ⑨その他の学校等との連携・・・・ 24
- ⑩体験学習室・・・・・・・・・・・・ 24

- ⑪図書コーナー・・・・・・・・・・・・ 24

- ⑫ビデオライブラリー・・・・・・ 24

(2) 地域連携活動

- ①職員の講師等の派遣・・・・・・・・ 25
- ②地域資料調査・・・・・・・・・・・・ 26
- ③ボランティア・・・・・・・・・・・・ 26
- ④香川県資料館協議会・・・・・・ 26

(3) 普及活動

- ①ワークショップ・・・・・・・・・・・・ 27
- ②食文化体験講座・・・・・・・・・・・・ 28
- ③特別展等関連行事・・・・・・・・・・・・ 28
- ④講演会・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ⑤学芸講座・・・・・・・・・・・・・・ 29

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ①寺社総合調査・・・・・・・・・・・・ 30
- ②収蔵資料の調査研究・・・・・・・・ 30
- ③資料所在等の確認調査・・・・・・ 30
- ④その他の調査・・・・・・・・・・・・ 30
- ⑤展示に係る調査・・・・・・・・・・・・ 30
- ⑥レファレンス等による対応・調査
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ⑦他機関との共同研究・・・・・・・・ 31
- ⑧研修の受講・・・・・・・・・・・・ 31

(2) 成果物公表

- ①研究成果の公表・・・・・・・・・・・・ 32
- ②刊行物・・・・・・・・・・・・・・ 34

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動

- ①購入資料・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ②寄贈資料・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ③寄託資料・・・・・・・・・・・・・・ 35
- ④移管・その他・・・・・・・・・・・・ 35
- ⑤文献資料・・・・・・・・・・・・・・ 35

(2) 資料整理保管活動

- ①収蔵資料管理システム・・・・・・・・ 35

②虫菌害対策・・・・・・・・・・・・・	36	3 調査・研究事業	
(3)館外特別利用状況		(1)調査研究活動	
①貸出利用・・・・・・・・・・・・・	37	①地域の伝統文化・技術等の	
②閲覧利用・・・・・・・・・・・・・	37	調査記録・発信事業・・・・・・・・・・	49
③画像利用・・・・・・・・・・・・・	38	②収蔵資料の再確認・調査研究・・	49
		③瀬戸内海広域・海に関わる	
分館 瀬戸内海歴史民俗資料館		記録調査・・・・・・・・・・・・・	49
1 展示・企画事業		④資料の寄贈・寄託の申し出に係る調査	
(1)館内展示		⑤展示・教育普及事業に係る調査・・	49
①常設展示・・・・・・・・・・・・・	43	⑥レファレンス等による調査・・	49
②収蔵展示・・・・・・・・・・・・・	43	⑦教育普及に伴う調査・・・・・・・・	49
③中央ロビーでのケース展示・・	43	(2)成果物の公表	
④第1展示室での漁撈用具調査研究		①研究成果の公表・・・・・・・・・・	50
報告展示・・・・・・・・・・・・・	43	②刊行物・・・・・・・・・・・・・	51
⑤休憩コーナーでの展示・・・・・・・・	43		
⑥「瀬戸内ギャラリー」企画展示・・	43	4 資料の収集・整理・保管事業	
(2)広報・・・・・・・・・・・・・	44	(1)資料収集活動	
		①民俗資料・・・・・・・・・・・・・	51
2 地域連携学習支援事業		②文献資料・・・・・・・・・・・・・	51
(1)学校教育支援活動・・・・・・・・	44	(2)資料整理保管活動	
(2)地域連携活動		①資料整理活動・・・・・・・・・・	51
①職員の講師派遣・・・・・・・・	44	②収蔵資料管理システム・・・・・・・・	51
②他機関との連携、地域の活動への		(3)資料の特別利用	
協力・・・・・・・・・・・・・	45	①貸出利用・・・・・・・・・・・・・	52
③ボランティア・・・・・・・・・・	46	②閲覧利用・・・・・・・・・・・・・	52
(3)普及活動		③画像利用・・・・・・・・・・・・・	52
①れきみんで瀬戸内海を楽しむ見学			
ツアー〔瀬戸内海国立公園指定90周年		分館 香川県文化会館	
記念事業〕・・・・・・・・・・・・・	46	1 展示事業・・・・・・・・・・・・・	54
②れきみんナイトミュージアム ―秋夜		2 貸館事業	
の海―〔瀬戸内海国立公園指定90周年		(1)県民ギャラリー・・・・・・・・	54
記念事業〕・・・・・・・・・・・・・	47	(2)芸能ホール・・・・・・・・・・	54
③報告会・・・・・・・・・・・・・	47	(3)和室・・・・・・・・・・・・・	54
④れきみん講座・・・・・・・・・・	47		
⑤ワークショップ・・・・・・・・	48		
⑥瀬戸内海歴史民俗資料館ツアー・・	48		
⑦その他・・・・・・・・・・・・・	48		

III 組織と運営

1 組織・職員

(1)組織図・・・・・・・・・・・・・55

(2)職員名簿・・・・・・・・・・・・・55

2 予算・・・・・・・・・・・・・55

3 香川県立ミュージアム運営協議会・・・55

4 利用状況・・・・・・・・・・・・・57

5 施設の管理状況・・・・・・・・・・・・・57

IV 施設の概要

本館

1 建築等の概要・・・・・・・・・・・・・58

2 面積・・・・・・・・・・・・・59

3 各階配置図・平面図・・・・・・・・・・・・・60

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 建築概要・・・・・・・・・・・・・62

2 面積・・・・・・・・・・・・・62

3 平面図・・・・・・・・・・・・・63

分館 香川県文化会館

1 建築概要・・・・・・・・・・・・・64

2 面積・・・・・・・・・・・・・64

3 平面図・・・・・・・・・・・・・64

V 条例・規則等

香川県立ミュージアム条例・・・・・・・・・・・・・66

香川県立ミュージアム規則・・・・・・・・・・・・・66

教育委員会の権限に属する事務の

委任・・・・・・・・・・・・・70

香川県立ミュージアムの管理運営

のための組織規則・・・・・・・・・・・・・71

香川県立ミュージアム使用料規則・・・・・・・・・・・・・72

香川県政策部文化芸術局における歴史、
美術及び民俗に関する資料収集方針・・・・・・・・・・・・・74

香川県政策部文化芸術局における歴史、
美術及び民俗に関する資料収集要綱・・・・・・・・・・・・・76

利用案内・・・・・・・・・・・・・78

I 沿革

年	月	香川県文化会館	瀬戸内海歴史民俗資料館	香川県歴史博物館
昭和 39 年	10 月	建築工事着工		
昭和 41 年	3 月	建築工事竣工		
	4 月	開館（1 日） 開館記念「第 31 回香川県美術展覧会」開催（以後毎年開催）		
昭和 47 年	1 月		建築工事着工	
	4 月		香川県教育委員会社会教育課内に設置準備室設置	
昭和 48 年	3 月		建築工事竣工	
	8 月		発足	
	11 月		開館（3 日）	
			開館記念特別展示「国宝 伝讃岐国出土袈裟襴文銅鐸」	
昭和 50 年	5 月		日本建築学会賞受賞	
昭和 55 年	3 月		漁撈収蔵庫建築工事竣工	
昭和 60 年	9 月	「県展 50 周年記念県展回顧展」開催		
		県展 50 周年記念レセプション開催、「県展史」発行		
昭和 63 年	11 月	置県百年記念「香川の工芸の 100 年展」開催		
平成 6 年	4 月			香川県教育委員会に建設準備室設置
平成 8 年	7 月			建築工事起工
平成 9 年	9 月	第 1 回 JIA25 年賞受賞		
平成 10 年	10 月		公共建築百選顕彰	
平成 11 年	3 月			建築工事竣工
	11 月			開館（16 日）
平成 12 年	4 月			開館記念特別展「徳川御三家展」開催
平成 15 年	7 月		開館 30 周年記念建造物「歴民の灯台」除幕式	
平成 17 年	11 月			文化財保護法第 53 条に基づく公開承認施設として承認される
平成 19 年	4 月		瀬戸内海歴史民俗資料館が香川県歴史博物館の分館となる	
		香川県立ミュージアム		
平成 20 年	4 月	香川県歴史博物館と香川県文化会館を統合し香川県立ミュージアム開館（1 日）		
		本館（旧歴史博物館）のほか、文化会館と瀬戸内海歴史民俗資料館の 2 分館体制となる（文化会館は改修工事のため一時休館）		
		開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」開催		
平成 21 年	4 月	文化会館の改修が終わり、県民ギャラリーがオープン		
平成 22 年	10 月	県立ミュージアム入館者 50 万人達成（13 日）		
	11 月	公開承認施設 更新		
平成 24 年	9 月	本館常設展示室 2・4・5、多目的室を改修		
平成 25 年	10 月	県立ミュージアム入館者数 100 万人達成		
		瀬戸内海歴史民俗資料館が DOCOMOMO Japan「日本におけるモダンムーブメントの建築 164」選出		
平成 27 年	3 月	瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵「西日本の背負運搬具コレクション」310 点が国重要有形民俗文化財に指定される		
	11 月	公開承認施設 更新		
令和元年		県立ミュージアム入館者数 150 万人達成		
令和 2 年		瀬戸内海歴史民俗資料館 第 1 展示室天井耐震改修、「瀬戸内ギャラリー」開設		
	11 月	公開承認施設 更新		
令和 5 年		瀬戸内海歴史民俗資料館開館 50 周年		
令和 6 年	12 月	瀬戸内海歴史民俗資料館が国の重要文化財に指定される		

II 事業の概要

本館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

① 歴史展示

歴史展示室では、香川県の生い立ちから現代までの歩みを通観できるよう、「かがわ今昔 ―香川の歴史と文化―」と題して、原始・古代・中世・近世・近現代の5つの時代に分け、各時代を計20の大項目にそって展示を行っている。各時代入口には、象徴する建物や景観等を再現したメイン展示とあらましを紹介した映像（歴史ショーステージ）を配し、時代状況を捉えやすくしている。さらに、展示内容をより詳しく紹介するために、各時代の番組をタッチパネル式のモニターで放映している（詳覧映像）。

歴史展示室は固定的な展示物も多いため、その内容が大きく変わることはないが、調査研究の成果を展示に反映するとともに、展示資料の保護と収蔵資料の活用を目的として資料の展示替えを実施している。令和6年度は6月・9月・12月、令和7年3月に定期的な展示替えを行った。

【展示替え実績】

第1回	令和6年6月10日（月）	41件143点
第2回	令和6年9月9日（月）	41件 49点
第3回	令和6年12月16日（月）	41件 43点
第4回	令和7年3月9日（日）	41件 51点

歴史展示一覧

時代	原始	古代	中世	近世	近現代
	讃岐のあけぼの	古代の讃岐	躍動する武士と讃岐	江戸時代の社会と人々の暮らし	香川県の成立と発展
メイン展示	縄文の森 竪穴住居	今岡古墳出土埴輪組合陶棺 乾漆聖観音坐像 讃岐五大師	志度寺演技 白峯寺十三重塔 明王寺釈迦堂瓦 蒙古襲来絵詞	江戸講中燈籠 高松塩飽漁場争論裁判状 高松城下図屏風 四国古図 庄屋の蔵 讃岐の生んだ人物	昭和初期の教室 昭和20年代の住宅
詳覧展示	氷河期を生き抜いた人々 旧石器時代の暮らし 石器をつくる 森と海に生きる人々 瀬戸内海の成立 縄文土器 自然の中で生きる（海の暮らし） 自然の中で生きる（山の暮らし） 新しい文化の伝来 米を作る暮らし 弥生の技術 弥生人の祈り 争いとムラの統合	支配者の誕生 前方後円墳の時代 ムラのくらしと渡来系文化 律令国家と讃岐 讃岐国の成立 条里制 寒早十首の世界 仏教文化の伝来と発展 変容 国分寺と古代寺院 讃岐の高僧たち 仏教の変容と末法思想 律令体制の変容 地方政治の変質と純友の乱	武家政権の成立 崇徳上皇と源平合戦 讃岐の荘園 公領 蒙古襲来 細川氏の支配と文化 細川氏と讃岐 中世の流通 中世讃岐の神仏信仰 信仰の広がり 讃岐の戦国時代 細川氏から三好氏へ 長宗我部元親と讃岐	統一政権と生駒藩 統一政権と生駒藩 生駒氏の讃岐支配 生駒騒動 三藩の成立 高松藩の成立 丸亀 多度津藩の成立 幕府領と朱印地 讃岐三白と廻船 町のくらし 村のくらし 讃岐廻船と湊の発達 金毘羅参詣と四国廻路 金毘羅参り 四国廻路と旅する人々 幕末の動乱 開国と攘夷のはざままで 幕末外交使節と讃岐人の活躍 明治維新と讃岐の動向	香川県の成立 藩から県へ 博文社と分県独立運動 第三次香川県の成立 文明開化と殖産興業 「開化」と人々のくらし 博覧会と産業の近代化 デモクラシーと民衆 日清 日露戦争と農村の変化 大衆文化と観光地の発展 民衆運動のたかまり 戦中 戦後の県民生活 15年戦争のはじまり 戦後の復興
詳覧映像	瀬戸内海の2万年 銅鐸絵画の世界	讃岐の古代遺跡 讃岐のみほとけ 菅原道真と讃岐	水主神社の経函 中世の埋納銭	寛政の百姓一揆 讃岐三白 庄屋の蔵ガイダンス映像	香川の近代建築1 2 汽車が電車が香川を走る 戦後の公営住宅

②常設展示

歴史・美術にかかわるテーマの展示を、収蔵品を中心に企画し、5つの展示室で展示している。一部の展示について、観覧の補助として展示ごとの解説シートを作成し、観覧者へ無料配布した。また、各会期中には担当者によるミュージアムトークを実施した。各展示の内容・会期等は、表「常設展示一覧」参照。

〔常設展示室1〕

通年の「高松松平家歴史資料コーナー」と「テーマ展示」の二部からなる。

「高松松平家歴史資料コーナー」では甲冑や大名行列道具等の複製品や参勤交代等で用いられた藩主専用船の一室を復元した「御座之間」を通年展示し、松平家に伝来した書画、武具、古文書等の資料を順次展示している。

「テーマ展示」は6企画を実施した。

「学ぶ高松藩 一講道館と考信閣」は、高松藩の藩校・講道館と歴史編さんに取り組んだ考信閣をはじめ、高松藩の学問への取り組みを紹介した。主な展示資料は「歴朝要紀稿本」、「考信閣新成因詠歌」等。関連事業：学芸講座「学ぶ高松藩 一講道館と考信閣」（6月15日）。

「すごろくと子どもたち」は、夏休み子どもミュージアム企画として開催し、明治～昭和時代のすごろくを通してむかしの子どもの世界を紹介した。主な展示資料は「新板金毘羅道中双六」、「観音寺町優良商店案内 商売繁栄双六」等。

「近代能楽がつむぐ縁 一松平頼寿と中野武宮」は、公益財団法人松平公益会の助成を得て、金沢能楽美術館の協力のもと、中野家と松平家の能道具を紹介した。主な展示資料は、「中野随郷（武宮）購入 宝生流謡」（中野家コレクション）、中村直彦「能面標本」（同前）、野村万蔵「俊寛」等。

「源平合戦を描く」は、『平家物語』等の軍記物で語られた源平合戦について屏風や錦絵で紹介した。主な展示資料は歌川国芳「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」、「源平合戦図屏風」、邨田丹陵「屋島合戦画帖」等。関連行事：学芸講座「源平合戦はどう描かれたか」（11月23日）。

「日本伝統工芸展連携企画 香川の人間国宝」は、香川ゆかりの重要無形文化財保持者（人間国宝）による収蔵品を紹介した。主な展示品は、音丸耕堂「彫漆紅花緑葉料紙文庫」、磯井正美「蒟醬存清林間飛翔箱」等。

「お雛様と道具たち」では、高松松平家伝来の雛人形・雛道具を展示した。なお、重要文化財「木造倭迹々日百襲姫坐像」（国所有）を特別公開（令和7年2月4日～4月13日）した。

常設展示室1の展示にあたり公益財団法人松平公益会の助成を受け、解説シートを作成した。

〔常設展示室2〕

特別展開連企画と、当館収蔵のアート・コレクションを活用した6企画を実施した。

「特別展開連企画 皇室と高松松平家 一大正時代の行啓」は、大正11年（1922）に披雲閣に摂政宮（後の昭和天皇）が滞在した際の資料を紹介した。主な展示資料は、「銀花瓶（摂政宮下賜）」（松平公益会）、「摂政宮殿下御来県記念帖」（同前）ほか。

「アート・コレクション 生誕120年記念 イサム・ノグチ」は、テーマに沿ってイサム・ノグチの作品を通期で紹介した。

「I ORIGAMI」は、平面から立体に変身した先品として、「中国袖」、「リス」、「道化師のような高麗人参」を紹介した。「II おりがみ」は、夏休み子どもミュージアム企画として、Iの作品を子供たちにわかりやすく解説を加えて紹介した。「III AKARI」は、イサム・ノグチが岐阜提灯との出会いを機に生み出した、光の彫刻「あかり」を展示した。関連事業：学芸講座「イサム・ノグチの創作に触れる」（11月9日）。「IV 庭」は、日本の庭から着想を得た「夢窓国師の教え」を紹介した。「V ひとがた」は、具象から抽象まで人のかたちにつまざるノグチの彫刻作品として「ジョエラ・レヴィの肖像」「ジョン・オールデン・カーペンター」、「こいびと」、「ミラー」、「ラジオ・ナース」を紹介した。

〔常設展示室3（空海室）〕

「弘法大師空海の生涯と事績」と題し、通年で香川県ゆかりの弘法大師空海の生涯の歩みを中心に紹介する。展示室は京都東寺の灌頂院（重要文化財）の内部空間を部分的に縮小し、曼荼羅と五大尊を掲出した内陣空間を再現し、密教儀礼の場面を演出している。曼荼羅と五大尊は実物の複製品と復元制作品を定期的に入れ替えている。重要文化財「光厳天皇宸翰奉納心経」を特別公開（4月16日～5月26日）した。

〔常設展示室4・5〕

当館収蔵品を活用した企画等3企画を実施した。

「新収蔵品展」は、令和3年度から5年度にかけて新たに収蔵した資料の中から未公開のものを中心に紹介した。主な展示資料は「刀 棗加賀守包高」、「源内焼三彩軍配形脚付鉢」、葛西崇「永劫性と回帰性の思惟…1976D」。関連事業：学芸講座「明治の香川と芝居」（8月18日）

「アート・コレクション 金工にみる花鳥風月」は、香川県出身の金工家たちの作品を紹介した。主な展示品は、北原千鹿「蛙半跏像壁掛」、大須賀喬「華と蛙」等。

「アート・コレクション 小林萬吾 一師に学び、歩んだ道」は、香川県出身の画家・小林萬吾について、県内所蔵者の作品も紹介した。主な展示品は「花鈿」、「赤布を纏える女」（個人蔵）等。関連事業：学芸講座「小林萬吾 一師に学び、歩んだ道」（令和7年2月22日）。

常設展示室 2			
特別展関連企画 皇室と高松松平家 —大正時代の行啓 No.139	大正時代の行啓の資料を中心に、皇室と高松松平家、香川県との関わりを紹介した。	4. 16(火)～5. 26(日) [41 日間]	4. 28(日) 5. 6(月・振休)
アート・コレクション 生誕 120 年記念 イサム・ノグチ I ORIGAMI	日本の「折り紙」のように薄いブロンズ板を折り畳むかのように接合して制作されたノグチの彫刻作品を紹介した。	5. 28(火)～7. 15(月・祝) [49 日間]	6. 29(土) 7. 13(土)
夏休み子どもミュージアム アート・コレクション 生誕 120 年記念 イサム・ノグチ II おりがみ	子どもたちが楽しく美術に親しめるように、作品解説や展示に工夫をして紹介した。	7. 19(金)～9. 1(日) [45 日間]	8. 17(土)
アート・コレクション 生誕 120 年記念 イサム・ノグチ III AKARI	1951 年に岐阜提灯との出会いを機に生み出した光の彫刻である AKARI を紹介した。	9. 10(火)～12. 1(日) [83 日間]	9. 23(月・振休) 10. 6(日) 11. 24(日)
アート・コレクション 生誕 120 年記念 イサム・ノグチ IV 庭	日本の庭から着想した「夢窓国師の教え」を紹介した。	12. 3(火)～R7. 3. 2(日) [90 日間]	12. 15(日) 1. 18(土) 2. 23(日・祝)
アート・コレクション 生誕 120 年記念 イサム・ノグチ V ひとがた	具象から抽象まで人のかたちにまつわる彫刻作品を紹介した。	R7. 3. 11(火)～4. 13(日) [34 日間]	R7. 3. 20(木・祝)
常設展示室 3			
弘法大師空海の生涯と事績	空海の生涯と事績について関連資料を通して紹介。空海ゆかりの国宝・重要文化財等貴重な資料の複製品を中心に、館蔵の遍路関係資料も展示した。	1 期：3. 19(火)～6. 9(日) 2 期：6. 11(火)～9. 1(日) 3 期：9. 10(火)～12. 15(日) 4 期：12. 17(火)～R7. 3. 16(日) 5 期：3. 18(火)～6. 9(日)	—
常設展示室 4・5			
新収蔵品展	令和 3～5 年度に新たに収蔵した資料・作品の中から、未公開のものを中心に紹介した。	8. 8(木)～9. 1(日) [25 日間]	8. 18(日)
アート・コレクション 金工にみる花鳥風月	館蔵品から、作家たちが技巧を凝らし、自然の美しい景色や動植物の装飾を施した金工作品を紹介した。	11. 19(火)～12. 22(日) [34 日間]	11. 30(土) 12. 14(土)
アート・コレクション 小林萬吾 一師に学び、歩んだ道 No.146	香川県出身の画家、小林萬吾について、師であった黒田清輝との関わりを振り返りつつ、作品を紹介した。	R7. 2. 4(火)～4. 13(日) [69 日間]	R7. 2. 9(日) 3. 15(土) 4. 5(土)

※No. は解説シート発行番号。1「高松松平家歴史資料」及び12「弘法大師空海の生涯と事績」についても個別解説シートを作成した。

③特別展示

令和6年度は、大規模な展覧会を含む計4回の特別展を実施した。

各展示ともX(旧Twitter)・Instagram・FacebookのSNSを活用し、それぞれの見どころや概要を分かりやすく投稿する等の情報発信に努めた。

とくに春の特別展においては、全5回のプレゼントキャンペーンを実施し、当選者総数21口に対し、応募総数437人を得て、展覧会の訴求効果を高められた。また来館者自身によるSNSへの投稿を促すため、撮影フォトスポットを用意し、インバウンド向けのハッシュタグキャンペーンにも取り組んだ。

また、本年度より初めて、閉館後に学芸員の解説付きで展覧会を鑑賞する、人数限定の体験メニュー「プレミアムナイトツアー」(以下、「PNT」)を開催した(詳細は後述)。これまでにない参加者の満足度を高める事業とし、旅行情報サイト「じゃらんnet」で申し込みを受け付け、OTA(オンライン・トラベル・エージェント)の活用に取り組んだ。

春の「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川」は、皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室ゆかりの作品42件(宮内庁及び文化庁所有)から、伝空海筆の書跡、藤原佐理ら「三跡」の名筆や、伊藤若冲《動植綵絵》(国宝)等、中世から近代の絵画の名品、香川県出身作家等の近代の工芸品を展示した。なお香川県が大正の大札の折に主基(すき)国と定められた機縁から、当時の御慶事に関わる品々も紹介した。とくに、「藤原佐理筆詩懷紙」(国宝)ほか当館収蔵品、金刀比羅宮所有の伊藤若冲筆「百花の図」・岸岱筆「若松の図」(香川県指定有形文化財)や本県に所在する香川の文化財を交えた総数64件94点により、日本文化はじめ香川の歴史や皇室と香川とのゆかりをたどることができた。

なお、当館としては初めて外国人来場者を強く意識した対応を実施した。ポスター等、各種印刷物及び会場の掲出物等において日本語・英語の表記に取り組み、完全英語版のチラシ、作品目録、アンケートも手掛けた。

観覧者の理解を促すため、音声ガイドダンス(プログラム30、機器レンタル40台)を作成し、2,476台貸出(有償)した。学芸員によるロビートークを全8回実施し、計258人の参加があった。PNT「伊藤若冲を堪能！」(2回、参加料3,000円)を実施し32人の参加があった。展覧会図録(本文112頁、AB判)を発行した。なお本事業は、皇居三の丸尚蔵館と主催し、文化庁、金刀比羅宮、紡ぐプロジェクト、読売新聞社の特別協力を得て、令和6年度地域ゆかりの文化資産を活用した展覧会支援事業として補助を得た。

秋の「美術を探求 ギモンにせまる」は、「素材」

「技法」「題材」の3つのギモンを切り口に構成した。当館の20世紀美術作品、猪熊弦一郎、太田儔、田中岑等の香川ゆかりの作家からピカソ、ルオー等の海外の作家まで、絵画や版画、彫刻、工芸といった様々なジャンルの作品50件を、美術資料、歴史・民俗資料も交えながら展示し、総展示数は84件102点になった。

美術作品コレクションを中心とした特別展は、2018年に開催してから6年ぶりの企画であり、これまでとは異なる「ギモン」という視点で観覧者に美術に親しみやすい視点や観点を提供することができた。会期中、担当学芸員による学芸講座やミュージアムトーク4回のほか、ボランティアによるギャラリートーク4回を実施し、展示内容の理解を深める場を提供し、鑑賞の助けとして展覧会小冊子(本文16頁、A5縦判)を発行した。また、香川県立視覚支援学校、香川県内中学校美術部の協力により関連行事を実施した(詳細は別記)。PNT「秋夜の美術探訪」(2回、参加料2,000円)は42人の参加があった。

「第88回香川県美術展覧会」(県展)では、絵画・立体・工芸・書・写真の5部門で作品を募集し、計903点の応募があった。6月24日(月)~26日(水)に鑑査・審査を行い、入選469点、入賞47点を選出し、表彰式を7月14日(日)に実施した。「若手作家支援プロジェクト」の対象者(40歳以下の入賞者)は7人であった。各部門の審査風景はじめ審査員による入賞作品の解説を撮影した動画をYouTubeで配信した。会期中「若手作家支援プロジェクト作品展示」を初開催し、1階エントランスホールにおいて第87回県展における40歳以下の受賞者3人の作品を展示した。なお、本事業は公益財団法人南海育英会の助成を得た。

「第71回日本伝統工芸展」は、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門のうち、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品、入賞作品、香川ゆかりの作家の入選作品等220点を展示した。連携企画として常設展示「香川の人間国宝」を同時会期で開催した。関連行事は外館和子氏(多摩美術大学教授)による講演会、伝統工芸子ども鑑賞コース「うるしにチャレンジ」は「彫漆技法」を児童と保護者が一緒に体験・観覧するファミリーワークショップとして実施した。PNT(1回、参加料2,500円)は22人の参加があった。なお、本事業は令和6年度文化財関係国庫補助事業として実施し、公益財団法人南海育英会及び公益財団法人松平公益会の助成を得た。

特別展示一覧

展示名 観覧料	会 期	内 容	入場者数
皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川	4. 20(土)～5. 26(日) [33 日間]	皇居三の丸尚蔵館が収蔵する皇室ゆかりの美術品より、中世から近世、近代の工芸や彫刻―特に香川県をはじめとする四国にゆかりのある作品を中心に皇室の美術品と関わりの深い香川の文化財も交え、64 件の作品により皇室と香川を結ぶ美の世界を紹介した。なお本展にあわせて常設展示室で関連展示と特別公開を行った。	23,070 (164) () は外国人の数
一般：1,400 円 前売・団体：1,100 円			
第 88 回香川県美術展覧会	1 期 [絵画・立体] 7. 9(火)～7. 15(月・祝) 2 期 [工芸・写真] 7. 19(金)～7. 25(木) 3 期 [書] 7. 29(月)～8. 4(日) [21 日間]	公募による美術展覧会。絵画・立体・工芸・書・写真の 5 部門で開催。入選・入賞ほか審査員の作品等を含む全 505 点を展示した。「若手作家支援プロジェクト作品展示」を初開催した。	1 期： 3,085 2 期： 1,885 3 期： 1,220 計 6,190
一般：750 円 前売・団体：600 円			
美術を探求 ギモンにせまる	9. 14(土)～11. 10(日) [50 日間]	当館のコレクションを中心とした絵画や彫刻、工芸といった近現代の作品とともに、鑑賞のヒントとなる古文書や写真、生活資料等を展示した。それぞれの作品について、「ギモン」を切り口に作品に表現されたものやそのイメージ、素材、時代感等の様々な視点から全 84 件の作品を紹介した。	4,562
一般：500 円 前売・団体：400 円			
第 71 回日本伝統工芸展	R7. 1. 2(木)～1. 19(日) [18 日間]	陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の 7 部門の重要無形文化財保持者の作品、受賞作品及び四国在住作家の入選作品等 220 点を展示した。	4,486
一般：700 円 前売・団体：560 円			

皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川



皇居三の丸尚蔵館名品選
美が結ぶ
皇室と香川

Exhibition from The Museum of the Imperial Court
Beauty Connecting the Imperial Court and Kagawa

令和6年
2024.4.20〔土〕
-5.26〔日〕 April 20 - May 26, 2024

The Kagawa Museum
香川県立ミュージアム

〒760-0001 香川県高松市宮内町5番号
TEL:087-822-0002
http://www.pref.kagawa.lg.jp/kagawa-museum/

開館時間 午前9時～午後5時 ※入館は開館30分前まで
休館 9月30日～10月31日 (休館日と9月30日)
※ 9月30日(月) 10月1日(火) 10月2日(水) 10月3日(木) 10月4日(金) 10月5日(土) 10月6日(日) 10月7日(月) 10月8日(火) 10月9日(水) 10月10日(木) 10月11日(金) 10月12日(土) 10月13日(日) 10月14日(月) 10月15日(火) 10月16日(水) 10月17日(木) 10月18日(金) 10月19日(土) 10月20日(日) 10月21日(月) 10月22日(火) 10月23日(水) 10月24日(木) 10月25日(金) 10月26日(土) 10月27日(日) 10月28日(月) 10月29日(火) 10月30日(水) 10月31日(木)

観覧料 1,000円、中学生以下は500円、小学生以下は無料
中学生以下は観覧料無料
お持ちの方は観覧料無料
小学生以下、65歳以上、障害者手帳
お持ちの方は観覧料無料
小学生以下、65歳以上、障害者手帳
お持ちの方は観覧料無料



出品一覧

番号	指定	作品名	作者名	員数	材質・技法	制作時代	所蔵者	展示
第1章 皇室が紡ぐ日本の美								
1		孫過庭書譜断簡	伝空海	1幅	紙本墨書	平安時代 (9世紀)	皇居三の丸尚蔵館	通期
2		与本国使請共帰啓	伝空海	1巻	紙本墨書	平安時代 (11世紀)	皇居三の丸尚蔵館	通期
3		玉泉帖	小野道風	1巻	紙本墨書	平安時代 (10世紀)	皇居三の丸尚蔵館	通期
4		小野道風像	伝頼寿	1幅	紙本着色	鎌倉時代 (13世紀)	皇居三の丸尚蔵館	通期
5	国宝	詩懷紙	藤原佐理	1幅	紙本墨書	平安時代 安和2年(969)	香川県立ミュージアム	通期
6		恩命帖	藤原佐理	1巻	紙本墨書	平安時代 (10世紀)	香川県立ミュージアム	通期
7		敦康親王初観関係文書	藤原行成	1幅	紙本墨書	平安時代 寛弘2年(1005)	皇居三の丸尚蔵館	通期
8		北野天神縁起絵巻 (六巻本) 巻二		1巻	紙本着色	室町時代 (16世紀)	皇居三の丸尚蔵館	通期(会期中場面替)
9		西行物語絵巻 巻三	尾形光琳	1巻	紙本着色	江戸時代 (18世紀)	皇居三の丸尚蔵館	通期(会期中場面替)
10		花鳥之図	荒木寛畝	3幅	絹本着色	明治39年(1906)	皇居三の丸尚蔵館	通期
第2章 金刀比羅宮ゆかりの絵師たち								
11	国宝	動植綵絵	伊藤若冲					

11-1		芍薬群蝶図		1 幅	絹本着色	江戸時代 宝暦 7 年(1757)頃	皇居三の丸尚 蔵館	通期
11-2		向日葵雄鶏図		1 幅	絹本着色	江戸時代 宝暦 9 年(1759)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
12	県指 定	百花の図	伊藤若冲	4 面	紙本着色	江戸時代 明和元年(1764)	金刀比羅宮	通期
13	県指 定	若松の図	岸岱	4 面	紙本着色	江戸時代 天保 15 年(1844)	金刀比羅宮	通期
14		旭日猛虎図	円山応挙	1 幅	絹本墨画	江戸時代 天明 7 年(1787)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
15		古柏猴鹿之図	森寛斎	1 幅	絹本着色	明治 13 年(1880)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
16		葡萄栗鼠図	森寛斎	1 幅	絹本墨画	明治 16 年(1883)	金刀比羅宮	通期
17		青年画帖	邨田丹陵 ほか	1 帖	絹本着色	明治 27 年(1894)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
18		読本と草紙	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 7-8 年(1874- 75)	金刀比羅宮	通期
19		豆腐	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 10 年(1877)	金刀比羅宮	通期
20		桜花図	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 12 年(1879)	金刀比羅宮	通期
21		鯛(海魚図)	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 12 年(1879)	金刀比羅宮	通期
22		琴平山遠望	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 14 年(1881)	金刀比羅宮	通期
23		織田信長ひそかに密勅 を五老臣に示すの図	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 26 年(1893)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
24		楠正行如意輪堂に和歌 を題するの図	高橋由一	1 面	カンヴァ ス、油彩	明治 25 年(1892)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
第 3 章 皇室を彩る四国ゆかりの美								
25		鳴門瀬戸	中川八郎	1 面	カンヴァ ス、油彩	大正 6 年(1917)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
26		大三島	松岡映丘	1 面	紙本着色	昭和 7 年(1932)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
27		画帖(香川県善通寺町献 上)		1 帖	絹本着色	大正 11 年(1922)	皇居三の丸尚 蔵館	通期(会 期中場 面替)
28		活歩	国方林三	1 点	ブロンズ、 鋳造	大正 2 年(1913)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
29		小憩	池田勇八	1 点	ブロンズ、 鋳造	大正 11 年(1922)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
30		羊置物	北原千鹿	1 点	銀、鍛造	昭和 3 年(1928)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
31		銀器大皿	鴨政雄	1 口	銀、鍛造	昭和 7 年(1932)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
32		蒔醬草花文喰籠	磯井如眞	1 合	蒔醬	昭和 33 年(1958) 頃	皇居三の丸尚 蔵館	通期
33		瑞鳥之図存清食籠	香川宗石	1 合	存清	昭和 41 年(1966)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
34		蒔醬丸盆 曙光	磯井正美	1 口	蒔醬	昭和 62 年(1987)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
第 4 章 皇室のご慶事―主基国・讃岐、大正大礼を中心に								
35		蓬萊山之図 巖ニ日之出 図・月之出図	下村観山、 横山大観	2 幅	絹本着色	明治 33 年(1900)	皇居三の丸尚 蔵館	通期
36		大正度 主基地方風俗歌 屏風	竹内栖鳳	1 双	紙本着色	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚 蔵館	通期

37		丹鳳朝陽図花瓶	海野勝珉	1 対	銀、彫金	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚蔵館	通期
38		巖上麟鳳置物	大島如雲	1 点	銀、鋳造	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚蔵館	通期
39		薩摩焼 色絵菊桐透彫香爐	沈寿官(13代)	1 合	陶磁	大正 6 年(1917)	皇居三の丸尚蔵館	通期
40		葆光白磁枇杷彫文花瓶	板谷波山	1 口	陶磁	昭和 3 年(1928)	皇居三の丸尚蔵館	通期
41		挿華(桜・橘)		1 点	銀	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚蔵館	通期
42		八稜鏡箱形ボンボニエール		1 点	銀	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚蔵館	通期
43		入目籠形ボンボニエール		1 点	銀	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚蔵館	通期
44		柏葉箱形ボンボニエール		1 点	銀	大正 4 年(1915)	皇居三の丸尚蔵館	通期
45		地球儀形ボンボニエール		1 点	銀	昭和 6 年(1931)	皇居三の丸尚蔵館	通期
46		文箱形鳥居文ボンボニエール		1 点	銀	昭和 9 年(1934)	皇居三の丸尚蔵館	通期
47		扇形三笠山に若杉桐文ボンボニエール		1 点	陶磁	昭和 16 年(1941)	皇居三の丸尚蔵館	通期
48		菊花形双鶴付ボンボニエール		1 点	銀	昭和 34 年(1959)	皇居三の丸尚蔵館	通期
49		扇形梅文ボンボニエール		1 点	銀	昭和 45 年(1970)	皇居三の丸尚蔵館	通期
50		丸形柎に扇文ボンボニエール		1 点	銀	昭和 59 年(1984)	皇居三の丸尚蔵館	通期
51		大正四年大礼写真帖		1 冊	コロタイプ	大正 6 年(1917)	皇居三の丸尚蔵館	通期
52		主基斎田田植図	西堀刀水	1 幅	絹本着色	大正 4 年(1915)	香川県文書館	通期
53		主基斎田案内		1 紙		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
54		主基斎田田植歌		1 冊		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
55		第壹回発行 大嘗祭主基斎田記念絵葉書		2 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
56		第貳回乙種田植式大嘗祭主基斎田記念絵葉書		3 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
57		第貳回発行田植式大嘗祭主基斎田記念絵葉書		2 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
58		第参回主基斎田拔穂式記念絵葉書		5 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
59		第四回主基斎田拔穂式記念絵葉書		4 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
60		大嘗祭主基殿供御粟耕作地記念絵葉書		4 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
61		大嘗祭供御米耕作地記念絵葉書		3 葉		大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
62		米(精白、木綿磨、絹磨)		3 点	米	大正 4 年(1915)	香川県立ミュージアム	通期
63		主基斎田写真帖		1 冊	コロタイプ	大正 5 年(1916)	香川県立ミュージアム	通期(会期中場面替)
64		主基斎田記録		1 冊		大正 7 年(1918)	香川県立ミュージアム	通期(会期中場面替)

美術を探究 ギモンにせまる



出品一覧

番号	作品・資料名	作者	員数	年代	サイズ(cm)	形態・素材	所蔵等
素材のギモン							
でこぼこ？ざらざら？							
1	楽譜のある静物	ジョルジュ・ブラック	1点	1927年	50.0×92.0	油彩、キャンバス	
2	モニック	ジョルジュ・ルオー	1点	1953～56年	62.0×39.5	油彩、板	
3	晩夏	岩倉寿	1点	平成2年(1990)	165.0×210.0	紙本彩色	
4	讃岐路	平山郁夫	1点	平成7年(1995)	72.7×53.0	紙本彩色	
5	津田の松原	平山郁夫	1点	昭和63年(1988)	40.0×80.0	紙本彩色	
6	シャリー(シーワ・オアシス)	藤沢章	1点	平成8年(1996)	162.0×162.0	油彩、キャンバス	
7	藤沢章取材関連資料		3点				
絵を何に描く？							
8	樹下美人	野生司香雪	1点	1920年代	198.0×98.0	絹本彩色	
9	栗鼠図	西村五雲	1幅		34.2×40.2	絹本著色	高松松平家歴史資料
10	雪山行旅	泥谷文景	1点		35.0×131.3	紙本墨画淡彩	
11	編み物をする女とそれを見る人	パブロ・ピカソ	1点	1970年	195.0×130.0	油彩、キャンバス	
12	甘露軍荼利	白髪一雄	1点	昭和48年(1973)	227.0×182.0	油彩、キャンバス	

13		集い	山尾薫明	1 点	昭和 43 年 (1968)	183.0×91.0	油彩、アクリル	
14		July1999. SCARA in London	西村記人	1 点	平成 11 年 (1999)	200.0×250.0	アクリル絵具、フィルム	
この器は何でできている？								
15		藍胎蒔醬盛器「熱帯魚」	太田儔	1 点	昭和 61 年 (1986)	8.0 × 61.0 × 17.7	漆、竹	
16		彩色蒔醬料紙硯箱	玉楮象谷	1 具	嘉永 7 年 (1854)	26.9×26.5×6.2	漆	
						40.0 × 31.1 × 11.1"		
17		蒔醬鼓箱	藤川黒斎	1 合	江戸時代	30.0×47.0×26.8	漆	
18		藍胎蒔醬茶箱「春風」	太田儔	1 合	平成 10 年 (1998)	22.4×15.7×14.6	漆、竹	
19		藍胎蒔醬綱代編飾箱	大谷早人	1 合	平成 6 年 (1994)	21.0 × 27.5 × 8.0	漆、竹	
20		存清高膳		1 膳	幕末～明治時代	42.0 × 42.0 × 24.0	漆	
21		竹製籠(豆腐籠)		1 点	昭和時代	28.0 × 21.5 × 16.5	竹	
22		唐傘(雨傘)		1 張		75.5	竹、紙	
23		提灯		1 点		33.6×径 25.0	竹、紙	
技法のギモン								
ひとくちに版画というけれど？								
24		ギターを持つ男	パブロ・ピカソ	1 点	1915 年	15.3×11.5	エングレーヴィング、エッチング、ドライポイント、アクアチント、紙	
25	場面替	マルドロールの唄	サルバドール・ダリ	1 点	1934 年	34.0×26.5	ドライポイント、紙	
26	場面替	Klange(響き)	ワシリー・カンディンスキー	1 冊	1912 年	28.5×28.5	木版、リトグラフ、紙	
27		春宵	秋山泰計	1 枚	昭和 43 年 (1968)	93.0×61.0	木版、紙	
28		版木「春宵」	秋山泰計	1 点	昭和時代	77.5 × 61.0 × 1.0	木	
29		慟哭(小品)	秋山泰計	1 枚	昭和 35～36 年 (1960～61)	60.5×39.0	木版、紙	
30		版木「慟哭(小品)」	秋山泰計	1 点	昭和時代	57.0 × 32.0 × 2.0	木	
31	前期	さぬきの高松城	川瀬巴水	1 点	大正 10 年 (1921)	39.0×26.5	木版、紙	
32	後期	香川県和田浜	川瀬巴水	1 枚	昭和 29 年 (1954)	36.3×24.1	木版、紙	
どうやって模様を繰り返している？								
33		型絵段染山水文上布長着	鎌倉芳太郎	1 枚	昭和 50 年 (1975)	157.5×128.0	麻	
34		型絵染波濤帆船文長着	鎌倉芳太郎	1 枚		165.5×128.0	麻	
35		山水文様型紙	鎌倉芳太郎	1 枚		55.0×43.8	紙	
36	前期	同行二人	秋山泰計	1 点	昭和 45 年 (1970)	90.0×61.0	木版、紙	
37	前期	冬狐	秋山泰計	1 点	昭和 59 年 (1984)	88.0×60.0	木版、紙	

38	後期	くさの恋	秋山泰計	1 点	昭和 46 年 (1971)	92.0×61.0	木版、紙	
39	後期	草の中の猫	秋山泰計	1 点	昭和 55 年 (1980)	92.0×59.5	木版、紙	
40		ボオパン C(青)	斎藤義重	1 点	昭和 46 年 (1971)	73.0×61.0	合成樹脂、 アルミ	
41		ボオパン D(赤)	斎藤義重	1 点	昭和 46 年 (1971)	73.0×61.0	合成樹脂、 アルミ	
42		ボオパン E(黒)	斎藤義重	1 点	昭和 46 年 (1971)	73.0×61.0	合成樹脂、 アルミ	
題材のギモン								
ここはどこ？								
43		牛	吉田博	1 点	明治 43 年 (1910)	66.5×99.0	油彩、キャンバス	高松松平家 歴史資料
44		讃岐小豆島案内地図	横手久太郎	1 枚	明治 36 年 (1903)	39.6×54.4	地図	個人蔵、香 川県立ミ ュージアム保 管
45		クラ		1 点	昭和時代	60.0×23.2× 49.0	木	
46	前期	牛と荷車	福岡青嵐	1 枚	明治 38～39 年 (1905～ 06)	20.8×14.7	紙本彩色	
47	後期	五月十五日 善通寺郊外 ニ於テ之ヲ写ス	福岡青嵐	1 枚	明治 38～39 年 (1905～ 06)	24.5×31.2	紙本彩色	
48		牛売渡之証	十河九平次、堀秋蔵	1 通	明治 23 年 (1890)	24.1×33.5	紙	
49		牛の写真	宮田忠彦	4 枚	昭和時代	4.4×4.3、8.9 ×12.7、9.4× 7.0、8.8×12.7	白黒写真	個人蔵、当 館保管
50		八坂神社お札	八坂神社	2 枚	平成 7 採集	24.3×6.4、5.7 ×3.8×0.6	紙、木	
51		牛ハナシの牛		1 体		74.0×13.5× 26.0	藁、葉	瀬戸内海歴 史民俗資料 館
芸術家は動物がお好き？								
52		ユーターピー	池田勇八	1 点	昭和 5 年 (1930) 頃	370×570×150	ブロンズ	
53		奔馬図	狩野探令	1 幅	大正 13 年 (1924)	119.0×238.0	紙本墨画	高松松平家 歴史資料
54		収穫の日	池田勇八	1 点	大正 10 年 (1921)	83.0×172.5	ブロンズ、 レリーフ	
55		秣	池田勇八	1 点	大正 3 年 (1914)	20.0×26.0× 11.5	ブロンズ	
56		馬具(池田勇八旧蔵)		1 組		51.7 × 68.5 35.0×42.5	革	
57		二人の裸婦と猫	猪熊弦一郎	1 点	昭和 28 年 (1953)	65.0×80.5	油彩、キャンバス	
58		人と猫 I	猪熊弦一郎	1 点	昭和 29 年 (1954)	80.0×100.0	油彩、キャンバス	
59		画室とモデル	藤川栄子	1 点	昭和 54 年 (1979)	112.0×145.0	油彩、キャンバス	
60		失題「猫」	秋山泰計	1 点		9.8×16.5	漆	
61		虎(モビール)	秋山泰計	1 点	昭和 47～60 年 (1972～ 85)	108.5×33.5× 76.1	木、漆、金銀 箔	個人蔵、当 館保管

どうしてショートケーキを描いたの？								
62		バナナ	猪熊弦一郎	1点	昭和25年 (1950)	60.6×45.5	油彩、キャンバス	
63		シュークリームのある静物	藤川栄子	1点	昭和時代(20世紀後半)	31.8×40.3	油彩、キャンバス	
64	前期	(引札)田村忠太	丸亀上通町 田村忠太	1枚	近代	37.5×25.8	孔版	
65		菓子話船橋 初編	甘泉堂 和 泉屋市兵衛	1冊	天保12年 (1841)	18.5×13.0	木版	
66		新しき研究 和洋料理の仕方	村井政義	1冊	大正12年 (1923)	19.3×13.9	洋装本	真行寺蔵、 当館保管
67		雪印バター料理の友	北海道製酪 販売組合連 合会	1冊	昭和4年 (1929)	18.4×10.4	洋装本	
68		別冊 婦人公論 冬の家庭料理	中央公論社 発行	1冊	昭和36年 (1961)	25.7×18.2	雑誌	
69		夏の部屋	藤川栄子	1点	昭和56年 (1981)	97.2×145.5	油彩、キャンバス	
70		彫刻のある窓辺	藤川栄子	1点	昭和56年 (1981)	89.7×130.8	油彩、キャンバス	
71		鴨(うずくまる)	藤川勇造	1点	昭和7年 (1932)	6.4 × 6.0 × 12.0	ブロンズ	
72		鴨	藤川勇造	1点	昭和8年 (1933)	9.7 × 11.3 × 5.6	ブロンズ	
73		増補註釈食道楽	村井弦斎	1冊	明治38年 (1905)	22.5×15.3	印刷洋装本	
74		黄色の箱のある静物	藤川栄子	1点	昭和46年 (1971)	96.9×145.3	油彩、キャンバス	
なぜ最後の日？								
75		塩田最後の日	田中岑	1点	昭和47年 (1972)	50.0×73.0	油彩、キャンバス	
76		瀬戸内	田中岑	1点	昭和38年 (1963)	90.9×60.9	油彩、キャンバス	
77		備讃瀬戸及び備後灘海路図	水路部	1枚	昭和33年 (1958)	75.8×108.0	地図、多色印刷	
78	前期	入浜式塩田	福岡青嵐	1枚	明治38～39年 (1905～06)	19.7×28.1	紙本彩色	
79	後期	丸亀郊外塩田ノ景	福岡青嵐	1枚	明治38～39年 (1905～06)	28.1×37.2	紙本彩色	
80		絵はがき 塩業のしおり		8葉	昭和時代	13.9×9.1	絵葉書、白黒写真	
81		絵葉書 坂出町		4葉		14.7×10.0	絵葉書、白黒写真	
82		かん水担桶		2点		32.0×径43.0	木	瀬戸内海歴史民俗資料館
83		担棒		1点		116.0×径7.0	木	瀬戸内海歴史民俗資料館
84		杓		1点	近代	227.2×桶部径21.7	木	

第 88 回 香川県美術展覧会

県展
2024

第1期 絵画・立体
7. 9 (火) - 7. 15 (月・祝)
第2期 工芸・写真
7. 19 (金) - 7. 25 (木)
第3期 書
7. 29 (月) - 8. 4 (日)

NEW!
若手作家支援プロジェクト作品展示
7. 9 (火) - 8. 4 (日) (1階エントランス)
絵画 丸山 心平
立体 角田 健夫
立体 園子 綾人
※第87回香川県美術展覧会で受賞した3名の方の作品を展示します。

第88回
香川県美術展覧会
絵画／立体／工芸／書／写真

開催時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
会期中は3連休(1日曜日も開催)
観覧料 ①第1・2・3期1名通して、一般700円、
前売・団体(20名以上)600円
※ただし、高校生以下、65歳以上、
障害者手帳をお持ちの方は無料

主催 香川県立ミュージアム、香川県教育委員会、
高松市・丸亀市・坂出市・観音寺市・
観音寺市・宇佐美市・香川県立美術館、
香川県教育委員会、
香川県立美術館、
香川県立美術館

The Kagawa Museum
香川県立ミュージアム
〒760-0016 高松市三好町1番3号
TEL 087-822-0222
FAX 087-822-0223
http://www.pref.kagawa.jp/kagawamuseum/



展示作品数

部門	入選数 (応募数)	無鑑 査	招 待	審 査 員	遺 作	展示 作品数
絵画	128(237)	1	10	0	0	139
立体	13(22)	1	3	1	0	18
工芸	19(30)	0	4	2	1	26
書	173(387)	0	5	4	0	182
写真	136(227)	1	2	1	0	140
合計	469(903)	3	24	8	1	505

第 71 回 日本伝統工芸展

第71回
卓越した精緻な技と美
日本伝統
The 71st Japan Traditional Kōgei Exhibition
工芸展

諸工芸
人形
木竹工
金工
漆芸
染織
陶芸

令和7年
1月2日(木)～1月19日(日)
会期中無休

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 一般700円、前売・団体(20名以上)500円
※高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料
前売 香川県立ミュージアム(～12/22(日)まで)
オンラインショップ(～1/1(金)まで)
(セゾンチケット/セゾンカード108,204円)
主催 香川県立ミュージアム、香川県教育委員会、高松市・丸亀市・坂出市・観音寺市・
観音寺市・宇佐美市・香川県立美術館、香川県教育委員会、
香川県立美術館、香川県立美術館

The Kagawa Museum
香川県立ミュージアム
〒760-0016 高松市三好町1番3号
TEL 087-822-0222
FAX 087-822-0223
http://www.pref.kagawa.jp/kagawamuseum/



展示作品数

種別	展示作品数	種別	展示作品数
陶芸	38	木竹工	21
染織	21	人形	13
漆芸	77	諸工芸	23
金工	27	合計	220

④ロビー展示

1階エントランスホールのにぎわい作りや作品鑑賞の機会拡大のため、ロビーでの展示を実施した。

期間	展示内容等	場所
通年	イサム・ノグチコーナー	1階図書コーナー
通年	ミュージアム・コレクション(剣持勇のデザイン)	1階図書コーナー・多目的室
10.1(火) ～10.14(月・祝)	かがわ文化芸術祭2024 ポスター原画展	1階エントランス ホール
10.22(火) ～11.24(日)	大島青松園入所者 作品・パネル展	1階エントランス ホール
R7.3.25(火) ～4.13(日)	ボランティア活動紹介 パネル展	1階エントランス ホール

⑤展示案内(委託業務)

展示室での来館者の誘導、展示資料の保守管理、展示見学補助や体験学習室(1階)での時代衣装の着付け、各種器具の保守管理、図書コーナー・ビデオライブラリーでの利用受付等を業務委託して実施している。なお、展示見学補助の主な内容は、各コーナーでの来館者の質問への対応であるが、業務マニュアルにはない専門的な質問については学芸課に連絡をとり対応する体制をとっている。業務日報は毎開館日の業務終了時に学芸課へ提出され、内容に応じて各担当へ報告される。

⑥音声ガイドシステム

歴史展示に関する33項目について、日本語、英語、中国語、韓国語の解説を聞くことができるポータブルROMプレーヤー10台を、歴史展示室入口で貸し出している(無料)。

⑦貸館事業

特別展示を行っていない期間に、1団体が特別展示室を利用して展覧会を開催した。総入場者数は、1,504人であった。

期間	主催者	展覧会名
R7.2.12(水) ～2.16(日)	青龍書道会	小森秀雲遺作展

(2) 館外展示

当館収蔵の美術作品をより多くの県民に鑑賞してもらうため、県内の各地域と連携し、図書館・資料館等の展示スペースを活用して紹介している。

市町等共同企画展示

東かがわ市との共催により、令和7年10月19日(土)から11月25日(月)までの33日間、東かがわ市歴史民俗資料館において「道・風景・ふるさと」と題して展覧会を開催した。木村美鈴の「小豆島のオリーブ」など、当館から香川県ゆかりの画家が描いた風景等の絵画5点と東かがわ市歴史民俗資料館収蔵の生活・文化用品12点を合わせて展示し、217人の観覧者があった。

(3) 企画・広報

①広報活動

当館の認知度向上を目標とし、広報活動を「館の活動全般への理解を、広く県内外の方々から得るための活動」と位置づけて展開した。

i) 報道機関等への情報提供

展示事業、地域連携事業だけではなく、調査研究事業の成果やボランティア活動等、当館の活動全般について報道機関へ積極的に情報を提供し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等の取材や問い合わせに対応した。主な情報提供については以下の通り。

- ・広聴広報課を通しての情報発信
広報誌『THE かがわ』内「イベントガイド」
ラジオ「RNC 西日本放送「ようこそ知事室へ」」
テレビ「OHK 岡山放送「サン讃かがわPLUS」」
- ・報道機関への情報提供
県政記者室への情報提供
- ・インターネットでの発信
「香川県HP」内公式ウェブサイト
県立ミュージアム公式SNS(X, Instagram, Facebook)
- ・新聞・出版物への原稿執筆
四国新聞「瀬戸内海を旅する」、「コレクションを読み解く」
百十四経済研究所『調査月報』に展示・収蔵品紹介
- ・地元ミニコミ誌、観光案内誌等への情報提供

ii) 広報資料の発送

当館の活動を紹介する刊行物を発行した。特別展開催前等の時期に、県内の関連機関、学校、公民館、観光施設や、県外の博物館・美術館等を中心に、展覧会をはじめとする館の活動を紹介する宣材を発送した(令和6年度は、年6回)。発送する内容によっては、特定の広報先を設定し、効果的な広報を目指した。主な送付資料は次のとおり。

- ・年間スケジュール
- ・ミュージアムNEWS vol.62・63・64号
- ・特別展等のポスター・チラシ

iii) 有料広報の展開

特別展について、以下の有料広報を行い、情報発信に努めた。

- ・新聞広告
特別展「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川」(四国新聞半5段、計3回)
特別展「第71回日本伝統工芸展」(四国新聞半5段)
- ・デジタルサイネージ
特別展「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川」(岡山駅サイネージ、大阪駅サイネージ)
特別展「高松城 一海にのぞむ城のものがたり」(岡山駅サイネージ)
- ・駅ポスター
特別展「第71回日本伝統工芸展」(JR 四国各駅)
特別展「美術を探究 ギモンにせまる」(ことடன்4駅)
特別展「高松城 一海にのぞむ城のものがたり」(JR 四国2駅、ことடன்6駅)
- ・パンフレットラック設置
当館発行の印刷物を配架(JR 高松駅、高松空港)

iv) WEB 等による発信

令和6年度のホームページトップページへのアクセス数合計は 219,813 件であった。アクセス数は前年度(199,795 件)を上回り、アクセス数集計をはじめた平成22年度以来、最多のアクセス数であった。

また、SNS を活用した情報発信を行うため、X、Instagram、Facebook、YouTube を活用し、展覧会情報、イベント情報を発信した。また Google 上のプロフィールで休館情報等を更新し、最新情報において展覧会やイベント情報を発信した。

さらに、増加しつつあるインバウンドに対応するために多言語化できるウェブサイト(四国ガイド: <https://shikoku-guide.com/information/kagawamuseum/>)を作成し、当館の情報や展覧会情報を掲載した。

② パスポート事業

平成22年度より、パスポート事業を開始している。現在の会員に対し更新の案内をするとともに、新規会員獲得のための広報を積極的に行った。

平成29年度からは、特別展の観覧料について、2回目以降半額、同伴者1人も半額にする等、パスポート購入者への特典を充実させ、さらに販売を促進するとともに、館の利用促進を図った。

また、平成29年度から法人特別展観覧券を新設し、県内の法人に広く周知して販売を促進した。

i) 個人パスポート(会員数は令和7年3月1日現在)

サービス内容

- ・歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧できる。
- ・当館主催の特別展を1回目は無料で、2回目以降は半額で観覧できる(高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は、いずれも無料)。

- ・同伴者1人は半額。
- ・講演会、学芸講座、ワークショップ等の参加でポイント進呈。
*10ポイントで記念品贈呈
- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内等を送付する(令和6年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介等、計7回送付)。

金額	対象	会員数
3,130円	一般	39人
1,040円	高校生以下、65歳以上、障害者手帳保有者	18人
有効期限	購入日から1年間	

ii) 法人メンバーズ(会員数は令和7年3月1日現在)

サービス内容

- ・法人特別展観覧券で従業員とその家族が特別展を無料で観覧できる。特別展観覧日に限り、歴史展示室と常設展示室(一般観覧料410円)を無料で観覧することができる。
- ・法人メンバーズ証で歴史展示室と常設展示室を無料で観覧できる
- ・特別展開会式に案内
- ・特別展覧会図録を進呈
※観覧券の購入冊数に関わらず1法人1冊
- ・学芸員による特別展展示解説
- ・学芸員が企業研修等で無料講義
- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内等を送付する(令和6年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介等、計3回送付)。

金額	対象	会員数
20,370円 (法人特別展観覧券1冊30枚綴り)	従業員を雇用している法人・団体、個人事業主、法人等の従業員及びその家族	0法人
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

(4) 展覧会企画力向上事業

美術や歴史に関する展覧会の企画に関し、豊富な経験を持つ学識経験者をアドバイザーに委嘱し、展覧会の企画や施設の活用等について助言を得て、施設の魅力を高め利用者の増加につながるよう、企画力の向上に努めている。

アドバイザー
水沢 勉（神奈川県立近代美術館 前館長）

基づき、国庫補助を得て以下の文化観光拠点施設機能強化事業事業を実施した。

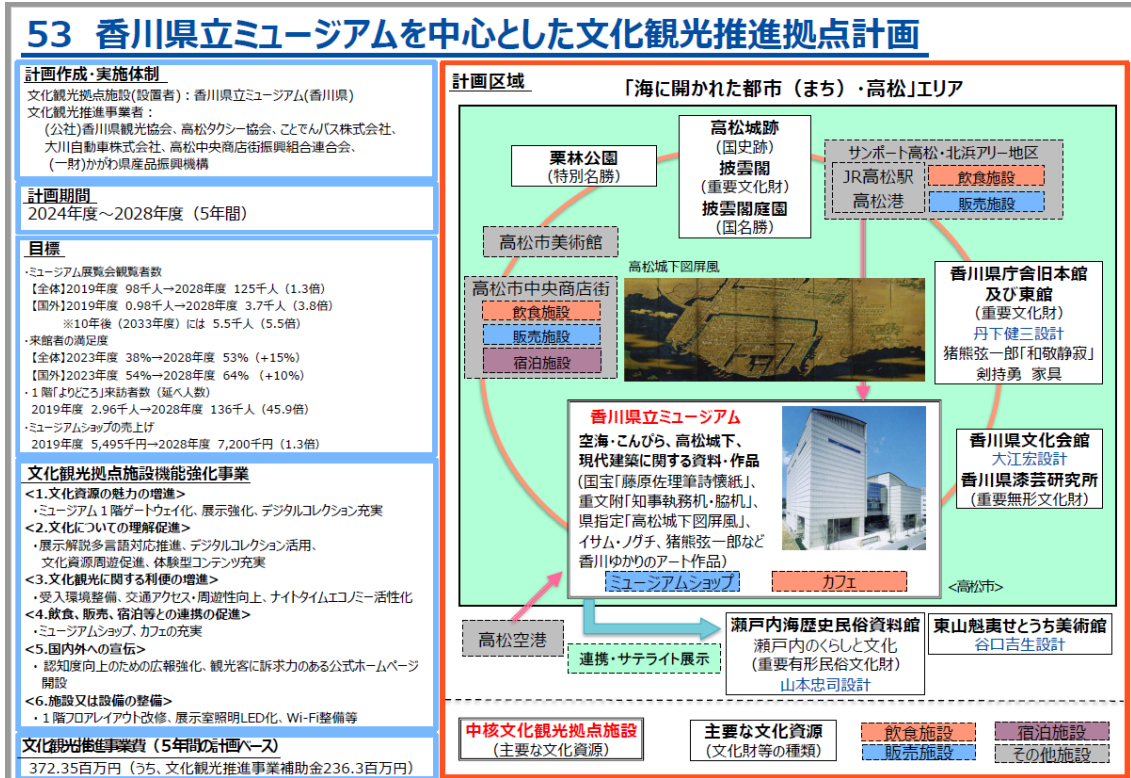
回	月日	内容等	アドバイザー
第1回	5.16(木)	・特別展講評 ・展覧会企画について	水沢勉
第2回	10.30(水)	・特別展講評 ・展覧会企画について ・文化観光推進拠点計画について	水沢勉
第3回	R7.3.26(水) *オンライン	・文化観光推進拠点計画における1階整備事業について ・展覧会企画について ・香川県美術展覧会について	水沢勉

令和6年12月～令和7年3月にかけて、高橋綾氏（運営協議会委員）に依頼し、令和7年度春の特別展に係る広報・誘客を中心に、Instagramを活用した情報発信力強化について、計5回指導を受けた。

（5）文化観光拠点施設機能強化事業

「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」（以下「文化観光推進法」という。）に基づき、令和6年度に大臣認定された「香川県立ミュージアムを中核とした文化観光推進拠点計画」（図）に

文化資源の魅力増進	
1-①	ミュージアム1階ゲートウェイ化整備事業 ・1階フロアレイアウト基本方針策定
1-⑤	デジタルコレクション充実事業 ・収蔵品のデジタル撮影
文化資源の理解増進	
2-①	展示解説多言語対応推進事業 ・松平家歴史資料コーナー、空海室の多言語解説作成 ・解説シート、キャプション等の作成
来訪者の利便性増進	
3-①	観光客受入環境整備 ・館内案内多言語対応（サインの多言語化）
文化観光の広報	
5-①	認知度向上のための広報強化事業 ・館周辺マップの作成 ・館PRポスター、DMの作成 ・駅、空港等のポスター掲出
施設設備の整備	
6-②	展示環境改善のための整備事業 ・可動ケース照明LED化
6-③	観光客受入環境整備事業 ・館内Wi-Fi整備



2 地域連携事業

博物館と学校教育との連携や生涯学習支援等に加え、地域の課題解決のために地域の人々と協働する活動にも積極的に取り組んでいる。

主な活動として、学校団体の案内、館蔵資料をはじめとする館が有する情報を利用した教材開発とその貸出しといった学校教育への支援や、講演会・講座、ボランティア活動等の生涯学習支援、文化財レスキュー計画への参画とそれに伴う地域資料保全に関わる活動等、多彩な事業を行っている。

(1) 学校教育支援事業

①ミュージアム活用研究会

当研究会は当館職員と小・中学校の教員6人で構成されている。学校との実質的な連携を促進し、当館の展示や美術作品、歴史・民俗資料を活用した学習プログラムを充実させることで、児童・生徒の学習に寄与することを目的に活動している。

【開催日】

美工部会：①8月2日（金）②12月27日（金）
歴史部会：①7月29日（月）②令和7年1月6日（月）

部会名	研究テーマ
美工部会	建築分野を題材とした学習プログラムの開発
歴史部会	「問い」を活用した校外学習プログラムの開発

②教員向けの講座（ティーチャーズプログラム）

校外学習の利用促進を目的とした、教員対象の専門研修を令和7年1月6日（月）に実施した。

内容	場所	人数
タブレット端末を活用した校外学習プランの提案と体験	3階歴史展示室	15人

③収蔵資料・作品の複製教材の制作、貸出

歴史資料の複製教材と、美術作品鑑賞学習教材を希望する学校に貸出した。

<教材リスト>

教材名	原資料
「城下町」学習教材 ・8分割シート ・14分割パズル	香川県指定有形文化財「高松城下図屏風」
「坂出壘田図」学習教材	「坂出壘田之図」
「信長・秀吉・家康と讃岐」学習教材	丸亀市塩飽勤番所蔵 丸亀市指定有形文化財「織田信長・豊臣秀吉・徳川家康朱印状」
「丸亀藩の参勤交代」学習教材	丸亀市山北八幡神社蔵 香川県指定有形民俗文化財「山北神社奉納京極侯参勤交代御前絵馬」
「イサム・ノグチ物語」	(制作物)
アートカード	館蔵美術工芸作品
漆工芸見本	館蔵備品
石臼	館蔵備品

<貸出状況>

○「城下町」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
9. 21(土)～10. 19(土)	高松市立庵治中学校	3	26人

○「坂出壘田図」学習教材

期間	学校名	学年	利用者数
10. 6(日)～11. 4(月・祝)	大手前丸亀中学校	1	72人

○アートカード

期間	学校名	団体	利用者数
10. 3(木)～10. 13(日)	高松市立市紫雲中学校	美術部	15人

④学校への広報

当館で可能な校外学習、教材貸出、出前授業等を紹介した学校向けのパンフレット「県内小・中学校のためのミュージアム活用ガイド」と「校外学習お助けガイド」を県内の各小学校及び特別支援学校に送付した。



⑤校外学習等への協力

各学校の校外学習等を積極的に受け入れ、児童・生徒の歴史・美術学習を支援している。令和6年度の学校団体の見学人数は2,300人だった。

小学校については春・秋の校外学習での来館が多く、春は高松市内、秋は高松市外の小学校の来館が目立った。

高等学校については、令和5年度の見学人数（305人）の倍以上の660人に増加した。例年利用の団体ほか、春・秋の特別展の展示内容が高校の教科・教育内容に合致した部分があったことから、美術科（部）や書道部の来館が目立った。また、県展への高校生参加により、高校生の見学があった。

今後も学校の地域性や学校側の希望、児童生徒の特性に応じた見学案内を継続する。

大学の視察や展示見学については、学芸員資格取得、小学校教諭免許の取得、国際交流を目的とした学生が来館した。

学校団体利用一覧

月日	学校団体名	人数
幼稚園及び学童保育		
8. 6(火)	光華幼稚園	26 人
9. 23(月・振休)	放課後等デイサービスプレスタにこ	10 人
10. 19(土)	学童保育なかよしクラブ	22 人
小学校		
4. 26(金)	綾川町立羽床小学校5・6年生	29 人
4. 30(火)	高松市立亀阜小学校6年生	105 人
5. 1(水)	高松市立鬼無小学校	54 人
5. 1(水)	坂出市立林田小学校6年生	43 人
5. 2(木)	高松市立新番丁小学校6年生	147 人
5. 2(木)	高松市立香南小学校6年生	61 人
5. 2(木)	高松市立弦打小学校6年生	77 人
5. 8(水)	高松市立高松第一小学校6年生	106 人
5. 22(水)	高松市立木太小学校6年生	71 人
5. 24(金)	高松市立栗林小学校6年生	217 人
9. 25(水)	三豊市立桑山小学校5年生	18 人
10. 1(火)	坂出市立坂出小学校3年生	82 人
10. 11(金)	まんのう町立琴南小学校5・6年生	18 人
10. 16(水)	高松市立男木小学校	10 人
10. 18(金)	さぬき市立さぬき南小学校3年生	34 人
10. 23(水)	三豊市立笠田小学校5・6年生	41 人
10. 29(火)	三木町立白山小学校3年生	34 人
11. 8(金)	善通寺市立西部小学校5・6年生	41 人
11. 20(水)	高松市立川東小学校3年生	34 人
11. 21(木)	琴平町立榎井小学校6年生	16 人
R7. 2. 13(木)	直島町立直島小学校6年生	19 人
2. 13(木)	小豆島町立菟羽小学校6年生	28 人
中学校		
5. 3(金・祝)	高松市立紫雲中学校美術部	24 人
7. 24(水)	高松市立紫雲中学校美術部	18 人
10. 13(日)	高松市立紫雲中学校美術部	10 人
10. 13(日)	小豆島町立小豆島中学校美術部	6 人
10. 13(日)	三木町立三木中学校美術部	13 人
10. 14(月・祝)	香川大学教育学部附属坂出中学校美術部	7 人
10. 14(月・祝)	高松市立牟礼中学校美術部	7 人
10. 16(水)	高松市立男木中学校	9 人
高等学校		
4. 20(土)	県立高松東高等学校書道部	14 人
4. 24(水)	英明高等学校総合コース美術デザイン系3年生	34 人
4. 26(金)	英明高等学校総合コース美術デザイン系2年生	27 人
5. 9(木)	県立高松工芸高等学校美術科1・3年生	48 人
5. 19(日)	県立石田高等学校書道部	8 人
5. 21(火)	県立高松工芸高等学校美術科2年生	23 人

7. 10(水)	県立高松工芸高等学校美術科3年生	30 人
7. 11(木)	県立高松工芸高等学校デザイン科1年生	31 人
7. 12(金)	徳島県立立池田高等学校定時制	23 人
7. 12(金)	英明高等学校総合コース美術デザイン系3年生	28 人
9. 19(木)	県立高松工芸高等学校美術科1～3年生	69 人
10. 24(木)	本郷学園高等学校2年生1団	132 人
10. 24(木)	本郷学園高等学校2年生2団	165 人
12. 20(金)	県立高松工芸校高等学校工芸科2年生	19 人
12. 21(土)	県立高松北高等学校飛翔コース2年生	9 人
特別支援学校		
9. 26(木)	県立丸亀支援学校中学部2年生	41 人
大学等		
5. 20(月)	香川大学・コロラド大学留学生	29 人
5. 25(土)	徳島文理大学文学部	17 人
6. 8(土)	岡山大学	21 人
6. 28(金)	香川大学・台湾からの留学生	8 人
9. 10(火)	徳島文理大学文学部	11 人
11. 6(水)	香川大学創造工学部1年生	53 人
R7. 1. 11(土)	高松大学教育学部	23 人

⑥職場体験学習・インターンシップへの協力

令和6年度の職場体験学習の受け入れは7校19人だった。
一部の学校が職場体験学習の一環として特別展開連行事の準備補助を行った。

月日	学校名	人数	内容
7. 3(水)～5(金)	県立高松工芸高校デザイン科、工芸科	5 人	行事・受付の補助
9. 10(火)～12(木)	高松市立香東中学校	3 人	館内見学、特別展開連行事準備展示補助
9. 26(木)～27(金)	高松市立古高松中学校	2 人	館内見学、展示補助
10. 2(水)～3(木)	高松市立玉藻中学校	2 人	館内見学、展示補助
10. 2(水)～4(金)	高松市立太田中学校	2 人	館内見学、展示補助
11. 12(火)～13(水)	高松市立国分寺中学校	2 人	館内作業補助
11. 12(火)	高松市立第一中学校	3 人	館内作業補助

⑦大学との連携

i) 館内見学等受入

月日	大学名	種別	人数	備考
5. 22(水)	香川大学・コロラド大学留学生		29 人	再掲
5. 25(土)	徳島文理大学文学部	学芸員資格単位取得	17 人	再掲
6. 8(土)	岡山大学		21 人	再掲
6. 28(金)	香川大学・台湾からの留学生		8 人	再掲
9. 10(火)	徳島文理大学文学部		11 人	再掲
11. 6(水)	香川大学創造工学部1年生		53 人	再掲
R7. 1. 11(土)	高松大学教育学部	小学校教諭免許単位取得	23 人	再掲

ii) 館外講師派遣

月日	大学名	テーマ	派遣職員
7. 4(木)	香川県立保健医療大学	満濃池について	川邊優佑
7. 29 (月) ～8. 2(金)	四国学院大学	博物館資料保存論	高木敬子 黛友明 日置瑤子 川邊優佑

⑧博物館実習

当館では、博物館学芸員資格の取得課程の一環として、大学からの依頼により実習生を受け入れている。令和6年度は、7人の実習生を受け入れた。
実習は8月20日（火）～24日（土）の期間で実施した。

＜実習生の大学別内訳＞

大阪大学1人、京都外国語大学1人、琉球大学1人、日本女子大学1人、広島大学1人、ノートルダム清心女子大学1人、桜美林大学1人

実習日程

月日	実習内容
8. 20(火)	あいさつ、館内見学(バックヤード・展示室)、講義「県立ミュージアムについての講義」、実習「貸出教材の紹介と体験」、演習「(1)解説ミニシート作成、ギャラリートーク体験の説明、下準備」、実習「資料調査・整理(1)」
8. 21(水)	講義「学芸課の仕事について」、講義「IPMと資料保存」、実習「資料の取扱い(1) (2) (掛け軸、巻子の取り扱いを学ぶ)」、実習「資料調査・整理(2)」
8. 22(木)	実習「資料調査・整理(3)、(4)」、演習「(2)解説ミニシート作成、ギャラリートーク体験に向けた下調べ」
8. 23(金)	実習「資料調査・整理(5)」、演習「(3)解説ミニシート作成」、演習「(4)ギャラリートーク事前練習」
8. 24(土)	演習「(5)解説ミニシート最終確認」、演習「(6)解説ミニシート発表+意見交換」、演習「(7)ギャラリートーク体験」、演習「(8)総評+まとめ」

⑨その他の学校等との連携

i) 出前授業等

令和6年度は、4校の中学校・高校において出前授業を実施した。

月日	学校名・学年	人数	テーマ
5. 21(火)	県立高松工芸高等学校美術科2年	23人	講義「『衆鱗図』について」
9. 19(木)	県立高松工芸高等学校美術科1～3年	69人	講義「『展覧会の企画』について」
12. 18(水) R7. 2. 4(火) 2. 6(木)	香川大学教育学部附属坂出中学校3年	35人 25人 33人	美術科授業「校舎について考えよう」の作品審査および講評
12. 21(土)	県立高松北高等学校2年	9人	歴史講義「人身売買文書からみる中世の仁尾 ―『千松やあい』を読む―」

⑩体験学習室

体験学習室では、近年見かけることが少なくなった伝統的な玩具が用意され、昔の遊びを体験できる。
令和7年2月からは、これまでの十二単や甲冑の着付け体験（屋内型）に加えて、史跡高松城跡玉藻公園の入園券をセットとした軽量の甲冑着付け体験（屋外型）を新たに設けた。これに伴い、着付け体験は有料化し、旅行情報サイト「じゃらん net」によるオンライン予約制として運用することにした。利用料金：屋外型（甲冑）は1,500円、屋内型（十二単・甲冑）は2,500円。

体験学習室備品一覧

衣装	十二単 甲冑(屋内用、屋外用) 貫頭衣	桧扇 弓 古墳時代の甲冑(厚紙製)
遊具	盤双六 けん玉 お手玉 将棋 こま ベーゴマ めんこ トントンずもう かるた 土器パズル むかしばなし	絵双六 ヨーヨー 投扇興 囲碁 力士ごま かわりごま ベーゴマ台 コマまわし台 ビー玉 おはじき だるま落とし 百人一首 貝合わせ 絵パズル 組み木パズル 紙芝居用舞台
楽器	篠笛 ひちりき 拍子木	龍笛 尺八 小鼓 能管 神楽鈴 カンカン石
帽子	折烏帽子	張貫立烏帽子 御冠
その他	姿見 千両箱 張子の虎 みどり(綿繰り機) 昔遊びの本 香川県のパズル マナーフィッシュ	源内のぞきめがね 箱枕 箱膳 奉公さん 高松張子 獅子頭 竹製水鉄砲 十二支パズル 香川県を探せパズル

⑪図書コーナー

図書コーナーは、体験学習室に隣接して設置している。約4,000冊の蔵書（歴史、民俗、美術に関係するもの）を常備し、利用者が自由に閲覧できる。令和6年度は、新たに一般書、児童書等25冊を配架した。

⑫ビデオライブラリー

ビデオブースにて、3階歴史展示室内の詳細映像や、香川県の民俗行事の映像（下記一覧表参照）を自由に選べるタッチパネル操作のモニター画面を設置している。
また、ビデオデッキを用いて314本のビデオテープ閲覧対

応をしていたが、令和6年3月より機材故障のため対応を停止している。

<ビデオライブラリー制作番組一覧>

ジャンル	考古	発掘調査に挑戦 銅鑼絵画の世界 瀬戸内海の2万年 讃岐の古代遺跡
	歴史	讃岐の古代仏教 若き日の弘法大師空海 菅原道真と讃岐 悲劇の上皇崇徳院 志度の玉取り伝説 水主神社の経函 中世の埋納銭 ヤジさんキタさん金毘羅へいく 江戸の科学 寛延の百姓一揆 讃岐三白 香川の近代塩業 戦後の公営住宅 汽車が電車が香川を走る 坂出・宇多津varietyゆく郷土 香川の近代建築1・2
	美術	香川の国宝 讃岐のみほとけ
	民俗	肥土山農村歌舞伎 安田おどり 坂本念仏踊 滝宮の念仏踊り～雨乞奉納～常例奉納～ 櫃石ももて祭 北条念仏踊 綾南の親子獅子舞 庵治締太鼓 祇園座 勅使本村の獅子舞 直島女文楽 虎頭の舞 尺経獅子舞 南川太鼓 家浦二頭獅子舞 生里ももて祭 賀茂神社長床神事 さいさい踊 田野々雨乞踊 吉津夫婦獅子舞 和田雨乞踊 綾子踊 神野神社湯立神事(神楽) 蹴鞠 木熊野神社特殊神事 シカシカ踊り 垂水神社湯立神事(神楽) 南鳴念仏踊 弘法大師信仰 讃岐雨乞物語
香川県全域		水とくらし

(2) 地域連携活動
①職員の講師等の派遣

月日	派遣職員	テーマ・内容	主催	参加者数
5.21(火)	鹿間里奈	「衆鱗図」について	香川県立高松工芸高等学校	23人 (再掲)
6.7(金)	御厨義道	第17回「お守り刀展覧会」作品審査会	お守り刀展覧会実行委員会	16人
6.15(土)	藤井俊輔	中世史料からみる西讃の室町・戦国時代	三豊史談会	51人
6.19(水)	黛友明	「香川県の風流踊について」公開講座	観音寺市中央公民館	85人
7.5(金)	野村美紀	三豊市みとよ未来創造館	三豊市高瀬町公民館	45人
7.12(金)	高木敬子	資料保存について	大野原中央公民館	26人
9.11(水)	翠さやか	令和6年度愛鳥週間ポスター原画審査会	香川県環境森林部みどり保全課	5人
9.13(金)	翠さやか	令和6年度緑化ポスター原画審査員	公益財団法人かがわ水と緑の財団	3人

9.19(木)	翠さやか	令和6年度青少年健全育成「家庭の日」作品審査会	青少年育成香川県民会議	3人
9.19(木)	鹿間里奈	特別展「美術を探究ギモンにせまる」について	香川県立高松工芸高等学校	69人 (再掲)
10.9(水)	窪美西嘉子	鎌倉芳太郎の創作活動に関するレクチャー及び作品解説	鎌倉芳太郎顕彰会	27人
11.13(水)	三好賢子	香川の国宝—美術工芸編—	公益社団法人香川県観光協会	47人
12.6(金)	芳地智子	三豊市高瀬町公民館講座「讃岐を学ぶ」人身売買文書からみる中世の仁尾—『千松やあい』を読む—	三豊市高瀬町公民館	49人
12.17(火)	御厨義道	江戸講中灯籠について	丸亀市教育委員会 蓬萊歴史研究会	23人
12.18(水) R7. 2.4(火) 2.6(木)	窪美西嘉子 翠さやか 日置瑤子	美術科授業「校舎について考えよう」の作品審査および講評	香川大学教育学部付属坂出中学校	35人 25人 33人 (再掲)
12.21(土)	芳地智子	人身売買文書からみる中世の仁尾—『千松やあい』を読む—	香川県立高松北高等学校	9人 (再掲)
12.28(土)	翠さやか	オニノコプロジェクト企画会議	香川県中学校美術教育研究会	7人
R7. 1.6(月) 1.10(金)	黛友明	長寿大学「香川県の歴史について」	かがわ健康福祉機構	119人 34人
1.6(月) 1.10(金)	日置瑤子	長寿大学「伝統工芸展」	かがわ健康福祉機構	119人 34人
1.16(木)	芝野有純	戦没者慰霊について～地域の神社・社の慰霊碑から読み解く～	三豊市三野町公民館	16人
1.24(金)	黛友明	全国映画資料アーカイブサミット2025「特別展「映画のレシビ」展担当者による発表」※オンライン	国立映画アーカイブ(令和6年度アーカイブ中核拠点形成モデル事業)	179人
5月～3月 (8月を除く) 第2土曜日	芳地智子	古文書の解説	三豊市高瀬町公民館	のべ 119人

②地域資料調査

継続して取り組んでいる多度津町・旧合田家住宅（合田邸）に残る資料群の整理については、対象建造物の劣化がすすみ、安全確保と今後の修理計画のため立ち入りが出来なくなったため、実施が困難な状況となった。今年度は現地での作業や調査の実施はできなかったが、町教育委員会と、資料の整理方法や保管について助言を行った。

令和2年度から取り組んでいる、観音寺市の常磐地区（旧植田村近辺）に残る旧家資料の整理・調査を引き続き地域住民とともにを行った。対象となる旧家は、植田村庄屋や大庄屋を務めた家であり、近代以降も地主として地域に影響力を持った。屋敷は解体され、敷地の一部はコミュニティセンターとして利用されているが、蔵とその横に建てられた2階建てのプレハブ建物に、書画・什器・文書記録資料が収納されている。具体的な活動は、不定期ながら、館職員（1～2名）が現地に赴き、地域住民とともに文書記録資料の整理を実施し、おおむねの作業を終えた。蔵の2階にある什器、道具、書画等についての概要把握に着手し、全体の6分の1ほどの資料について終了した。

研究機関等と共同で、館蔵品、収蔵保管資料の調査を実施した。国宝「藤原佐理筆詩懷紙」ほか重要文化財の書跡類を中心に、皇居三の丸尚蔵館と文化庁とともに状況確認と紙質調査を実施した。また、堂床区所有（綾川町管理）の重要文化財「木造十一面観音立像」について、綾川町と早稲田大学と共同で基礎調査を実施した。また東京国立博物館・成城大学・明治大学の協力を得て重要文化財の木彫像について樹種調査を実施した。

③ボランティア

ボランティア登録人数は、28人の新規応募を含め93人（うち活動休止4人）であった。

ボランティアは、解説、ギャラリートーク、普及、資料整理、高校生、分館の6つのグループに分かれて活動している。他のグループへの異動や複数グループへの登録も可能で、グループ別の活動のほか、全グループが参加できる活動も行っている。

各グループ間の横断的な情報交換やボランティア活動が行えるように、特別展開連行事のボランティア活動を行った。

○各グループの活動

※複数グループの登録者がいるため、合計数が登録実人数より多くなっている（各グループの人数は休止者数を除く）。

＜解説グループ＞ 15人

3階歴史展示室にて、月2回（主に第2・4土曜日、1日2回各回30分程度）実施した。

毎月1回、第4土曜日を中心に定例会を開き、活動状況等に関する情報交換を行うとともに、グループ員が持ち回りで

興味関心をもったテーマについて研究報告する勉強会を実施し、県内の歴史や民俗等、解説に役立つ知識を深めた。

＜ギャラリートークグループ＞ 16人

2階常設展示室において年間5回に分けて展示した「アート・コレクション イサム・ノグチ」と特別展「美術を探索 ギモンにせまる」、「第71回日本伝統工芸展」において、各展示ごとに2回（各回30分～1時間程度）、ギャラリートークを実施した。毎月1回、第2土曜日に定例会を開催し、活動計画や活動状況報告、勉強会等を行った。10月12日（土）に「流政之美術館」にて館外研修を行った。

＜普及グループ＞ 21人

2つのワークショップを企画・実施した。（※詳細は（3）普及活動の項を参照）

また、平成17年から当館が実施する調査の一環として、あらかじめ定めた地点で継続的に写真撮影を行い、景観の変化等を記録し資料化する定点観測を実施している。本年の調査は当館職員とともに3月23日（日）に実施した。

なお、これらの活動を企画・運営するために毎月1回、第3日曜日に定例会を開催した。

＜資料整理グループ＞ 25人

全国から送付される博物館・美術館の展覧会チラシや寄贈図書の整理、発送刊行物の封入作業補助等を行った。整理された展覧会チラシは都道府県別にファイリングし、来館者が閲覧できるように整理して2階ロビーに設置した。

＜高校生グループ＞ 5人

令和3年度より高校生グループを設置している。

令和7年度春季特別展「高松城―海にのぞむ城のものがたり―」関連イベントで活用するため、実際に史跡高松城跡玉藻公園内を散策しながら高松城に関するクイズを考案した。また、大阪市立美術館で令和7年4月から開催される「日本国宝展」に当館所蔵の「詩懷紙」が展示されるということで、詩懷紙や香川県立ミュージアムを紹介する1分程度の動画を作成した。本動画は令和7年4月14日（月）付でX（日本国宝展：@kokuhouten2025）において公開されている。（（3）普及行事に別掲）。

＜分館グループ＞ 39人

活動内容の詳細は、分館 瀬戸内海歴史民俗資料館 2地域連携学習支援事業（p.43）に掲載。

④香川県資料館協議会

香川県資料館協議会は、当館に事務局を置き、県内市町等の資料館・博物館の職員の資質向上のための研修や、情報交換をはじめ、展示企画・教育普及・調査研究・資料管理にかかる加盟館相互の交流を図るため、年2回の会議・研修等を実施している。令和5年度末現在、加盟館は43館。令和6年度事業は以下のとおり。

①第1回会議

日時：令和6年5月21日（火）13:30～16:30

場所：県立ミュージアム
参加館：24 館
議事：令和5年度事業報告、令和6年度事業計画、情報・意見交換
研修：「国宝神谷神社本殿災害復旧事業について」
（講師：県教育委員会事務局 石田真弥氏）
視察：県立ミュージアム特別展・常設展

②第2回会議
日時：令和6年11月22日（金）13:00～17:00
場所：綾川町立山田公民館（会議）
綾川町主基斎田記念館（視察）
参加館：18 館
議事：情報・意見交換、資料収蔵および収蔵庫について
視察：綾川町主基斎田記念館

＜参考＞「香川県資料館協議会会則」
（名称）
第1条 本会は、香川県資料館協議会という。
（組織）
第2条 本会は、香川県内の資料館及びこれに類する施設をもって組織する。
（事務局）
第3条 本会の事務局は、香川県立ミュージアムに置く。
（目的）
第4条 本会は、香川県の資料館事業の普及発達を図り、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。
（事業）
第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
①資料館相互の連絡及び情報交換
②資料の調査、収集、保存、展示等に関する協力
③資料館事業に関する研究会、講演会及び講習会等の開催
④その他本会の目的達成に必要な事業
（役員）
第6条 本会に、会長1名及び副会長1名を置く。
2 会長は、香川県立ミュージアム館長の職にある者をもって充てる。
3 会長は、会務を総理する。
4 副会長は、会長があらかじめ指名する。任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期満了後、新役員が選任されるまでは、なお、その職務を行う。役員の任期途中において、人事異動その他のやむを得ない事由により退任した場合は、当該役員の所属する施設の後任者をもってその任に充てるものとする。この場合の任期は当該役員の残任期間とする。
5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

（会議）
第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。
2 会議は、年2回開催し、別に臨時会を開くことができる。
3 議決を要する事項は、出席会員の過半数で決する。
4 会議を招集するいとまがなく緊急に処理を要する事項は、会長が決する。

（経費）
第8条 事業にともない経費が必要となった場合は、臨時に徴収することがある。

（委任）
第9条 この会則に定めるものの他、本会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附則
1 本会則は、昭和59年5月22日から実施する。
2 本会則は、平成10年7月30日に一部改正する。
3 本会則は、平成13年4月1日に一部改正する。
4 本会則は、平成14年7月18日に一部改正する。
5 本会則は、平成20年4月1日から施行する。
6 本会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則（平成21年4月1日）
上記の規定にかかわらず、平成21年3月31日に監事の職にあるものは、平成21年度決算が承認されるまでその職務を行うこととする。

(3)普及活動

①ワークショップ

8月には常設展夏休み子どもミュージアム「すごろくと子どもたち」及び「生誕120年記念 イサム・ノグチ II おりがみ」関連イベントとして、バックヤードツアーをはじめ、解説会や鑑賞カード等を用いた体験学習等を行った。このほか、ボランティア普及グループが主体的に企画・運営する一般向けの体験講座を2回実施した。

月日	ワークショップ名	参加者 (申込者)
8.4(日)	県立ミュージアムボランティアと「屋島の立体模型をつくろう」 参加料：500円	12人 (21人)
8.7(水)、 8.11(日・祝)	すわっておしゃべり&おりがみで遊ぼう 参加料：無料	25人 うち保護者12人
8.8(水)2回 8.15(木)2回	ミュージアム・トーク&すごろく遊び 参加料：無料	27人
8.12(月・振休) 8.14(水)	ミュージアム☆バックヤードツアー 参加料：無料	14人 11人
R7.2.16(日)	県立ミュージアムボランティアと「貝合わせをつくろう」 参加料：無料	13人 (17人)

②食文化体験講座

参加者に讃岐の食材や食生活の知恵・工夫を学び、香川の歴史や文化への理解を深めてもらう機会を提供するため、当館地下1階実習室で実施した。

月日	ワークショップ名	講師	参加者 (申込者)
10. 12 (土)	手打ちのうどんで 打ち込み汁をつくろう 参加料：1,000 円	帯包洋子 (さぬきの食文化博士)	16 人 (18 人)
12. 8(日)	あん餅雑煮をつくろう 参加料：1,200 円	帯包洋子 (さぬきの食文化博士)	14 人 (17 人)

③特別展等関連行事

特別展関連では、春・秋の特別展事業においてミニレクチャーや鑑賞会、工作や調理体験等の展示に関連した行事を実施した。香川県美術展覧会や日本伝統工芸展会期中には展示作品や技法に親しむ体験行事を実施した。

また、本年度より初めて、閉館後に学芸員の解説付きで展覧会を鑑賞する、人数限定の体験メニュー「プレミアムナイトツアー」（「PNT」）を開催した。

日時	行事名	講師等	参加人数
特別展 皇居三の丸尚蔵館名品選「美が結ぶ皇室と香川」関連			
4. 21(日) 11:00～ 14:00～	今、知りたい！ ロビートーク 「展覧会のみどころ」 「書跡の美の競演」	当館学芸員	32 人 27 人
4. 28(日) 11:00～ 14:00～	「御慶事と芸能」 「皇室と高松松平家」		35 人 25 人
5. 12(日) 11:00～ 14:00～	「書跡の美の競演」 「若冲の美の競演」		42 人 32 人
5. 26(日) 11:00～ 14:00～	「高橋由一と琴平」 「竹内栖鳳と主基地方風俗歌 屏風」		31 人 34 人
各回 20 分程度			
4. 27(土) 13:30～16:00	描くワークショップ「若冲に まねぶ」 参加料：2,000 円	中村 譲	18 人
5. 3(金・祝) ～5. 5(日・祝) 各日 10:00～12:00 13:00～16:00	「国際博物館の日」記念事業 ゴールデンウィークスペシヤ ルプログラム	—	のべ 482 人
5. 19(日) ①9:00～10:30 ②11:00～12:30	食べるファミリー・ワークシ ョップ 「ほく・ホクご飯を炊 こう」 参加料：1,500 円	永原三千博 永原こまち	20 人
5. 19(日) 9:00～16:00	せとうち島旅フェス 2024 ～ 島々から学び広がる SDGs～ せとうちマルシェ	当館職員	47 人

	出張ワークショップ「江戸時 代の画家、伊藤若冲の代表作 でぬりえをしよう！」		
5. 17(金) 5. 25(土) 各日 18:00～20:00	プレミアムナイトツアー 「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ 皇室と香川」 参加料：3,000 円	当館学芸員	12 人 20 人
「第88回香川県美術展覧会」関連			
7. 13(土) 9:30～11:30	「揉み紙を使って絵を描こ う」 参加料：500 円	須和千晴 (第88回香 川県美術展 覧会実行委 員)	14 人
「美術を探究 ギモンにせまる」関連			
9. 29(日) 10:00～12:00	鑑賞会「みるってなんだろ う？」 参加料：無料	アドバイザー ：日野陽子 (京都教育 大学美術科 准教授) 進行：朝倉成 樹(香川県立 視覚支援学 校教員) 補助：震 奏 音(香川県立 視覚支援学 校教員)、大 町雅志(香川 県立視覚支 援学校教員)	26 人
10. 13(日) ～14(月・祝) 各日 10:00～12:00 13:00～16:00	フリーワークショップ 「ミュージアム秋祭り」 参加料：100 円	中学校美術 部(高松市立 紫雲中学校、 三木町立三 木中学校、小 豆島町立小 豆島中学校、 香川大学附 属坂出中学 校、高松市立 牟礼中学校)	61 人
10. 5(土) 10. 18(金) 各日 18:00～20:00	プレミアムナイトツアー 「秋夜の美術探訪」 参加料：2,000 円	当館学芸員	22 人 20 人

特別展「第71回日本伝統工芸展」関連			
R7. 1. 12(日) ①9:30～12:30 ②13:00～16:30	伝統工芸子ども鑑賞コース 「うるしにチャレンジ」(彫漆) 参加料：1,000円	石原雅員 (漆芸作家)	①28人 ②26人
R7. 1. 18(土) 18:00～20:00	プレミアムナイトツアー 「第71回日本伝統工芸展」 参加料：2,500円	当館学芸員	22人

動画配信

アップ ロード日	タイトル	製作者
特別展「第88回香川県美術展覧会（県展）」関連		
7.9(火)	88回県展鑑審査(立体)	当館職員
7.9(火)	88回県展鑑審査(絵画)	
7.19(金)	88回県展鑑審査(写真)	
7.19(金)	88回県展鑑審査(工芸)	
7.30(火)	88回県展鑑審査(書)	
所蔵品紹介動画		
R7.4.14 (月)	高校生ボランティアによる動画 「日本国宝展応援メッセージ」(県立ミュージアムと詩懷紙に関する紹介動画)	高校生ボランティアグループ

④講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを設定し、講演会を計3回実施した。

月日	演題	講師	受講人数
4. 20(土)	記念講演会「日本の書の成立と楽しみ」 ＊特別展「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川」関連	島谷弘幸(皇居三の丸尚蔵館 館長)	218人
5. 11(土)	記念講演会「若冲花鳥画の魅力」 ＊特別展「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川」関連	朝賀浩(皇居三の丸尚蔵館 副館長)	308人
R7. 1. 11(土)	講演会「伝統工芸とは何か ―その創造性と多様性」 ＊特別展「第71回日本伝統工芸展」関連	外館和子(工芸評論家、工芸史家、多摩美術大学教授)	127人

⑤学芸講座

当館職員が香川の歴史や民俗、古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を計7回実施した。

月日	タイトル	講師	受講人数
6. 15(土)	学ぶ高松藩 ―講道館と考信閣 ＊常設展「学ぶ高松藩 ―講道館と考信閣」関連	御厨義道	38人
8. 18(日)	明治の香川と芝居 ＊常設展「新収蔵品展」関連	黛友明	23人
9. 21(土)	藤川栄子の描いたスイーツ ＊特別展「美術を探求 ギモンにせまる」	鹿間里奈	28人
11. 9(土)	イサム・ノグチの創作こふれる ＊常設展「アート・コレクション 生誕120年記念 イサム・ノグチ」関連	窪美西嘉子	116人
11. 23(土・祝)	源平合戦はどう描かれたか ＊常設展「源平合戦を描く」関連	藤井俊輔	42人
R7. 2. 22(土)	小林萬吾 一師に学び、歩んだ道 常設展「小林萬吾 一師に学び、歩んだ道」関連	窪美西嘉子	62人
3. 22(土)	ミュージアム・プレゼンテーション2025 とっておきのウラ話 ①「初めまして、金工の常設展」 ②「小品盆栽道具目録刊行への道」 ③「直島の旧網元家に残されていたモノ」 ④「僕の知らないミュージアム」 ⑤「高松城ってどんなところ？」	①翠さやか ②芝野有純 ③岡田達哉 ④横山達磨 ⑤川邊優佑	44人

3 調査研究事業

調査研究事業は、香川県立ミュージアム規則第2条第3項「資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと」に基づき実施し、種々のミュージアム事業を展開していく上で、その原動力となるものである。

当館では、前身の歴史博物館時代より県内寺社調査や歴史資料の所在確認調査を行い、『調査研究報告』や展示、講座等でその成果を公表してきた。また、文化会館の美術部門では、県ゆかりの作家・作品の調査を行い、展示に反映させてきた。歴史博物館と美術館の機能が一体となったミュージアムにおいては、更に多角的に調査・研究活動を行い、失われつつある歴史や民俗、先人の残した優れた作品や現在活躍中の美術作家作品等を掘り起こし、本県文化の新たな創造に寄与することを目指している。

(1) 調査研究活動

① 寺社総合調査

令和6年度は以下のような調査活動を行った。

- ・善通寺古文書・古記録調査

平成12年度より5カ年計画で実施した善通寺総合調査後、平成18年度より、善通寺境内にある「土蔵」内の文書・記録資料の調査を開始し、その成果を『ミュージアム調査研究報告』で継続的に公表している。

平成23年度からは、愛媛大学を始め、香川大学や徳島文理大学と共同して調査に取り組んでおり、令和6年度は、愛媛大学と共同で、305件の基本データ採取、約270枚の資料画像撮影（デジタル撮影）を行った。

② 収蔵資料の調査研究

収蔵資料について、学術的な意義や歴史的な位置づけ、作家・作品の特徴等を明確にするため、より詳しい調査研究に取り組んだ。

i) 松平家歴史資料目録刊行に伴う資料調査

当館が収蔵する高松松平家歴史資料の内、松平家十二代当主頼寿が収集した小品盆栽道具について、『高松松平家歴史資料目録』を刊行するため、再調査を実施した。

対象となる小品盆栽道具は、盆栽鉢、卓・地板、添配類、水盤等で構成され、全体数は533件である。頼寿は小品盆栽に熱心に取り組み、盆栽を育てる一方で道具類も収集し、その一部が当館に収蔵されている。

調査は、資料名、制作年代、法量、品質形状等の基本情報の確認と追加、写真撮影を行い、頼寿の小品盆栽に関わる活動等に関わる記録資料の探索を行った。加えて8月17日(土)～19日(月)の3日間にわたり、公益財団法人遠山記念館の学芸課長依田徹氏を招いて調査指導を受けた。当館職員とともに依田氏に対象となる道具類すべてを熟覧し、依田氏の所見をうかがった。

ii) 高松松平家博物図譜の総合調査

香川県指定有形文化財「高松松平家博物図譜」4種13帖について、本図譜の歴史的文化的な価値を明らかにするため、自然系人文系に偏らない視点を持ちつつ、各専門分野による研究を総合的にすすめている。

彩色材料を調査するため、秋山純子氏（東京文化財研究所保存科学研究センター保存環境研究室長）等による、蛍光X線分析装置等を用いた調査を共同で実施した。

iii) 展示開催にかかる収蔵品調査

常設展示・特別展の開催にあたり、収蔵資料等の調査に取り組み、調査成果は展示解説シートや展示パネル、キャプション等にその成果を反映させた。

③ 資料所在等の確認調査

県内外にある香川県の歴史・美術に関わる資料調査、民俗資料・情報調査等を、高松市、丸亀市、善通寺市、東かがわ市等で実施し、一部については収蔵を検討した。調査においては瀬戸内海歴史民俗資料館と共同で実施した他、資料・情報の所在する地域に関連する方々の協力を得た。また、収蔵予定資料に関する情報を得るため、所蔵者からの聞き取り調査を行った。

④ その他の調査

令和6年6月には本山寺（三豊市）の木造二天像について、公益財団法人日本美術院の根立研介氏の指導のもと詳細調査を実施した。

預託されている資料については、収集管理グループを中心に集中的に整理・調査を行う日を月1回程度設け、大型資料群の整理・調査を進めた。令和6年度は、建築家の図面等資料群、県内の質屋業関連資料を対象とした。

高松市と共同して高松城跡関連調査の一環として高松松平家歴史資料中の近代文書記録資料について調査を実施した。

⑤ 展示に係る調査

常設展示及び特別展示の開催等に係り、参考文献調査や情報収集のため、県内図書館施設等で調査を実施し、その成果を展示図録・解説シート・パネル・キャプションの解説文等に反映させた。

⑥ レファレンス等による対応・調査

一般的には図書館業務として知られるレファレンスサービスであるが、歴史・民俗・美術と取り扱う分野が幅広い当館の専門性を利用者へ提供する機能として重要な業務である。

当館には電話・電子メール・郵便・来訪等により問い合わせがある。展示観覧中に案内員を通じて問い合わせが寄せられる場合もある。

こうした問い合わせに対する対応を、本項における「レファレンス」として取扱っている。

その内容は、美術・歴史・民俗に関する「質問」、当館への作品・資料の収蔵に関わる「寄贈・寄託希望」、作品・資料や習俗についての「調査依頼」、作品・資料等に関する「資料情報」、展示やホームページ、行事に関する内容や会期等の「運営・運用」に分類される。

令和6年度全体では128件の問い合わせがあり、その内訳は下記のとおりである。

令和6年度レファレンスの内容別件数

項目	件数
質問	98
寄贈・寄託希望	14
調査依頼	3
資料情報	4
運営・運用	7
その他	2
合計	128

※このうち、ホームページの「お問い合わせフォーム」、
電子メールを利用したレファレンスは21件。

i) レファレンス概要

レファレンスは受付後内容をメモに記録し課内での引継ぎを確実にし、迅速に回答するように努めている。レファレンスを通じて価値ある資料の所在や資料情報の把握に至る例も少なくない。

「質問」の内容は一般的なものから専門的なものまで幅広くあるが、専門性を要する質問については本館の各専門分野の担当者や分館の瀬戸内海歴史民俗資料館の担当者が協力して対応し、必要に応じて館外の有識者の助力を仰ぐなどして、回答内容の精度を保つよう努めている。

収蔵資料等の画像利用、閲覧、貸出といった「特別利用」に関する問い合わせには、「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱」に基づいて対応している。

ii) 資料(作品)の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

令和6年度に、レファレンスとして寄贈・寄託の申し出が寄せられたのは14件であった。申し出に対しては、「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」及び同「要綱」に基づき、資料の概要や性格等の基本情報を踏まえて、原則現物資料のコンディションを実地調査によって把握し、その後収蔵後の活用価値等を見極めて対応している。

iii) 自治体・他機関等からの依頼

このほか、以下の機関から依頼を受けて、調査または調査指導・助言等を行った。

・県教育委員会事務局生涯学習・文化財課

⑦他機関との共同研究

i) 共同研究・分担等

野村美紀・芝野有純・小野麻美

・松平家近代資料調査（高松市と共同）

高木敬子

・科学研究費「様々な文化財に使用された彩色材料への赤外線画像による面的調査の検討（研究代表者 秋山純子・東京文化財研究所）

高木敬子・藤井俊輔

・国宝「藤原佐理筆詩巻紙」の調査（文化庁・皇居三の丸尚蔵館との共同）

三好賢子・高木敬子

・重要文化財「木造十一面観音立像」樹種調査（綾川町・東京国立博物館・成城大学・明治大学との共同）

三好賢子・高木敬子

・重要文化財「木造十一面観音立像」の調査（文化庁・綾川町・早稲田大学との共同）

ii) 自治体や他機関からの委嘱等

野村美紀

・三豊市公文書等管理委員会委員

・坂出市文化財保護審議会委員

三好賢子

・高松市文化財保護審議会委員

⑧研修の受講

博物館事業の充実と質の向上に努めるため、各種研修等に職員を派遣している。令和6年度は以下について参加した。

月日	研修名	派遣職員	会場
6.13(木)	令和6年度 国宝・重要文化財(美術工芸品)防災・防犯対策研修会	高木敬子 川邊優佑	オンライン開催
6.14(金)	令和6年度 公開承認施設担当者会議	高木敬子 川邊優佑	オンライン開催
10.24(木)～25(金)	令和6年度四国美術館会議	鹿間里奈 翠さやか他	香川県立ミュージアム
7.3(水)	全国博物館長会議	古沢保典	文部科学省
7.4(木)～5(金)	全国歴史民俗系博物館協議会 年次集会・幹事館会・研究集会	御厨義道 鹿間里奈	国立歴史民俗博物館
7.29(月)～30(火)	美術館を活用した鑑賞教育の 充実のための指導者研修	翠さやか	東京国立近代美術館、国立新美術館
9.12(木)～13(金)	四国地区博物館協議会・日本博物館協会四国支部 役員会・総会・視察	古沢保典 野村美紀	徳島県立博物館

10. 17(木) ～18(金)	都道府県立美術館副館長等事務責任者会議	増田祐子	三重県立美術館
11. 11(月) ～15(金)	令和5年度歴史民俗資料館等専門職員研修会(1年目)	黛友明	国立歴史民俗博物館
11. 30(土)	せとうち美術館サミット (せとうち美術館ネットワーク)	古沢保典	ホテルグランヴィア広島
12. 13(金)	公開フォーラム「教員のための博物館の日2024」事例報告会	鹿間里奈 岡本由貴子 他	オンライン開催
12. 17(火)	令和6年度文化財(美術工芸品)保存修理講習会	岡本由貴子 他	オンライン開催
R7. 1. 15(水)	令和6年度文化観光認定計画事業者会議	野村美紀	東京国立博物館
2. 10(月)	大名道具収蔵館研究会 テーマ:「大名家の馬具(鞍・鎧)」	御厨義道 鹿間里奈	林原美術館

(2) 成果物公表

①研究成果の公表

i) 『ミュージアム調査研究報告 第16号』の刊行
目次

- ・長井博志「香川県の千歯扱ぎ・足踏脱穀機 ―瀬戸内海歴史民俗資料館企画展開催に伴う事前調査より―」
- ・真鍋篤行「網漁具における「袖無漕網」「袖無打瀬網」の分類について」
- ・信里芳紀「民間教育情報局美術記念物課による文化財調査 ―松浦正一の美術品及記念物調査報告から―」
- ・井奥亮太「外航船員の生活史調査 ―香川県内出身者を中心に―」

ii) 特別展図録の刊行

○『皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川』

iii) 論文・報告・紹介等

※以下の公表業績にかかる掲載事項は、すべて各人の申告による。

〈学術的著述〉

野村美紀

- ・「大正大礼と主基地方・香川」『皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ 皇室と香川』(R6. 4)

三好賢子

- ・「法然寺の涅槃群像 ―高松藩主松平頼重の浄土への願い」特別展図録『法然と極楽浄土』(R6. 4)
- ・「藤原佐理」『皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川』(R6. 4)
- ・「善通寺金堂本尊再興事業 ―丈六薬師如来像の造立について』『寺院文献資料学の新展開』第8巻 近世仏教資料の諸相Ⅰ (R7. 3)
- ・「弘法大師の御影と四国遍路 ―香川県の中世彫像からみる―」『四国遍路と世界の巡礼(下) ―最新研究にふれる八十八話―』(R7. 3)

窪美西嘉子

- ・「山と海とこんぴらさん ―金刀比羅宮がもつ魅力」『皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川』(R6. 4)
- ・「近代日本画の旗手 竹内栖鳳が描いた主基地方風俗歌屏風」『皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川』(R6. 4)

黛友明

- ・「金刀比羅宮の讃岐風俗舞」『皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川』(R6. 4)
- ・「直島の祭礼・祈祷と民間宗教者 ―三宅家文書を中心に―」『四国民俗』53号 (R6. 11)

芳地智子

- ・「久米通賢関係史料について」「解題」久米通賢研究会編『翻刻久米通賢資料集 ―近世讃岐のシビル・エンジニア―』(R7. 3)
- ・「解題」久米通賢研究会編『翻刻久米通賢資料集 ―近世讃岐のシビル・エンジニア―』(R7. 3)

〈普及的著述(館内)〉

野村美紀

- ・「皇室と高松松平家 ―大正時代の行啓」常設展示解説シート139

三好賢子

- ・「展示室だより 近代能楽がつむぐ縁 ―松平頼寿と中野武宮」NEWS第62号
- ・「近代能楽がつむぐ縁 ―松平頼寿と中野武宮」常設展示解説シート142
- ・「調査研究ノート vol. 49 法然寺の仏涅槃群像」NEWS第63号

窪美西嘉子

- ・「展示室だより アート・コレクション 小林萬吾 ―師に学び、歩んだ道」NEWS第63号
- ・「展示室だより アート・コレクション 昭和100年記念 昭和の記憶と美術」NEWS第64号
- ・「ミュージアムガイド vol. 51 もつとミュージアムを楽しんでいただくために ―新しい甲冑が登場」NEWS第64号
- ・「アート・コレクション 小林萬吾 ―師に学び、歩んだ道」常設展示解説シート146

御厨義道

- ・「特集 特別展 高松城 ―海にのぞむ城のものがたり― 御座船「飛龍丸」と高松城」NEWS第64号
- ・「学ぶ高松藩 ―講道館と考信閣」常設展示解説シート140

高木敬子

- ・「展示室だより 新収蔵品展」NEWS第62号
- ・「ミュージアムガイド vol. 50 博物館の消火設備」NEWS第62号

- ・「展示室だより 日本伝統工芸展連携企画 香川の人間国宝」NEWS 第63号
- ・「日本伝統工芸展連携企画 香川の人間国宝」常設展示解説シート144

鹿間里奈

- ・「特集 特別展 美術を探究 ギモンにせまる」NEWS 第62号
- ・「展示室だより お雛様と道具たち」NEWS 第63号
- ・「お雛様と道具たち」常設展示解説シート145

黛友明

- ・「調査研究ノート vol. 48 神野神社湯立神楽の再開と映像記録の活用」NEWS 第62号
- ・「展示室だより 特別展 小沢剛の讃岐七不思議」NEWS 第64号
- ・「夏休み子どもミュージアム すごろくと子どもたち」常設展示解説シート141

日置瑤子

- ・「特集 特別展 第71回日本伝統工芸展」NEWS 第63号
- ・「展示室だより 掌の美 ―茶道具を中心に―」NEWS 第64号

翠さやか

- ・「展示室だより アート・コレクション 金工にみる花鳥風月」NEWS 第62号

藤井俊輔

- ・「展示室だより 源平合戦を描く」NEWS 第62号
- ・「源平合戦を描く」常設展示解説シート143

芝野有純

- ・「展示室だより 昭和100年記念 昭和の香川 一人びとの暮らしとまちの変化」NEWS 第64号
- ・「解題」『高松松平家歴史資料目録Ⅶ 小品盆栽道具』

〈普及的著述（館外）〉

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『四国新聞』瀬戸内海を旅するは『四国瀬戸内海』、『四国新聞』コレクションを読み解くは『四国コレ』、『四国新聞』文化・生活列品解説は『四国列品』、『朝日新聞』掲載第71回日本伝統工芸展作品解説は『伝統解説』、『読売新聞』列品解説は『読売列品』と略す。

野村美紀

- ・「摂政宮使用 椅子」『調査月報』446号 (R6. 5. 1)
- ・「昭和初期・瀬戸内海「弾丸旅行」」『四国瀬戸内海』5 (R6. 7. 5 付)
- ・「本州と四国をつなぐ橋・島とつながる船」『四国瀬戸内海』8 (R6. 7. 26 付)

三好賢子

- ・「能面 獅子口」『調査月報』450号 (R6. 9. 2)
- ・「文姫の茶壺「万代」」『四国コレ』1 (R7. 1. 17)

窪美西嘉子

- ・小林萬吾「林泉」『調査月報』456号 (R7. 3. 3)
- ・「小林萬吾「花鋤」」『四国コレ』5 (R7. 2. 14 付)
- ・「伊藤若冲 動植綵絵のうち「向日葵雄鶏図」」『四国列品』(R6. 4. 25 付)
- ・「香川宗石 瑞鳥之図存清食籠」『四国列品』(R6. 5. 2 付)
- ・「竹内栖鳳 大正度 主基地方風俗歌屏風」『四国列品』(R6. 5. 9 付)
- ・「動植綵絵 芍薬群蝶図」『読売列品』(R6. 5. 4 付)
- ・「敦康親王初観関係文書」『読売列品』(R6. 5. 16 付)
- ・「大正度 主基地方風俗歌屏風」『読売列品』(R6. 5. 17 付)
- ・「茜彩花器」『伝統解説』(R7. 1. 6 付)
- ・「乾漆蒔醬箱「雲海」」『伝統解説』(R7. 1. 9 付)

御厨義道

- ・「考信閣新成因詠歌」『調査月報』447号 (R6. 6. 3)
- ・「瀬戸内海の旅へ 大名の瀬戸内海クルーズ」『四国瀬戸内海』2 (R6. 6. 14 付)
- ・「ヤジ・キタが見た瀬戸内」『四国瀬戸内海』4 (R6. 6. 28 付)

高木敬子

- ・磯井如真「雙色紙笥喜鵲之図」『調査月報』453号 (R6. 12. 2)
- ・「収納箱」『四国コレ』3 (R7. 1. 31 付)
- ・「蒔醬食籠オーロラ」『伝統解説』(R7. 1. 4 付)
- ・「彫漆箱「淙淙」」『伝統解説』(R7. 1. 8 付)

鹿間里奈

- ・「堆漆象嵌佐韋河の厨子」『伝統解説』(R7. 1. 7 付)
- ・「高松松平家伝来雛道具より、黒棚・厨子棚・書棚・貝桶」『調査月報』455号 (R7. 2. 3)

日置瑤子

- ・「籃胎蒔醬飾箱「紫空」」『伝統解説』(R7. 1. 5 付)
- ・「乾漆蒔醬紫碧雨箱」『伝統解説』(R7. 1. 10 付)

黛友明

- ・「新板金毘羅道中双六」『調査月報』449号 (R6. 8. 1)
- ・「ライオン週報」『四国コレ』4 (R7. 2. 7 付)

藤井俊輔

- ・「源平合戦図屏風（左隻・屋島）」『調査月報』452号 (R6. 11. 1)
- ・「大般若波羅蜜多經」卷第三二六『四国コレ』2 (R7. 1. 24 付)

②刊行物

- i) 香川県立ミュージアム年間スケジュール
令和6年度に開催する展示情報を掲載。館内で配布するほか、県内の博物館・資料館、文化・教育施設や、全国の関係機関に配布した。
 - ・2024.4～2025.3
 - A2 変形判屏風折 カラー刷 20,000 部
- ii) 常設展示解説シート 各 2,000 部
令和6年度に開催の常設展示に関する内容を紹介した解説シートを展示ごとに印刷、発行した。
 - A4 判、A3 判・二ツ折、カラー刷（展示タイトル、内容についてはⅡ-1(2)常設展示の項参照）
- iii) 特別展解説シート・パンフレット等
 - ・「第88回香川県美術展覧会」出品目録
 - A4 縦判、表面カラー刷・裏面モノクロ 4,800 部
 - ・「美術を探究 ギモンにせまる」
 - A5 判、カラー刷 16 頁 850 部
 - 令和6年9月12日発行
 - ・「第71回日本伝統工芸展」出品目録
 - A4 縦判、カラー刷 8 頁 5,500 部
 - 令和6年12月17日発行
- iv) 図録等(展覧会・その他)
 - ・『皇居三の丸尚蔵館名品選「美が結ぶ皇室と香川」』
 - AB 判 カラー刷 112 頁 1,500 冊
 - 令和6年4月20日発行
- v) 香川県立ミュージアム NEWS
 - A4 判 カラー刷 8 頁
 - ・第62号(秋号) 令和6年7月30日発行 2,500部
 - ・第63号(冬号) 令和6年11月20日発行 3,500部
 - ・第64号(春号) 令和7年3月14日発行 4,500部
- vi) ミュージアム調査研究報告 第16号
 - A4 判 モノクロ 78 頁 590 冊
 - 令和7年3月31日発行
- vii) 収蔵資料目録15
 - A4 判 単色刷 46 頁・CD-ROM 付 470 冊
 - 令和7年3月30日発行
- viii) 高松松平家歴史資料目録Ⅶ 小品盆栽道具
 - A4 縦判 カラー刷 79 頁 700 冊
 - 令和7年3月26日発行
- ix) 香川県立ミュージアム年報 第16号(令和5年度)
 - A4 縦判 84 頁 令和6年9月18日発行
 - (第10号より印刷なし、公式ホームページにPDFデータを掲載)
- x) 文化観光による印刷物
 - ・ミュージアムポスター
 - B1 縦判 カラー刷 200 枚
 - 令和7年3月7日発行
- ・空海室DM
- はがきサイズ カラー刷 10,000 枚
- 令和7年3月21日発行
- ・常設展示解説シート「高松松平家歴史資料」英語版
- A3 2ツ折 カラー刷 5,000 部
- 令和7年3月28日発行
- ・団体誘致パンフレット
- A3 2ツ折 カラー刷 10,000 枚
- 令和7年3月28日発行
- ・周辺マップ
- A3 横判 1/0 色(こげ茶) 20,000 部
- 令和7年3月28日発行

4 資料の収集・整理・保管事業

香川県の歴史及び文化、芸術を理解するうえで必要な資料を収集して、体系的に整理し、保存のために必要な処置を行い、最適な条件で保管することは博物館の最も基本的な機能である。

当館では「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」に基づき、歴史、芸術及び民俗に関する実物のほか、標本・模写・文献・図表・写真・フィルム・レコード等多岐にわたり、購入・寄贈・寄託等の方法で資料を収集している。寄贈や寄託の申し入れがあった資料については、調査に出向いて、資料を預かり、調査・整理作業の結果、収蔵すべきであると判断されたものについて手続きを行う。受け入れ後は殺虫処理をし、引き続き詳しい調査研究・整理を行って資料目録を作成して、順次、館蔵品データ検索システムに登録する。また『収蔵資料目録』を、県内外の関係機関に配布し、展示をはじめ、館外からの特別利用に応じる等、収蔵資料の公開活用を行っている。

資料収集状況（令和7年3月末現在）

	令和5年度 末まで	令和6年度 手続分	合計
購入	22,396	0	22,396
寄贈	218,227	37	218,264
寄託	50,328	0	50,328
移管・ その他	40,736	0	40,736
合計	331,687	37	331,724

(1) 資料収集活動（各掲載の順序は、手続き順による）

①購入資料

なし

②寄贈資料 計37件37点

- ・まんのう町（旧仲南町）出身の画家重田良一作品
3件3点
- ・重田良一作品に関連する写真や雑誌などの切り抜きを
まとめたアルバム群（重田良一資料）
4件4点
- ・高松市出身の画家谷本重義作品（谷本重義作品）
3件3点
- ・香川県の金工の隆盛期に活躍した金工家大須賀選の作
品（大須賀選作品）
7件7点
- ・高松藩士・江崎家に伝来した資料群。旧高松藩士家の
由緒に関わる資料（辻田朝子資料（2））
1件1点

- ・収蔵品である野見山暁治「ここに居る」のモチーフの
可能性のあるドローイング作品（野見山暁治作品
（2））
9件9点
- ・戦争柄子供用着物、『内務ニ関スル規定事項』（明治45
年）（磯村衛治資料）
2件2点
- ・戦前に兵庫町に創業した画材店「ナルホ堂」店主井川
敬逸が所有していた小林萬吾と今村俊夫による色紙な
ど（多田達代資料）
7件7点
- ・木造阿弥陀如来坐像（山本町某庵資料）
1件1点

③寄託資料

なし

④移管・その他

なし

⑤文献資料

文献資料は、調査研究をはじめ展示や学習支援事業をより豊かなものにするために必要不可欠なものであるため、事典、辞書、香川県に関する地方史誌、史料集、芸術・美術に関する書籍等を中心に収集している。また、最新の研究動向の情報を収集するため、学術雑誌を逐次購入している。全国の博物館や美術館、研究機関が刊行する図録、紀要、事業報告、広報誌も交換、恵与により収集を続けている。

- ・逐次刊行物等受付冊数 1,036冊
- ・購入雑誌

月刊文化財、季刊考古学、日本歴史、日本史研究、古文書研究、歴史評論、歴史学研究、史学雑誌、國華、芸術新潮、美術手帖、MUSEUM、文化財発掘出土情報、木簡研究

(2) 資料整理保管活動

①収蔵資料管理システム

平成26年度に、早稲田システム開発株式会社の「I. B. MUSEUM SaaS」を導入し運用することで、収蔵品についての情報の一元管理をしている。これにより、職員各自に配備されたPCによる操作が可能となり、データの入力・整備や収蔵品の検索等に利用されている。

【データベースの内容】

・収蔵資料の管理

収蔵資料について、名称・年代・法量・資料内容・画像から、収蔵場所・所蔵、時系列で記録される展示・貸出・修理等の履歴等、その資料・作品に係るほとんど一切の情報を一元的に登録している。資料・作品の管理のみならず展示準備等でも利用される。

・図書、視聴覚資料、アルバムの管理

資料・作品だけでなく、館蔵の図書データ入力も進めている。他にもビデオ、フィルム等の視聴覚資料、写真アルバムの管理も可能であり、順次進めていく予定である。

・一般公開のデータについて

収蔵資料のデータベースは、インターネット公開機能を利用し、館のホームページにリンクを貼ることで公開している。検索は、キーワードのほか、歴史資料では資料群、美術作品では作家ごとの一覧から選択することもでき、資料の基本情報（名称、数量、時代、法量、概説、画像等）を閲覧することができる。データの公開は画像・解説文等公開のための条件を満たした資料・作品について、漸次進めている。

令和6年度は、約13,000件のデータを登録した。

ス等を1回、2階特別展示室、常設展示室の裏側を1回、収蔵庫・館内諸室については各回で場所を順次変えながら9回実施した。

②虫菌害対策

i) 資料等の殺虫・殺菌処理

収集した資料や借用した資料は、必要がある場合、一時保管庫に搬入、仮収蔵し、適期に殺虫・殺菌した後、収蔵庫へ搬入、また展示等に活用している。

令和6年度は、写真撮影室にて、委託業者による二酸化炭素を用いた殺虫処理を1回（令和7年2月26日（水）～3月12日（水）、24 m³（w=3m、d=4m、h=2m）のテントを仮設）実施した。なお、小規模な二酸化炭素殺虫処理は、職員により実施した。

ii) モニタリング

展示室、収蔵庫等、館内数箇所に粘着トラップ等を設置し、定期的に観察して館内における生物発生状況を調査している。

また、収蔵庫・展示室を中心とした館内各所について、年間3回（7月、10月、令和7年1月）の虫・カビ調査、および年間8回（5月、6月、8月、9月、11月、12月、令和7年2月、3月）の虫の生息調査を、専門業者に委託して実施した。

iii) 館内清掃等

展示室、収蔵庫、館内諸室について定期的に学芸課職員による清掃および整頓を実施した。

展示室については3階歴史展示室の造作物、展示ケー

(3) 館外特別利用状況

(凡例) ◎国宝, ◎重要文化財, □県指定有形文化財

①貸出利用

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	◎法華経 巻三	1	公益財団法人香雪美術館	特別展「法華経絵巻と千年の祈り」	9.6(金) ～R7.1.7(火)
	◎法華経 巻四	1			
	◎法華経 巻五	1			
	◎法華経 巻七	1			
2	□衆芳画譜 葉草第二	1	公益財団法人根津美術館	特別展「百草蒔絵薬簞笥と飯塚桃葉」	10.9(水) ～12.20(金)
	□衆芳画譜 葉木第三	1			
	□写生画帖 菜蔬	1			
3	森広天神遺跡出土巴型銅器(レプリカ)	5	大分県立埋蔵文化財センター	企画展「デジタル考古学Ⅰ 雄城台遺跡とその時代」	9.25(水) ～12.19(木)
4	小森秀雲「沙羅」	1	墨華書道会	小森秀雲遺作展	R7.2.11(火・祝) ～2.16(日)
	小森秀雲「宮沢賢治の詩」	1			
	小森秀雲「薫風」	1			
	小森秀雲「野口シカの手紙」	1			
	小森秀雲「無垢浄光経	1			
	小森秀雲「載乍父丁ゆう	1			
	小森秀雲「山」	1			
	小森秀雲「穴」	1			
5	小森秀雲「崔子玉 座右銘」	1	公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	猪熊弦一郎博覧会	R7.3.28(金)～
	香川県庁舎(1958年)模型	1			

②閲覧利用

番号	資料名	利用者	利用目的
1	羽佐島遺跡出土彫器 全1件1点	個人	日本旧石器学会大会(2024年6月22日・23日)のシンポジウムにおける口頭発表及び予稿集原稿作成のため
2	黄色種煙草耕作開始二十五周年記念式次第並功労者名簿ほか 全4件4点	個人	戦前期の香川県における米国種煙草栽培事業について、経済史的側面から研究するため
3	高松城下図屏風(レプリカ) 全1件1点	個人	高松における近世海岸地形の調査のため
4	虚無僧へ之御條目ほか 全16件16点	個人	令和6年度 大野原中央公民館「古文書入門編」のテキスト選定のため
5	丸亀御領分絵図(画像) 全1件1点	個人	讃岐国の絵図史料の基礎研究のため
6	イサム・ノグチ「形だけで作る遊園地のための鋳型 “Contoured playground”」ほか 全3件3点	High Museum of art	High Museum of artにおける展覧会「Isamu Noguchi: “I am not a designer”」のための調査研究
7	旧高松御城全図ほか 全9件9点	個人	士族授産の研究のため
8	続筐底秘記草稿 全1件1点	個人	先祖のルーツを調べるため

9	森広天神遺跡出土巴形銅器(レプリカ) 全1件3点	大分県立埋蔵文化財センター	令和6年度企画展「デジタル考古学 ～雄城台遺跡とその時代～」に係る事前調査のため
10	多度津藩日記 全8件14点	個人	天保飢饉時の多度津藩政と林良斎に関する研究のため
11	多度津藩日記 全2件8点	個人	天保飢饉時の多度津藩政と林良斎に関する研究のため
12	大福帳ほか 全101件122点	個人	科研費「江戸後期から明治期の北海道小樽をめぐる本州産品の流通に関する研究」に係る史料調査のため
13	多度津藩日記ほか 全8件8点	個人	科研費「公儀触による両領国(徳川・国持外様)体制の最終検証と触研究への情報提供あり方研究」に係る史料調査のため
14	高知県ヨリ徳島県ヲ経テ本県多度津丸亀両港ニ達スル道路開鑿ニ付願ほか 全24件24点	三豊市	三豊市文書館 秋期企画展「三豊の水をめぐる物語 vol.2 ～香川用水の誕生と三豊の水利～」に係る資料調査のため
15	湘山星移集 全1件1点	個人	曲亭馬琴研究のため
16	香川忠勇美談 全1件1点	個人	系譜調査
17	原間6号墳出土有袋鉄斧 全1件1点	個人	鉄斧研究のため
18	源平合戦図屏風 全3件3点	個人	学術書「平家物語絵の研究」(勉誠出版 令和7年度刊行)にかかる調査のため
19	大宮神社経塚資料 銅板製経筒ほか 全3件3点	個人	博士論文、中国・四国地方の経塚に関する学術論文の執筆のため
20	ホンマタカシ建築映像作品 全1件1点	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館における企画展「猪熊弦一郎博覧会」(令和7年4月12日～7月6日)で紹介する丹下健三設計「香川県庁東館」にまつわる資料調査
21	法華経曼荼羅図 全1件1点	大正大学文学部歴史学科	鎌倉時代中期に制作された香雪美術館所蔵「法華経絵巻」の図像の源流を研究するため
22	多度津藩日記 全2件8点	個人	天保飢饉時の多度津藩政と林良斎に関する研究のため
23	日本橋より長崎迄道中記(江戸から長崎迄街道図) 全2件2点	刈谷市歴史博物館	刈谷市歴史博物館蔵「江戸より長崎・五島まで海路図」類本の記載内容確認および令和8年度刈谷市歴史博物館秋季開催企画展に係る調査のため
24	吉田博「牛」ほか 全2件2点	東洋大学アジア文化研究所 グローバル地中海地域研究拠点	ワークショップ「内海をめぐる想像力：ツーリズムとアートで結ぶ瀬戸内海と地中海」(人間文化研究機構「グローバル地中海地域研究プロジェクト」中心テーマ「イメージ/表象」)のプログラムの一環で、作品の閲覧・鑑賞を通じて、瀬戸内海地域の歴史的表象のされ方を理解するため

③画像利用

番号	資料名	利用者	目的	利用区分
1	長州征討行列図(備前松山藩征伐行列図)	株式会社ネクサス	BS・TBS『こちら歴史ミステリー旅行社』の「幕末の京都謎解きツアー」	放映

2	池川敏幸「いのち」、「生きてください」、「気まぐれの旅立ち」、「蛭川」	一般財団法人池川彫刻美術館	「池川敏幸展～素心のかたち展」ポスター・チラシ	掲載
3	□衆鱗図	TOPPAN 株式会社	株式会社大林組発行の広報誌『季刊大林 63号』	掲載
4	地券、地券、領知宛行状案 寛文4年、領知目録 寛文4年、引札 田村忠太、引札 各国諸炭売捌処板谷菊三 敵国降伏、引札 各国諸炭売捌処板谷菊三 自転車に乗る女性、引札 平野屋佐吉（表面・裏面）、丸亀領村々役前覚、地藏院末寺	三豊市高瀬町公民館	三豊市高瀬町公民館 「はじめての古文書講座」	掲載
5	旧高松御城全図、高松城下屋敷割図	個人	『茂呂蘭』室蘭地方史研究会 論文「土族授産の研究」	掲載
6	池川敏幸「もう一つの島の座標」	一般財団法人池川彫刻美術館	「池川敏幸展～素心のかたち展」ポスター・チラシ	掲載
7	□高松城下図屏風、□高松城下図屏風（部分）	個人	『香川地理学会会報 No.44』	掲載
8	写真帖（明治期写真帖）「讃岐多度津濱」	松山市立子規記念博物館	新設映像コンテンツ「子規の上京」	掲載
9	虚無僧へ之御条目	大野原中央公民館	大野原中央公民館古文書講座の入門編テキスト	掲載
10	邨田丹陵「屋島合戦画帖」（部分）	香川県広聴広報課	香川県情報誌『さぬき野』2024 夏 Vol.85	掲載
11	加工中の香川県庁舎受付カウンター、香川県庁舎受付カウンター石材（山本忠司のポートレート）	株式会社ディスカバー・ジャパン	『Discover Japan Travel 香川』	掲載
12	□衆鱗図	株式会社日企	日本テレビ「ザ！鉄腕！DASH！！」	放映
13	□「絹本着色 西谷藤兵衛像」□「絹本着色 西谷藤兵衛夫人像」	個人	日本中世史にかかわる研究・教育	その他（研究資料）
14	高松東宝会館 NWES No.33(部分)	菊池寛顕彰事業実行委員会	菊池寛記念館第33回文学展「サザエさんと菊池寛のうちあけ話」パネル	掲載
15	栗林図	香川県栗林公園観光事務所	「2025 年版香川県民ノート」	掲載
16	法華経 巻3(巻頭)、法華経 巻3(巻末)、法華経 巻4(巻頭)、法華経 巻4(巻末)、法華経 巻5(巻頭)、法華経 巻5(巻末)、法華経 巻7(巻頭)、法華経 巻7(巻末)	公益財団法人香雪美術館	特別展「法華経絵巻と千年の祈り」の展覧会図録(刊行物)、パネル、展覧新聞・雑誌等の情報掲載紙、インターネット、テレビ番組	掲載、放映
17	香川県庁舎前の丹下（写真）、高松一宮団地（写真）	四電ビジネス株式会社	四国電力の広報誌『ライト&ライフ』のホームページ	掲載
18	白髪一雄《甘露軍荼利》1973 年	(公財)尼崎市文化振興財団 白髪一雄生誕 100 年記念事業実行委員会	展覧会図録「生誕 100 年 白髪一雄 行為にこそ総てをかけて」	掲載
19	〔賞状〕、中野武宮仮装写真	株式会社 岩波書店	『中野武栄 渋沢栄一と双璧と呼ばれた男』	掲載

20	□衆鱗図	東京文化財研究所 保存科学研究セン ター保存環境研究 室	科学研究費助成事業 研究成果報告書 「様々な文化財に使用された彩色材料への赤 外線画像による面的調査の検討」	掲載
21	□衆鱗図、	日本郵便株式会社	特殊切手「自然の記録シリーズ 第5集」の 意匠および特印	掲載
22	邨田丹陵「屋島合戦画帖」	株式会社正進社	『国語スイッチ2 年光村図書版』	掲載
23	鎌倉芳太郎「型絵段染山水文上布 長着」	株式会社ハースト 婦人画報社	雑誌『美しいキモノ』2024 年号 no. 289	掲載
24	松平頼重陶像、英公実録	内閣官房領土・主 権対策企画調整	ニホンアシカに関する講演会でのプレゼン資 料	掲載
25	□衆芳画譜	公益財団法人 根津 美術館	特別展「百草蒔絵薬筆箋と飯塚桃葉」のプレ スリリース、チラシ	掲載
26	オノコプロジェクト2022 記録 写真	四国中学校美術教 育連盟	『標準美術 I』	掲載
27	□衆鱗図	株式会社ゴッズダ イナミックワール ド	BS-TBS「関口宏の一番新しい江戸時代」	放映
28	旧高松御城全図	個人	第23 回「城の自由研究コンテスト」に応募 する作品(レポート)	その他(レポ ート)
29	□衆芳画譜 □写生画帖	公益財団法人 根津 美術館	特別展「百草蒔絵薬筆箋と飯塚桃葉」図録	掲載
30	音丸耕堂 「延齡草文茶入」、「彫 漆蝸牛文水指」、「彫漆四葉文菓子 器」	個人	雑誌『Arts of Asia』	掲載
31	邨田丹陵「屋島合戦画帖」	株式会社 KANADEL	『光村の国語のワーク 2』	掲載
32	□高松城下図屏風	吉川弘文館	松田直則・石井伸夫・西岡達哉編『「四国の 名城を歩く 一徳島・香川編」』	掲載
33	□高松城下図屏風	高松市広聴広報・ シティプロモーシ ョン課	『広報高松 10 月号』	掲載
34	□衆芳画譜	東京文化財研究所	一般社団法人日本光学会の会誌『光学』	掲載
35	□高松藩飛龍丸船明細切絵図 惣図	株式会社 NHK エン タープライズ	NHK 番組「大河ドラマ 八代将軍 吉宗」 のNHKオンデマンド配信	放映
36	□高松城下図屏風	一般財団法人 大阪 市文化財協会	高松藩大坂蔵屋敷における船入の発掘調査の 報告書	掲載
37	栗林図	株式会社 K& B パ ブリッシャーズ	TAC 庭園刊行『和の美が心を洗う日本庭園』	掲載
38	第八回関西西府県連合共進会手引 草、石清尾八幡宮祭礼図巻	個人	香川大学博物館特別展「景観からみる『高松 海城町の物語』」にてパネル展示およびチラ シ等	掲載
39	松平頼壽伯像	荒川区立荒川ふる さと文化館	企画展展示及び図録	掲載
40	□高松城下図屏風	高松市	高松市景観計画改定に係る審議会資料	掲載
41	西嶋八兵衛肖像	高松市広聴広報シ ティプロモーショ ン課	『広報高松 11 月号』	掲載
42	日誌(表紙・明治18 年1 月21 日条・裏表紙)、塋(隧)道開鑿願 案	三豊市	三豊市文書館企画展のパネル展示	その他(パ ネル展示)

43	浄瑠璃本『伊達錦五十四郡』近石泰秋文書 0568、浄瑠璃絵巻『相馬太郎芋文談』近石泰秋文書 0193 1 六丁裏・七丁表の部分、浄瑠璃本『姻袖鏡』近石泰秋文書 1084	個人	『〈西村公一文庫紹介展〉「近松半二の浄瑠璃本」全三期の補遺』の図版	掲載
44	濱野年宏「作品 75-1」、「作品 75-4」	公益財団法人メセナかがわ・濱野年宏芸術交流協会	財団内での内部資料	その他（保存用資料）
45	栗林図	香川県栗林公園観光事務所	栗林公園文化講座第3弾「一步一景」の庭園美 ―南庭を探究する―	掲載
46	馬場不二「梅樹」	株式会社 青幻舎	「再興院展 110 回記念 画を結ぶ 一院展人物誌―」	掲載
47	高松城下屋敷割図	大妻女子大学	大妻女子大学博物館特別展「長尾雨山とその交友 ―書画文墨趣味ネットワークの人々― 解説動画および大妻女子大学人間生活文化研究所『人間生活文化研究』投稿論文	掲載
48	庵室書上帳・本山派天台修験宗書上帳)	大野原中央公民館	大野原中央公民館 古文書入門編のテキスト	掲載
49	庵室書上帳・本山派天台修験宗書上帳)	大野原中央公民館	大野原中央公民館 古文書入門編のテキスト	掲載
50	島田三光「龍吟國瑞虎嘯年豊」、「道元禪師の歌」	個人	島田三光遺墨展、作品集	掲載
51	鎌倉芳太郎「型絵段染山水文上布長着」、「紅型松竹梅文長着」、「型絵染波濤帆船文長着」	個人	鎌倉芳太郎顕彰碑建立記念誌(鎌倉芳太郎沖縄顕彰会発行)	掲載
52	源平合戦図屏風(屋島)、源平合戦図屏風(一の谷・藤戸)	兵庫県立歴史博物館	兵庫県立歴史博物館特別展「いくさ物語の絵画(仮称)」に係る、ポスター・チラシ・当館ホームページ等の広報用媒体、展示図録、展示用パネル	掲載
53	四国偏礼図 全	個人	学術論文(講演録)の挿絵	掲載
54	樋笠数慶「懼」	株式会社青幻舎	「再興院 110 回記念 画を結ぶ 一院展人物史」	掲載
55	□衆鱗図	株式会社ドキュメンタリージャパン	NHK BS「英雄の選択〜江戸を駆けたマルチプロデューサー 平賀源内(仮題)」放映	放映
56	浮魚 鯉	個人	学会誌「東洋陶磁 2024-2025 VOL. 54」	掲載
57	◎花園天皇宸翰御消息	株式会社ベネッセコーポレーション	中学生向け高校入試対策教材	掲載
58	満濃池水掛村々之図	NHK 高松放送局	NHK 高松放送局での番組	放映
59	坂出壘田図	個人	四国防災共同教育センターホームページで公開している四国防災風土資源マップ	掲載
60	京都御名代松平讃岐守様行烈附	個人	卒業論文	その他
61	藤六・姫夜叉女子・子息売券	三豊市詫間町公民館	三豊市詫間町公民館生涯学習講座・三豊の歴史 2 月学習会資料	掲載
62	◎藤原佐理筆詩懷紙	大阪市立美術館	特別展「日本国宝展」にかかる図録、会場掲出パネル等、広報目的の印刷物・インターネット等	掲載、放映
63	栗林図	香川県栗林公園観光事務所	開園 150 周年記念「栗林公園文化講座」第 3 弾「『一步一景』の庭園美 ―北庭を探究する―」において使用する資料	掲載
64	□高松城下図屏風	株式会社かみゆ	『よくわかる日本の城 改訂版』	掲載
65	刀 無銘 伝 堀川国広	株式会社ホビージャパン	『刀剣写真集 堀川国広』	掲載

66	(模型) 約 2 万年前の瀬戸内海	有限会社三猿舎	出版物(ムック)	掲載
67	ホンマタカシ建築映像作品	公益財団法人ミモカ美術振興財団	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館の企画展「猪熊弦一郎博覧会」	掲出
68	栗林図	香川県栗林公園観光事務所	開園 150 周年記念のパネル展(3 月 19～27 日)で展示するパネル	掲載
69	◎藤原佐理筆詩懷紙	株式会社淡交社	月刊誌『なごみ』2025 年 4 月号・連載「書は人につれ」	掲載
70	◎藤原佐理筆詩懷紙	香川県栗林公園観光事務所	2025 栗林公園春のライトアップ期間中に展示するパネル	掲載
71	栗林公園、讃岐高松栗林公園真景、栗林公園之図、修正栗林公園全図	香川県栗林公園観光事務所	栗林公園開園 150 周年記念「栗林公園時空散歩 一時代をつなぐ古図・写真展」のパネル	掲載
72	栗林図、檜御殿図、星斗館図、留春閣図、色絵金葵唐草水指、栗林梅花君臣聯芳帖、栗林荘記、栗林古図、栗林公園古図、栗林分間図、錦絵 讃岐名所 栗林公園、讃岐高松栗林公園真景、絵葉書 栗林公園北門・物産陳列所・枕梳亭・瞰鴨閣、讃岐高松栗林公園二十景 絵葉書 紫雲山より・絵葉書楓嶼、絵葉書 栗林公園 天女嶋・五葉の松 掬月亭・鳳尾塢、絵葉書 栗林公園 掬月亭・南湖、松平頼壽伯爵像、古写真 松平頼壽と頼壽の家族、栗林公園図	香川県栗林公園観光事務所	『特別名勝栗林公園図録』(平成 24 年制作)増刷版	掲載
73	香川県庁舎受付カウンター石材(ポर्टレート)	香川県交流推進部観光振興課	『Discover Japan』4 月号	掲載
74	「内陣の鏡」下巻	個人	『アート・リサーチ』23 号(立命館大学アート・リサーチセンター紀要)	掲載
75	□衆鱗図、□衆禽画譜 □衆芳画譜、□写生画帖	高松市広聴広報・シティプロモーション課	高松市広報番組「知られざる高松の〇〇」	掲載
76	□高松松平家博物図譜(集合画像)、□写生画帖	個人	R6 年に根津美術館で開催された特別展「百草蒔絵葉簞笥と飯塚桃葉」の展覧会評挿図	掲載
77	卓子(円形)、卓子(長方形)、椅子(波の間で使用)、木沢塩田鳥瞰図、土地々目変更付登録申請副本、昭和廿一年東京発御便綴、生島塩田鳥瞰図、第四大区九小区生島浜塩田請作人受印帳 扣、高松御邸新築工事御入費見積書、〔高松城址払下関連書類〕、GHQ 接收時の披雲閣平面図	高松市教育委員会	『令和 6 年度高松松平家歴史資料(近代資料群)調査実施報告リーフレット』	掲載

分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 展示・企画事業

(1) 館内展示

①常設展示

常設展示について、部分的な展示替えやロビー展示、休憩室展示等を行い収蔵資料の活用を図った。また、瀬戸内ギャラリーの企画展にあわせて、玄関ロビー等に資料を展示したほか、常設されている資料を企画内容と関連して紹介することで常設展示の一層の活用を行った。

各展示室のテーマ構成

【瀬戸内の里海文化】			
第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室
瀬戸内海の漁撈用具と船、香川県の現代漁業 [国重有民]	瀬戸内海の船大工用具と木造船の製作現場 [国重有民]	瀬戸内海の水運と海の信仰 [国重有民他]	自然環境の変化と海ゴミ、宇高連絡船と機帆船
【香川・瀬戸内の里山文化】			
第5展示室	第6展示室	第7展示室	第8展示室
瀬戸内の自然環境と産業	ため池・水利・雨乞 里山環境の変化	香川の農具(稲作用具)	香川の祭りと民俗芸能

<第1展示室>

国重要有形民俗文化財に指定された漁具・船等を通じて、瀬戸内海の漁撈文化、特に漁師の知恵と技について紹介。1階「香川県の伝統的な漁業」「香川県の現代漁業」等を紹介。中2階の「瀬戸内ギャラリー」で展示を行った(別掲)。

<第2展示室>

国重要有形民俗文化財に指定されている船大工用具や和船の造船現場を展示し、船大工の技術やそこで用いられたさまざまな道具等を紹介。

<第3展示室>

瀬戸内海の水運や航海安全を祈った奉納模型船や絵馬、海に生きる人々の神仏への信仰について紹介。

<第4展示室>

瀬戸内沿岸の干潟・浜辺の自然環境の変化と海ゴミ等について紹介。また、本州と四国を結んだ宇高連絡船、瀬戸内の各都市を結んで物流を担った機帆船について紹介。

<第5展示室>

瀬戸内の自然環境を生かし、香川県の特産品となった讃岐三白(塩・砂糖・綿)に関わる道具を紹介。また、島の湿田や段畑の農業、柑橘栽培、花崗岩地帯の地質特性を利用した石材産業に関わる用具について紹介。

<第6展示室>

香川県の生業環境の特徴であるため池や水利、用水管理に関わる用具を紹介。雨乞龍や雨乞踊等について映像で紹介。また、落ち葉や雑木を利用し薪炭が盛んだった頃と比べ、山が荒れイノシシ等が里山や島のくらしを脅かす現在の里山への環境変化について紹介。

<第7展示室>

稲作に用いたさまざまな道具を展示し、高度経済成長期前後の米作りの道具の変化等を紹介。

<第8展示室>

香川県内の祭りや行事、民俗芸能に関わる用具を展示し、香川県の祭りの特色を紹介。さらに小豆島農村歌舞伎衣装や獅子舞用具等を展示するとともに、香川の祭礼行事について映像で紹介。

②収蔵展示

歴史収蔵庫の一部を活用し、国重要有形民俗文化財「西日本の背負運搬具コレクション」を常時公開した(令和3年3月より)。また、「さまざまな日本各地の船」については、行事にあわせて解説を行ったほか、来館者の要望に応じて適宜公開している。

収蔵庫1	収蔵庫2
背負運搬具コレクション [国重有民] 常時公開	さまざまな日本各地の船 (船のルーツを考える) 適宜公開

③中央ロビーでのケース展示

- ・「網を作る道具」 令和5年7月～

④第1展示室での収蔵資料展示

- ・「香川民俗学の父 武田明 追加寄贈資料展示」
令和6年11月～令和7年2月

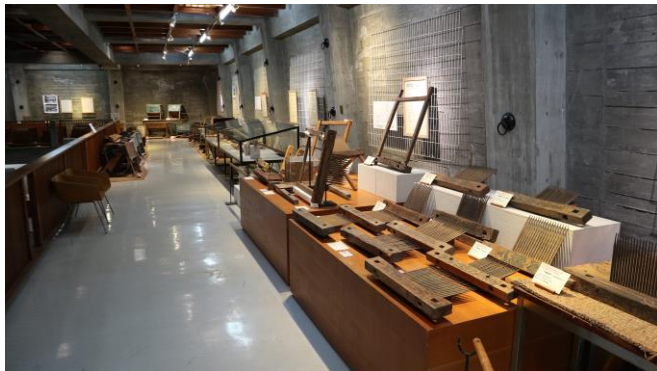
⑤休憩コーナーでの展示

- ・「家終い」展 令和6年7月～

⑥「瀬戸内ギャラリー」企画展示

第1展示室中2階の「瀬戸内ギャラリー」(約100㎡)において、瀬戸内・海・くらし・自然・環境等のテーマで年間5回の展示を行い、新たな瀬戸内文化の魅力の発信に取り組んだ。地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業の一環として、島しょ部・諸職・祭礼に関わる調査成果に基づく展示を行った。

期 間 [開催日数]	展示名	内 容
R6. 3. 9(土) ～5. 19(日) [63 日]	伝統と創造 讃岐のり染 —暮らしを彩る— ※協力：(有) 大川原染 色本舗	調査に基づき、讃岐のり染のさまざまな製品・製作用具の展示のほか、制作工程の記録や三代にわたる職人のインタビュー映像等により、創造を重ねながら時代に息づく伝統の技を紹介した。
7. 6(土) ～9. 1(日) [48 日]	栗島から世界へ —船乗りの海外土産—	外洋航路の船員を多く輩出した栗島に今も数多く伝わる各地の土産品を展示。海外土産から見える世界の国々、そして外洋航路船員やその家族の思い出をたどった。
10. 5(土) ～12. 1(日) [50 日]	「たくさん集める」から わかること —香川の千歯扱ぎ・足 踏脱穀機大集合—	約 300 点におよぶ県内所在の千歯扱ぎ・足踏脱穀機の調査成果から、資料館等に残された資料 90 点を一堂に集め、同じ種類の道具を「たくさん集める」ことから見えてくるものを探った。
R7. 1. 11(土) ～2. 24 (月・振休) [39 日]	《奴行列》 大国香川 —獅子舞・太鼓台に負 けない 祭礼風流—	全国で 600 件ほど報告されているうちの 100 件ほどが香川県に伝承され、香川の祭礼を特徴づけている「奴」。写真や映像、資料等からその知られざる祭礼風流の実態に迫った。
3. 15(土) ～5. 25(日) [73 日]	伝統と創造Ⅱ 職人の道具	香川の暮らしを支えてきたさまざまなモノの製作に用いられた道具を集め、地域の歴史と風土の中で培われてきた職人たちの手仕事の世界を紹介した。



『たくさん集める』からわかること」展示風景

(2) 広報

館独自のホームページを更新し、瀬戸内海国立公園指定 90 周年記念事業をはじめとする普及事業や展示の情報発信に努めた。令和 6 年度のトップページへの表示回数合計は 24,190 件であった。また公式 X (旧 Twitter) で随時、イベントや展示等の情報を発信した。

2 地域連携学習支援事業

当館が専門とする歴史・民俗の分野を中心に、自然や環境等の視点も積極的に加えながら、学校や地域の人たちと学びを深め、共に活動する取り組みを行っている。

令和 6 年度は学校団体等への学習支援のほか、各地域での講演会・講座への講師派遣、市町や国立機関・大学等と連携した調査研究等の取組み、継続的なボランティア活動等を行った。また、多様な機関と連携して展示・イベント等の企画を実施した。

(1) 学校教育支援活動

令和 6 年度の学校団体利用は、13 団体 398 人であった。今年度から県内中学生が取り組む五色台集団宿泊学習の野外体験コースの 1 つに歴民を活用したメニューを設定し、瀬戸内のくらしを紹介するとともに SDGs の取り組みについて考える学習を開始した。この学習は 3 校が利用した。また県内小学生の校外学習や高校美術科の利用があった。なお一般団体の見学利用は 32 団体 491 人だった。

(2) 地域連携活動

①職員の講師等の派遣

令和 6 年度は各団体主催の 15 回の講演会・講座等に職員を派遣し、621 人の参加者があった。

月日	派遣職員	テーマ・内容	主催	参加者数
6. 18(火)	田井静明	香川県の祭りと民俗芸能 —地域文化・社会の可視化、未来につなげるために—	香川大学	80 人
6. 23(日)	松岡明子	高松松平家伝来博物図譜の概要	東京女子大学同窓会香川支部	20 人
7. 3(水)	松岡明子	絵画から見る観音寺神恵院の境内変遷	観音寺市	69 人
7. 5(金)	田井静明	民俗学から見た香川の食文化	香川大学リカレント講座	11 人

7. 18(木)	井奥亮太	世界を駆けめぐる栗島の船乗りたち	三野町生涯学習センター	18人
7. 24(水)	松岡明子	絵画に描かれた昔の宇多津	宇多津町教育委員会	20人
9. 13(金)	松岡明子	香川の社寺縁起絵を読み解く	大野原中央公民館	35人
10. 4(金)	田井静明	香川県の祭り地域社会 ―記憶の記録化のすすめ―	香川県長寿大学(西校)	36人
10. 7(月)	田井静明	香川県の祭り地域社会 ―記憶の記録化のすすめ―	香川県長寿大学(高松校)	121人
10. 12(土)	長井博志	病魔退散! 疫病神からコロナまで(講座・展示見学)	放送大学香川学習センター	18人
10. 13(日)	長井博志	病魔退散! 疫病神からコロナまで(講座・現地研修)	放送大学香川学習センター	18人
10. 17(木)	長井博志	香川県の千歯抜ぎと足踏脱穀機	三野町生涯学習センター	21人
12. 1(日)	田井静明	なぜ民芸館は栗林公園にあるのか ―讃岐民芸館と昭和40年前後の香川県のデザイン運動―	栗林公園観光事務所	34人
R7. 2. 22(土)	田井静明	香川県の祭礼行事の特徴と地域社会の課題	高松中央ロータリークラブ	79人
2. 26(水)	田井静明	県内の有形民俗文化財の保護の歴史、現状とこれから	香川県教育委員会生涯学習・文化財課	41人

②他機関との連携、地域の活動への協力

i) 香川大学創造工学部(柴田研究室)

和傘資料整理やふるさと体験ツアーの企画・運営、せとうち島フェスタ2024での工作等年間を通して連携した。

ii) 香川県建築士会高松支部青年部会

ナイトミュージアムで屋上展望台や玄関前での空間演出や運営全般について協力し、建築の魅力を発信した。

iii) 五色台活性化の会

環境省や白峯寺、根香寺、少年自然センター、休暇村、市町関係課等とともに、五色台の活性化にむけて自作チラシ等で五色台の桜の魅力をPRしたほか、紅葉期に寺の夜間拝観を行い連携して情報発信を行った。

iv) 香西観光協会、獅子舞王国さぬき

文化庁の地域文化財総合活用推進事業無形民俗用具の修理申請にかかる現認確認、修理指導等を行った。

v) ジオ・ガストロノミー・ツーリズム研究会

香川大学・香川県観光協会等が実施主体となっている研究会の構成メンバーとして参画し、研究を行った。

vi) 高松海上保安部

連続セミナーの講師として、海図や灯台等について講義や展望台からの解説のほか、ナイトミュージアムでの灯台点灯に協力していただいた。

vii) 国立歴史民俗博物館、東京文化財研究所

国立歴史民俗博物館の「フィールドサイエンスの再統合と地域文化の創発」や東京文化財研究所の「有形民俗資料の保存・活用に関する検討会」の共同研究者や検討メンバーとして研究会や巡検等に参加した。

viii) 五色台少年自然センター

五色台集団宿泊学習の野外体験コースの一つに歴民を活用したメニューを設定されたことを受け、瀬戸内のくらしを紹介するとともにSDGsの取り組みについて考える学習を行った。(実績3校)

ix) 香川県立高松西高等学校

「総合的な探究の時間」で行っている課題探究学習の中間発表会に参加し、高校2年生を対象に指導・助言を行った。また高校1年生を対象に、学芸員の仕事や探究の手法について紹介する講座を行った。

x) 香川県教育委員会生涯学習・文化財課

県担当者とともに指定無形民俗文化財の現況や地域の課題の聞き取り調査を行い、今後の対策について情報共有した。

xi) 香川県地域活力推進課

せとうち島フェスタ2024に参加し、島々の民俗等を紹介するパネルを展示したほか、漁網を編む体験や工作等を実施した。香川大学創造工学部連携。

xii) 香川県経営支援課

かがわの伝統的工芸品フェア2025において当館が実施している諸職調査を紹介するパネルを作成し、展示した。諸職調査の一環として開催した讃岐のり染展の解説シート等を配架した。



「せとうち島フェスタ2024」実施風景

③ボランティア

県立ミュージアムボランティアの分館グループとして活動し、令和6年度は39人の登録を得た。

昨年度から引き続き、展示案内、寄贈手続き予定資料の整理や展示室の環境整備等を実施した。館内外で実施した行事の運営補助等にも取り組んだ。

i) 展示案内

建物や第1展示室の解説を来館者に向けて行った。新規登録者の2人を加え、土日の一般来館者対応が可能になった。

ii) 資料整理 歴史・民俗資料の整理

館蔵図書、地主家書簡資料、昭和広告資料、釣り関係書籍資料、高松和傘製造用具等の整理を実施した。また、展示に活用した資料の整理補助を行った。

iii) 館外調査

今年度は活動の実施を見送った。

iv) 館行事（イベント）補助他

瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業では、「れきみんで瀬戸内海を楽しむ見学ツアー」やナイトミュージアムの運営補助を行った。また、本館図書コーナーで実施したトークイベントでは、受付の補助を行った。

v) 環境整備

館内の剪定作業のほか、臨時休館中に展示資料の清掃を行った。

内 容	活動者計	活動者数	活動回数/総人数
展示案内	39 人	3 人	75 回/83 人
資料整理		25 人	167 回/227 人
館外調査		0 人	0 回/0 人
館行事		21 人	20 回/91 人
環境整備		7 人	6 回/10 人
合計			268 回/411 人

（3）普及活動

瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業として全6回の当館での見学ツアーやナイトミュージアム、東讃地域ツアー（文化振興課事業）の企画・ガイド等を実施した。そのほかにも地域の伝統文化・技術等調査記録・発信事業の報告会として、トークイベントやワークショップ等を開催した。トークイベントは本館である県立ミュージアム1階図書コーナー（無料）を会場とし、島や県外からも参加しやすいよう工夫した。これらの企画は従来のファン層に好評を博しただけでなく、ファミリー層や若年層等の来館者増につながった。

①れきみんで瀬戸内海を楽しむ見学ツアー

〔瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業〕

さまざまな専門分野で活動する講師を招き、異なる視点から瀬戸内海について楽しみながら学ぶ全6回の見学ツアーを開催した。各ツアーでは、講師によるミニ講座等を行った後、講師及び当館職員の解説を聞きながら館内や屋上展望台等をめぐった。初の試みとして当館と JR 高松駅間においてバス等による無料送迎を実施した（第1回除く）。講座は参加しやすい午前に設定し、定員25人で募集したが、好評であったため、定員を増やす等して受け入れた。

月 日	テーマ	講師	参加人数 (バス利用人数)
5.11(土)	瀬戸内海国立公園	大林めぐみ (環境省中国四国地方環境事務所国立公園管理官)	39 人
7.20(土)	大地の成り立ちから見た瀬戸内海	長谷川修一 (香川大学特任教授・名誉教授)	53 人 (12 人)
8.10(土)	瀬戸内の気候を俯瞰する	寺尾徹 (香川大学教授)	43 人 (4 人)
9.21(土)	船の道 瀬戸内海	高松海上保安部職員	35 人 (6 人)
10.26(土)	山装う五色台散策	水沼佑太 (OMUSUBI HIKE 登山ガイド)	45 人 (10 人)
11.9(土)	下笠居の漁業	西谷定憲 (下笠居漁業協同組合職員)	28 人 (9 人)



「れきみんで瀬戸内海を楽しむ見学ツアー」実施風景

②れきみんナイトミュージアム ―秋夜の海―

〔瀬戸内海国立公園指定 90 周年記念事業〕

普段とは異なる夜の資料館で船の灯り等を展示し、建築や展示資料についての解説等を行った。また、香川県建築士会高松支部青年部会と連携し、屋上展望台にくつろげる空間を演出したほか、カフェや飲食スペース、ミニシアター等を設けた。初の試みとして、①の見学ツアーと同様に当館と JR 高松駅間においてバス等による無料送迎を実施した。

当初は8月30日(金)・31日(土)に開催予定であったが、台風接近のため、11月上旬に延期して実施した。

月 日	テーマ	協力者	参加人数 (バス利用人数)
11.8(金)	れきみんナイトミュージアム ―秋夜の海―	香川県建築士会高松支部青年部会・高松海上保安部	284 人 (39 人)
11.9(土)			240 人 (42 人)



「れきみんナイトミュージアム ―秋夜の海―」実施風景

③報告会

〔地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業〕

少子高齢化や生活スタイルの多様化が進む中、地域でも伝統的な暮らし・道具や祭り行事等が大きく変化しつつある時勢を踏まえ、当館では令和5年度から地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業として、島しょ部調査、諸職調査、祭礼調査を実施している。

本事業の一環として、地域の生活や祭礼等について様々な活動を行っているパネリストを招き、現状と課題、今後の展望等について考える全4本のトークイベント・講座を開催した。

会場は、島しょ部伝承講座のみ当館で実施し、その他3本のトークイベントは県立ミュージアムで開催した。

月 日	テーマ	パネリスト	参加人数
8.4(日)	トークイベント 瀬戸内の島の生活文化を可視化する	中尾圭(港の編集室) 安岐理加(美術家、てしまのまど代表) 下道基行(美術家、瀬戸内「」資料館館長) 田井静明(当館専門職員)	62 人
8.24(土)	島しょ部伝承講座 粟島の船乗りたちの航跡 ―元外航船員とその家族に聞く―	中西敏文(外航船元甲板部員) 山北光夫(外航船元司厨長) 小邦園子(外航船元甲板長の家族) 井奥亮太(当館専門職員)	39 人
R7.2.8(土)	トークイベント 地域の祭り行事の伝承を考える	池内直生(西上円座獅子組) 福井大和(男木島囃子屋台) 富山茂樹(横内八幡太鼓保存会) 田井静明(当館専門職員)	54 人
R7.3.23(日)	トークイベント 地域の生活文化を伝える	徳善久人(五郷里づくりの会会長) 村山淳(「一社」トピカ代表理事) 大西泰弘(NPO 法人香川歴史的建造物保存活用会議代表理事) 田井静明(当館専門職員)	34 人



「地域の祭り行事の伝承を考える」実施風景

④れきみん講座

瀬戸内ギャラリー企画展にあわせて、れきみん講座を3回開催した。

月 日	テーマ	講師	参加人数
7.28(日)	世界を駆けめぐる船乗りたち ―聞き取り調査からわかったこと―	井奥亮太	41 人
11.2(土)	ギザギザ農具たちのメッセージ ―香川の千歯扱ぎ・足踏み脱穀機調査より―	長井博志	19 人
R7.2.15(土)	香川の奴風流	田井静明	37 人



れきみん講座第1回「世界をかけめぐった船乗りたち
—聞き取り調査からわかったこと—」実施風景

⑤ワークショップ

「伝統と創造 讃岐のり染 —暮らしを彩る—」展の関連企画として開催した。讃岐のり染を製作している大川原染色本舗の工房を訪れ、のり置きや色さし等の作業やさまざまな道具、材料等について解説を受けながら見学した。

月 日	テーマ	講師	参加人数
5. 18(土) (午前・午後 計2回実施)	のり染工房見学	大川原誠人 (有)大川原染色本舗	20人 (各回10人)



「のり染工房見学」実施風景

⑥瀬戸内海歴史民俗資料館ツアー

職員が館内外を解説する人数限定の見学ツアーを今年度から開始した。

通常非公開の館長室や漁撈収蔵庫の一部を公開し、当館の設計者である山本忠司の建築を紹介する展覧会「建築家・山本忠司 風土に根ざし、地域を育む建築を求めて」展の図録付きで実施した。

月 日	テーマ	参加人数
11. 30(土) (午前実施)	瀬戸内海歴史民俗資料館ツアー 参加料：2,000円	3人
R7. 3. 30(日) (午前・午後 計2回実施)	瀬戸内海歴史民俗資料館ツアー 参加料：2,000円	15人 (午前9人、 午後6人)



「瀬戸内海歴史民俗資料館ツアー」実施風景

⑦その他

- ・県文化振興課が主催し、10月6日(日)に開催された瀬戸内海国立公園指定90周年記念事業「瀬戸内海の歴史をたどる東讃地域ツアー」で企画制作およびガイドを務めた。特別講師の長谷川修一氏(香川大学特任教授・名誉教授)による歴史地理的な解説が24人の参加者に好評を博した。
- ・サンポート高松多目的広場で10月14日(月・祝)に開催された「せとうち島フェスタ2024」に参加し、島しょ部調査の成果を活かして島々の民俗文化等を紹介するパネルを展示した。
- ・香川県立ミュージアムで以下の講座を実施した。

月 日	テーマ	講師	参加人数
R7. 3. 22 (土)	ミュージアム・プレゼンテーション2025 「直島の旧網元家に残されていたモノ」	岡田達哉	44人



「瀬戸内海の歴史をたどる東讃地域ツアー」実施風景

3 調査・研究事業

(1) 調査研究活動

①地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業

令和5年度から県文化芸術振興計画の重点事業の一つとして実施。過去に当館が調査してきた瀬戸内海島しょ部や職人、民俗芸能や祭り等の現況確認や記録を行い、その成果を展示やトークイベント等を通じて広く県民に紹介した。

i) 島しょ部調査

祭り行事調査を兼ねて県内11島を訪れ、現況やハレの日を中心とした写真・映像記録調査を30回にわたり実施した。

栗島の元外航船員からの聞き取り調査・海外土産の展示、昨年度に引き続いての本島笠島地区生活文化継承事業の調査に伴う関連トークイベントの実施等、展示・普及事業も実施した。

また、既収蔵の潜水土用具関連調査として実施した本島漁師聞き取り調査や志々島の盆踊調査、豊島のお大師さん調査、直島の家終い調査等を通じて、関係者や島民とのつながりの醸成を図った。こうした成果をふまえ、令和7年度以降の発信事業に繋げていく予定である。

ii) 祭り行事調査

コロナ禍後の県内各地域の祭りや民俗芸能の現況聞き取り・写真・映像記録調査を61カ所にわたり実施した。

6年度は香川県の祭礼を特徴づける民俗芸能の一つである奴行列・奴振りについて広く知っていただくための調査・記録を重点的に実施し、既撮影のものも含めて県内60カ所の奴行事と56本の編集映像を観覧に供した。

また3月には、休止中の北条念仏踊保存会に対して、当館職員が約30年前（平成6年）に撮影した奉納映像を提供するとともに、復活に向けての取り組みを記録した。同じく3月には、県内西部地域で行われているももて祭りについても約10カ所の現状記録を行った。

iii) 諸職調査

かつて調査した県内150人の職人のうち東かがわ市や多度津町の職人について、実地調査や地元資料館等から情報収集する等概要把握を行った。

今年度の「職人の道具」展に関連した調査として、上記150人に含まれる焼印職人の家に遺された資料群や張子の虎職人の調査を、また現代の名工に指定されている菓子型職人からの聞き取り調査も実施した。そのほか、元伝統工芸士であった桶職人の型板等の用具の収蔵調査も行った。

②収蔵資料の再確認・調査研究

ボランティアと共同で昨年度収蔵したチヌ漕網の計測調査を行った。また、個人研究として薬広告や病除けのまじない道具等の調査を行い、報告した。

③瀬戸内海広域・海に関わる記録調査

高松市のコンブ養殖や本島の潜水土、岡山県北木島で活躍した木造和船に関わる聞き取り調査や記録等を行った。

④資料の寄贈・寄託の申し出に係る調査

個人や団体、会社からの遺品整理、家終い、納屋終い等に係る寄贈調査を18カ所50回の民俗資料等の寄贈希望に対応した。

⑤展示・教育普及事業に係る調査

今年度、次年度のギャラリー展に関わる調査を33回実施した。調査対象は香川県内の千歯抜き・足踏脱穀機等の農具や、焼印製作用具・鋸目立て用具等、職人が使用した道具である。これらのうち、千歯抜き・足踏脱穀機調査については県内の12市町教育委員会・資料館や8個人の協力を得た。

また、今年度、次年度の連続講座、ワークショップ、トークイベント等に関わる調査を14回実施した。

⑥レファレンス等による調査

i) レファレンス対応

令和6年度に対応したレファレンスは以下のとおり。

項目	件数
質問	114
寄贈・寄託希望	27
調査依頼	15
資料情報その他	42
合計	198

ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

17件の寄贈申込みを受けて調査した。そのうち、多度津町で民俗学史研究関連資料、高松市で信仰用具資料、善通寺市でタバコ生産用具資料、高松市で生活用具資料、東かがわ市で調理用具資料および撮影機材資料等を調査し、寄贈手続きを行った。

⑦教育普及に伴う調査

令和6・7年度の連続講座、トークイベント、ワークショップ等に関連した調査を行った。

(2) 成果物の公表

①研究成果の公表

i) 論文・報告・紹介等 (館外)

井奥亮太

- ・四国新聞コレクションを読み解く(9)「志々島いせやの帳簿類」(R7. 3. 14 付)

長井博志

- ・四国新聞コレクションを読み解く(8)「ナマリ ―ユーモラスな姿の漁具―」(R7. 3. 7 付)

岡田達哉

- ・四国新聞コレクションを読み解く(10)「高松和傘の型紙」(R7. 3. 21 付)

田井静明

- ・「〈雑感〉資料館・博物館は何を集めてきたのか、これから何を集めていくのか」四国民具研究会『民具集積』24号 (R6. 11. 22)
- ・四国新聞「瀬戸内海を旅する(1) ―万博と観光―」(R6. 6. 7 付)
- ・四国新聞「瀬戸内海を旅する(7) ―調べて集めて記録する―」(R6. 6. 7 付)

松岡明子

- ・「高松松平家博物図譜と「衆芳画譜」・「写生画帖」の模索」根津美術館『重要文化財指定記念特別展 百草蒔絵薬簞笥と飯塚桃葉』(R6. 11. 2)
- ・四国新聞 瀬戸内海を旅する(3)「文人が望んだ故郷」(R6. 6. 21 付)
- ・四国新聞 瀬戸内海を旅する(6)「テグス行商」(R6. 7. 12 付)

ii) 自治体や他機関からの委嘱等

田井静明

- ・公益財団法人四国民家博物館理事
- ・観音寺市教育委員会「観音寺市郷土ふるさと学芸館運営委員」委嘱
- ・国立歴史民俗博物館基礎研究プロジェクト「地域における歴史文化研究拠点の構築」共同研究者
- ・高松市「高松市文化芸術振興審議会委員」委嘱
- ・公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団「助成金審査員」委嘱

松岡明子

- ・観音寺市教育委員会「観音寺市文化財保護審議会委員」委嘱
- ・さぬき市教育委員会「さぬき市文化財保護審議会委員」委嘱

iii) 当館刊行物及び香川県立ミュージアム刊行物

○瀬戸内海歴史民俗資料館

井奥亮太・田井静明・岡田達哉

- ・「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業 栗島から世界へ ―船乗りの海外土産―」瀬戸内ギャラリー第13回企画展解説シート

長井博志・岡田達哉・井奥亮太

- ・『たくさん集める』からわかること ―香川の千歯扱ぎ・足踏脱穀機大集合―」瀬戸内ギャラリー第14回企画展解説シート

田井静明・岡田達哉・井奥亮太

- ・「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業 大国香川 ―獅子舞・太鼓台に負けない祭礼風流―」瀬戸内ギャラリー第15回企画展解説シート

松岡明子・長井博志・岡田達哉

- ・「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業 伝統と創造II 職人の道具」瀬戸内ギャラリー第16回企画展解説シート

○香川県立ミュージアム

井奥亮太

- ・「外航船員の生活史調査 ―香川県内出身者を中心に―」『香川県立ミュージアム調査研究報告 第16号』

長井博志

- ・「香川県の千歯扱ぎ・足踏脱穀機 ―瀬戸内海歴史民俗資料館企画展開催に伴う事前調査より―」『香川県立ミュージアム調査研究報告 第16号』

- ・『香川県立ミュージアムNEWS』での調査研究・資料紹介等

井奥亮太

- ・「れきみんだより 船上のシェフ ―船員の食生活を支えた司厨長に聞く」NEWS 第62号

田井静明

- ・「トピック まぼろしの香川県師範学校郷土館「国立公園瀬戸内海の展望」展」NEWS 第63号

長井博志・田井静明

- ・「れきみんだより 『たくさん集める』からわかること ―香川の千歯扱ぎ・足踏脱穀機大集合―」NEWS 第63号

岡田達哉

- ・「れきみんだより 高松和傘の多彩な図案 ―大学生やボランティアの協力により気づいたこと―」NEWS 第64号

松岡明子

- ・「トピック 瀬戸内海歴史民俗資料館が重要文化財に指定されました」NEWS 第64号

②刊行物

i) 瀬戸内ギャラリー企画展解説シート

- ・「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業 栗島から世界へ ―船乗りの海外土産―」

A3判 2ツ折 カラー刷 2,000部

- ・『たくさん集める』からわかること ―香川の千歯扱ぎ・足踏脱穀機大集合―

A3判 2ツ折 モノクロ刷 2,000部

- ・「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業〈奴行列〉大国香川 ―獅子舞・太鼓台に負けない祭礼風流―」

A3判 2ツ折 モノクロ刷 2,000部

- ・「地域の伝統文化・技術等の調査記録・発信事業 伝統と創造Ⅱ 職人の道具」

A3判 2ツ折 カラー刷 2,000部

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動 (令和7年3月末現在)

令和6年度収集数 ※移管他に採集を含む

部門	購入	寄贈	寄託	移管他	計
民俗	0	147	0	0	147
歴史	0	0	0	0	0
資料	0	0	0	0	0
計	0	147	0	0	147

令和7年3月末累計

部門	館蔵(購入・寄贈・移管他)	寄託	計
民俗	30,388	0	30,388
歴史	84,662	12,573	97,235
考古	253	947	1,200
資料	76	0	76
計	115,379	13,520	128,899

①民俗資料(掲載の順序は、原則手続き順による)

- ・多度津町の民俗学史研究関連資料 111点
- ・高松市の信仰用具資料 1点
- ・善通寺市のタバコ生産用具資料 2点
- ・高松市の生活用具資料 11点
- ・東かがわ市の調理用具資料 2点
- ・東かがわ市の撮影機材資料 1点
- ・岡山県倉敷市の船大工関連用具資料 6点
- ・坂出市の祭礼用具資料 10点
- ・高松市の円座製作関連資料 2点
- ・丸亀市の四国遍路関連資料 1点

計 147点

②文献資料

- i) 報告書・図書等の寄贈点数 257点

- ii) 購入雑誌 『日本民俗学』 5点、『民具研究』 1点

(2) 資料整理保管活動

①資料整理活動

簡易目録化を終えた高橋克夫資料について、寄贈手続きのための確認作業を実施した(継続中)。また、荘内半島地主資料の整理も継続中である。

②収蔵資料管理システム

県立ミュージアムのデータベースシステムを当館でも運用している。寄贈資料情報147点(令和6年度末まで)を入力した。

(3) 資料の特別利用

利用区分一覧 利用申請 計31件

利用区分	件数	点数
貸出	2	2
閲覧	120	197
画像利用	出版	10
	放映(再放送を含む)	3
	掲出(パネル展示等)	8
	WEB等掲載	0
	DVD等掲載	0
	撮影・複写・紙焼等	0
	その他	1
複製製作	0	0

※一申請で複数の利用区分がある場合があるため、利用総数と区分別の総数は異なる。

①貸出利用

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	番付(大川郡福栄村渡瀬卯太郎菟蔵文書)	1	高松市歴史資料館	「まちの芝居小屋 一延寿閣 KABUKI」で展示するため	7.20(土) ～8.25(日)
2	増補穆公遺事	1	公益財団法人 根津美術館	特別展「百草蒔絵葉巻筒と飯塚桃葉」で展示するため	10.9(水) ～12.31(火)

②閲覧利用

番号	資料名	利用者	目的
1	山田郡下林村順道絵図 全1件1点	個人	近世絵図の調査
2	浦方御用留 宝暦十三年～天明四年 等全4件4点	個人	江戸時代引田浦水夫廻船諸事項調査
3	岡田東西村持高順道書拔帳 等全5件5点	香川県埋蔵文化財センター	綾歌町岡田東で実施している発掘調査現場の周辺の歴史の研究
4	番付 全1件1点	高松市歴史資料館	当館の収蔵品展(「まちの芝居小屋」)のための資料調査
5	浦方御用留 宝暦十三年～天明四年 等全4件4点	個人	江戸時代引田浦水夫廻船諸事項に関する調査
6	(浦年寄覚書)嘉永6年2月～文久2年6月 鎌田政助 等全10件19点	個人	大学の修論研究(江戸時代海上警察の研究)
7	オフダ 全2件2点	個人	調査研究(研究報告書作成および『民具集積』24号へ掲載する論文作成)
8	乗組人別算用帳 全1件1点	個人	三豊市詫間町周辺の漁師に関する研究
9	1-(1)柳田国男関係・書簡 等全58件58点	個人	『柳田国男大事典』(石井正己・佐藤健二編、勉誠社、2025年刊行予定)の執筆等、柳田国男研究
10	口書一札之事 等全5件15点	淡路地方史研究会	江戸時代の淡路島廻船の活動を小論文にまとめるための調査
11	国分寺本堂修理報告書 昭和19年12月升口富太郎氏蔵原稿写し 全1件1点	個人	郷土史研究
12	栗島関係資料 等全2件20点	個人	幕末維新期の讃岐地域史研究(海運・大塩の乱)
13	理平焼 岡田唯吉 等全17件54点	公益財団法人鎌田共済会郷土博物館	鎌田共済会郷土博物館及び岡田唯吉の活動と戦前の展覧会についての調査
14	鯨頼曳綱々規則 大正六年四月二五日 片岡亀吉・外三人 平尾瀧次・外十人 等全6件9点	個人	網元平尾家に関する研究
15	桑こぎ 全1件1点	個人	桑扱き機の全国分布に関する研究
16	乗組人別算用帳 等全2件2点	個人	三豊市詫間町大浜に関する調査

③画像利用

番号	資料名	利用者	目的	利用区分
1	歴史コレクション展Ⅱ展示風景	個人	『歴史と民俗』41号 投稿論文への掲載	出版
2	海外優秀商品見本の展示品	株式会社ディスカバリージャパン	「Discover Japan Travel 香川」にて香川県のデザインに関する取り組みについての紹介	出版
3	さぬき浦島太郎の研究、浦島太郎伝説ニ就テ(仁尾保勝会)、仁尾町島公園(平石)遊覧案内、さぬき あはしま、国民宿舎 つたじま荘、仁尾島公園繪会はがき	三豊市文書館	三豊市文書館 夏期企画展に写真パネルとして展示	展示

4	仁尾町葛島公園(平石)遊覧案内	三豊市文書館	三豊市文書館 夏期企画展のポスター・チラシに利用	出版
5	増補穆公遺事	根津美術館	特別展「百草蒔絵葉巻筒と飯塚桃葉」のプレスリリース作成	出版
6	瀬戸内海歴史民俗資料館の外観写真	株式会社マガジンハウス	Hanako 特別編集ムック「47 都道府県グルメ」(Web版も含む)に瀬戸内海歴史民俗資料館の情報を掲載	出版
7	オフダ	個人	『民具集積』24号への報告書掲載	出版
8	『讃岐民俗』2巻2号	個人	杉井孫太郎氏の著作についての研究	出版
9	惣座浦分帳 本村分 明治十五年八月、萬買上 覚帳 大福入 明治	個人	論文「近現代における碁石茶の生産と消費」(今石みぎわ著)への写真の掲載	出版
10	石の積出し場(小与島)	株式会社テレビ朝日	テレビ朝日「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」番組内での使用	放映
11	伊達額「進徳修業」(栗島紀家文書9)	個人	栗島の海運についての研究報告で提示	出版
12	竹ノ浦のトウカイ船、西浦エビス神社	個人	映像作品「瀬居島の延縄漁についてのインタビュー」での利用	放映
13	大崎上島権伝馬、海難の絵馬	環境省中国四国地方環境事務所	「令和6年度瀬戸内海国立公園における全体及び地域ストーリー検討業務」にて作成する「瀬戸内海国立公園ストーリー集」(瀬戸内海国立公園の地域資源を洗い出した冊子)に掲載	出版

分館 香川県文化会館

1 展示事業

会期	展示名・内容	入場者数
開催なし		—

2 貸館事業

(1) 県民ギャラリー

場 所	内 容	件 数	日 数
全 展 示 室	美術展、書道展など	8 件	31 日
2 階展示室	書道展、写真展、絵画展など	7 件	57 日
3 階展示室	書道展など	2 件	4 日
合 計		17 件	92 日

(2) 芸能ホール

場 所	内 容	件 数	日 数
芸能ホール	邦楽演奏会、日本舞踊、寄席など	35 件	44 日
合 計		35 件	44 日

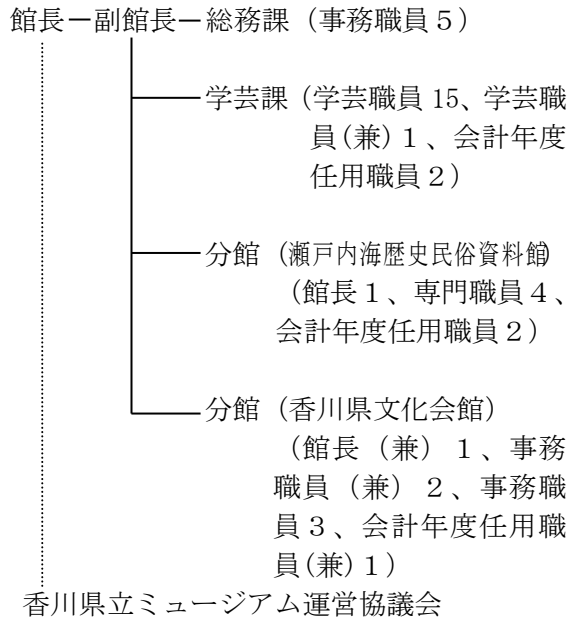
(3) 和室

場 所	内 容	件 数	日 数
和 室	茶会など	40 件	47 日
合 計		40 件	47 日

III 組織と運営

1 組織・職員

(1) 組織図 (令和7年3月31日現在)



(2) 職員名簿

館長	古沢 保典
副館長	増田 祐子
<総務課>	
総務課長	志賀 靖
主任	松井 佳代
主任主事	穴吹 淳
主任主事	中村 真優
主事	谷本 優
<学芸課>	
学芸課長	野村 美紀
主任専門学芸員	御厨 義道[収集管理]
主任専門学芸員	三好 賢子[企画]
主任専門学芸員	窪美西 嘉子[地域連携]
主任専門学芸員	高木 敬子[収集管理]
専門学芸員(兼)	一柳 友子
専門学芸員	鹿間 里奈[地域連携]
専門学芸員	黛 友明[企画]
専門職員	横山 達磨[企画]
専門職員	翠 さやか[地域連携]
主任主事	岡本由貴子[収集管理]
主任学芸員	日置 瑤子[収集管理]

主任学芸員	川邊 優佑[収集管理]
主任主事	大町 優美[地域連携]
学芸員	芝野 有純[企画]
学芸員	藤井 俊輔[企画]
会計年度任用職員	芳地 智子[収集管理]
会計年度任用職員	小野 麻美[収集管理]

<分館 (瀬戸内海歴史民俗資料館)>

館長	松岡 明子
主任文化財専門員	
(兼)主任専門学芸員	長井 博志
専門職員	井奥 亮太
専門職員	岡田 達哉
専門職員	田井 静明
会計年度任用職員	齊賀 真紀
会計年度任用職員	吉田 忠浩

<分館 (香川県文化会館)>

館長(兼)	萱原 弘明
次長(兼)	松原 正人
主任(兼)	武田 美里
主任	佐々木直樹
主任	大方 和男
主任	鎌倉 新二
会計年度任用職員(兼)	上島 美香

2 予算

予算は管理運営費と事業費からなる。

令和6年度当初予算 (単位：千円)

管理運営費	事業費	計
552,458 ※1、※2	57,271	609,729

※1 職員給与費を含む

※2 文化芸術振興基金事業を含む

3 香川県立ミュージアム運営協議会

県立ミュージアムの事業をはじめとする運営全般について意見を求める香川県立ミュージアム運営協議会の会議を次のとおり開催した。

・第1回運営協議会

日 時：令和6年10月2日(水)
 会 場：香川県立ミュージアム 会議室
 議 事：令和5年度事業実績について
 中期活動計画の取組状況について
 令和6年度上半期の事業概要について
 香川県立ミュージアムを中核とした文化観光拠点計画について

・第2回運営協議会

日 時：令和7年3月13日(木)
 会 場：香川県立ミュージアム 会議室
 議 事：令和6年度事業実績について
 令和7年度事業計画について
 香川県立ミュージアムを中核とした文化観光拠点計画について
 瀬戸内海歴史民俗資料館の重文指定について

香川県立ミュージアム運営協議会委員
 (五十音順)

氏 名	所 属 等
生田真理子	おいでまい町家プロジェクト in 香川 TADOTSU (代表) 多度津町まねきねこ課推進員
胡 光	愛媛大学 法文学部教授
大西 由子	香川県立ミュージアム パスポート会員
藏本 秀彦	高松工芸高校 教諭
酒井 博英	NHK高松放送局 コンテンツセンター長
櫻木 拓	香川県小・中学校文化連盟 事務局長
寒川 千春	香川県 PTA 連絡協議会 母親代表委員長
圖子 秀達	香川県美術家協会 洋画部門会員
高橋 綾	(株)マツシタ ビジネスプランナー
宮脇 茂樹	四国新聞社編集局 生活文化部長
守田 逸人	香川大学 教育学部教授

香川県立ミュージアム運営協議会設置要綱
 (設置)

第1条 香川県立ミュージアムの運営について
 意見を求めるため、香川県立ミュージアム運営
 協議会（以下「協議会」という。）を設置する。
 (組織)

第2条 協議会は、15人以内の委員で組織する。

2 委員は、学識経験者、文化芸術団体、学校教育、家庭教育、利用者団体等の関係者から、館長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 (会長および副会長)

第3条 協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議は、館長が招集し、会長がその議長となる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、香川県立ミュージアムにおいて行う。

附 則

1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

2 協議会設置当初の委員の任期は、第2条第3項本文の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

3 香川県歴史博物館事業懇談会設置要綱(平成19年4月1日施行)は、廃止する。

4 利用状況

(単位：人)

令和6年度(令和7年3月31日現在)		
特別展	皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ皇室と香川	23,070
	第88回香川県美術展覧会	6,190
	美術を探究 ギモンにせまる	4,562
	第71回日本伝統工芸展	4,486
	計	38,308
常設展（歴史展示＋企画展示）		46,861
教育普及活動等利用者		5,191
貸館		5,563
本館 合計		95,923
分館瀬戸内海歴史民俗資料館		15,181
分館文化会館		
主催展		—
貸館		15,602
分館文化会館 合計		15,602
県立ミュージアム 総計		126,706

5 施設の管理状況

当館の消火設備は貴重な収蔵作品を保管しているため、水ではなくイナージェンガスを使用している。イナージェンガス消火設備は消防庁告示により耐圧性能、気密性能、安全装置の作動などの点検が義務付けられており、イナージェンガス容器本体は、設置後30年、起動用ガス容器は、25年を経過するまでに点検が必要となっている。

当館のイナージェンガス消火設備は、設置後25年を経過しようとしていたため、不具合のあった制御盤をはじめ、イナージェンガス容器本体の一部、その他末端設備を令和5年度において更新した。また、令和6年度において、残りのイナージェンガス容器本体を交換し、これをもって当館のイナージェンガス消火設備の更新が完了した。尚、本事業は、美術工芸品防災施設整備の国庫補助事

業として実施した。

また、令和6年度においても、委託業者による消火設備、防災設備、防犯設備、中央管制装置、電気工作物、駐車場管制設備、自動扉、空調衛生設備機器などの保守点検・管理を行ったほか、1階トイレの洋式化工事、重油タンク配管の修繕、不具合のある機器の修繕・交換など、当館設備の維持管理を行った。

IV 施設の概要

(令和6年4月1日現在)

本館

1 建築等の概要

● 建設の概要

敷地面積	5,016.77 m ²
建築面積	3,419.60 m ²
延床面積	19,656.99 m ²
塔屋1階	86.70 m ²
6階	811.57 m ²
5階	1,273.69 m ²
4階	1,782.11 m ²
3階	3,702.19 m ²
M2階	3,150.68 m ²
2階	980.84 m ²
1階	2,606.37 m ²
B1階	2,600.64 m ²
B2階	2,734.20 m ²
階数	地上7階、地下2階、塔屋1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造・鉄筋コンクリート造
高さ	GL+44.19m

● 設備の概要

空調調和設備

■空調設備 ・一般系統 ・収蔵庫系統 ・展示室系統	室の用途に応じて次のように対応 単一ダクト方式+FCU 単一ダクト方式 直接空調、間接空調併用 単一ダクト方式 展示ケースはケース周囲 空調による間接空調
■自動制御設備	デジタル方式による空調設備温湿度制御及び省エネルギー制御。中央監視盤による各動力機器の自動・遠隔発停、状態監視、記録、温湿度の監視、記録、電力設備のデマンド制御、状態監視、記録を行う。
■燻蒸設備	固定設備

電気設備

■照明器具設備	
・展示室 (特別、企画)	一般照明はミニハロゲンランプ、展示ケースは美術館、博物館用AAA蛍光ランプ
・展示室(歴史)	メタルハライドランプによる間接照明
■音声ガイド	ポータブルROMプレーヤーによる音声ガイドシステム。1台で4ヶ国語の解説が聞ける設定。33項目の解説で、所要時間約47分
■監視	中央監視室・警備員室で次の監視を行う。
・中央監視室	受電盤及び発電機の操作状況監視 照明副制御盤 自動火災報知機副受信盤 親時計
・警備員室	非常放送 監視カメラ 自動火災報知機副受信盤 防犯監視 照明主制御盤 身障者呼出し
■監視設備(ITV)	

・展示室系統	展示室にカメラ16台
・駐車場系統	地下1、2階にカメラ16台
	それぞれ警備員室、管理事務室にモニター設置
■防犯設備	赤外線センサー、シャッター、ドアセンサー、カードリーダー、テンキー、電気錠
■自動火災設備 (防排煙含む)	中央監視室にGR型複合受信盤
■講堂設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響機器架3架、映像送出架1架、固定式調整卓1式、移動調整ワゴン1式、マイクコンセント、インカム子機、オーバーヘッドカメラ、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー、ステージスピーカー、ハネカエリスピーカー
■研修室設備	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響・映像機器架1架、移動式調整卓1式、マイクコンセント、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー

給排水衛生設備

■中水設備	引込管、副受水槽を経由し、地中梁内利用受水槽(200m ³ 2槽式) 高架水槽(5m ³ 2槽式)
■雨水利用設備	屋上雨水管より雨水槽へ(50m ³)、ろ過装置 經由後中水槽へ

消火設備

■イナージェンガス設備	展示室、収蔵庫、電気室、中央監視室、ビデオ編集室、薬品庫など20区画、ボンベ125本
■スプリンクラー消火設備	歴史展示室にブリアクシオンタイプ。地下階各居室ゾーンに設置
■屋内消火栓設備	イナージェンガス設備範囲外のすべての部分

昇降機設備

■エレベーター	
No.1、2号機	来館者用乗用エレベーター(地下2階～3階) 11人乗り 積載量750kg
No.3号機	乗用エレベーター(地下2階～6階) 17人乗り 積載量1,150kg
No.4号機	荷物用エレベーター(1階～5階) 積載量3000kg 開口4,000mm×奥行3,000mm
No.5号機	乗用エレベーター(地下2階～1階)11人乗り 積載量750kg

設計・施工

設計	建築設計 展示設計	(株)日建設 (株)丹青社
施工	建築 電気 空調 給排水 昇降機 展示	清水・フジタ建設共同企業体 住友電設・久保電気建設企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 (株)東芝 (株)丹青社

2 面積

部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)
展示部門	歴史展示室	3	1,188.65
	常設展示室－1	2	332.76
	常設展示室－2	2	78.57
	常設展示室－3	2	139.23
	常設展示室－4	2	150.73
	常設展示室－5	2	130.19
	常設展示室ロビー	2	293.96
	特別展示室	2	726.13
	展示準備室	2	78.06
	パネル庫	2	77.30
	その他		92.11
	小計		3,287.69
学習支援部門	図書コーナー	1	274.58
	体験学習室	1	113.33
	準備室	1	18.53
	準備室	1	58.68
	講堂	B1	285.98
	準備室	B1	84.72
	研修室	B1	114.96
	工作室	B1	64.84
	実習室	B1	68.05
	準備室 1	B1	26.46
	準備室 2	B1	18.86
	ボランティア室	B1	28.80
	その他		4.33
	小計		1,162.12
調査・研究部門	学芸員室	5	260.04
	整理作業室	5	36.17
	整理分析室1	5	49.45
	整理分析室2	5	122.47
	保存科学室	5	143.73
	薬品庫	5	20.60
	資料鑑定室	5	35.42
	書庫	5	164.36
	資料閲覧室	5	12.77
	情報処理室	5	21.56
	資料保管庫	5	44.75
	写真撮影室	4	81.32
	暗室	4	17.14
	ビデオ編集室	4	28.96
	その他		286.50
	小計		1,325.24
収蔵部門	特別収蔵庫	3	200.12
	低湿収蔵庫	3	106.45
	高湿収蔵庫	3	106.39
	歴史収蔵庫	3	586.37
	考古収蔵庫	3	411.62
	前室	3	156.19
	フィルム庫	4	193.87
	美術工芸収蔵庫	4	389.82
	民俗生活収蔵庫	4	593.82
	前室	4	88.48
	資材庫	1	33.46
	梱包資材庫	1	34.97
	修復室	1	30.11
	燻蒸庫	1	23.36
	一時保管庫	1	62.95
	荷受・荷解室	1	163.82
	トラックヤード	1	121.32
	その他		511.07
	小計		3,814.19
管理部門	館長室	M2	56.25
	応接室	M2	37.17

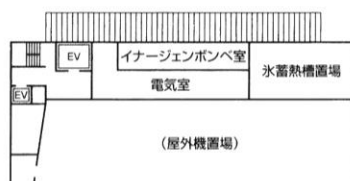
	事務室	M2	110.31
	印刷室	M2	13.44
	書類庫	M2	30.42
	展示案内員室	2	30.20
	警備員室	1	22.86
	救護室	1	17.32
	授乳室	1	9.25
	会議室	M2	110.34
	休憩室	M2	34.28
	更衣室	M2	54.09
	器具庫	M2	15.13
	物品庫	M2	17.55
	清掃員控室	B1	32.95
	中央監視室	B1	68.69
	その他		384.04
	小計		1,044.29
機械関係	機械室	B2	215.13
	熱源機械室	6	91.62
	ポンプ室	B2	44.07
	電気室	6	102.08
	イナージェンボンベ室	6	83.09
	排気ファン室	B2	27.12
	氷蓄熱槽置場	6	138.79
	その他		1,188.24
	小計		1,890.14
共用部分	エントランスホール (1階)	1	427.81
	ロビー (2階)	2	388.68
	ロビー (3階)	3	433.73
	ゴミ庫	B1	40.77
	その他		2,616.55
	小計		3,907.54
喫茶・売店	喫茶室	1	113.84
	ミュージアムショップ	1	42.11
	その他		5.27
	小計		161.22
駐車場	駐車場	B2	1,961.04
	業務用駐車場	B1	413.19
	車路スロープ	B1・2	137.66
	その他		552.67
	小計		3,064.56
総計			19,656.99

3 各階配置図・平面図

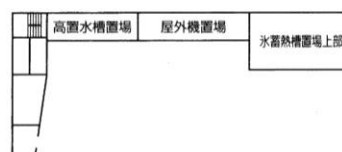
各階配置図



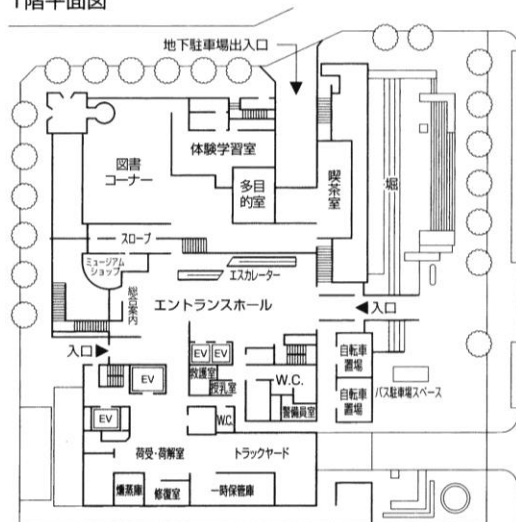
6階平面図



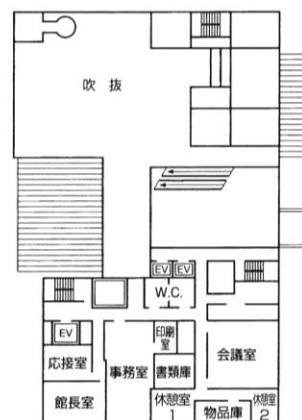
塔屋1階平面図



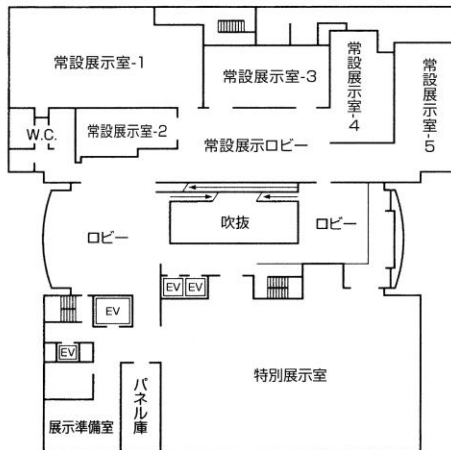
1 階平面図



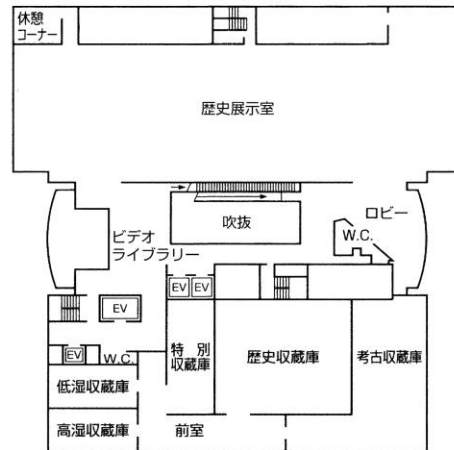
M2階平面図



2階平面図



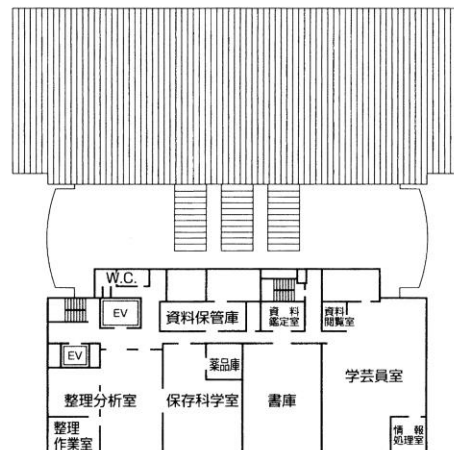
3階平面図



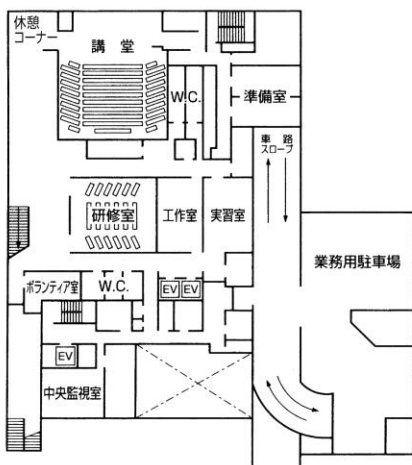
4階平面図



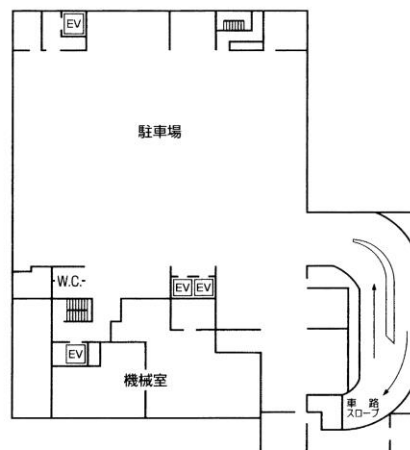
5階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

1 建築概要

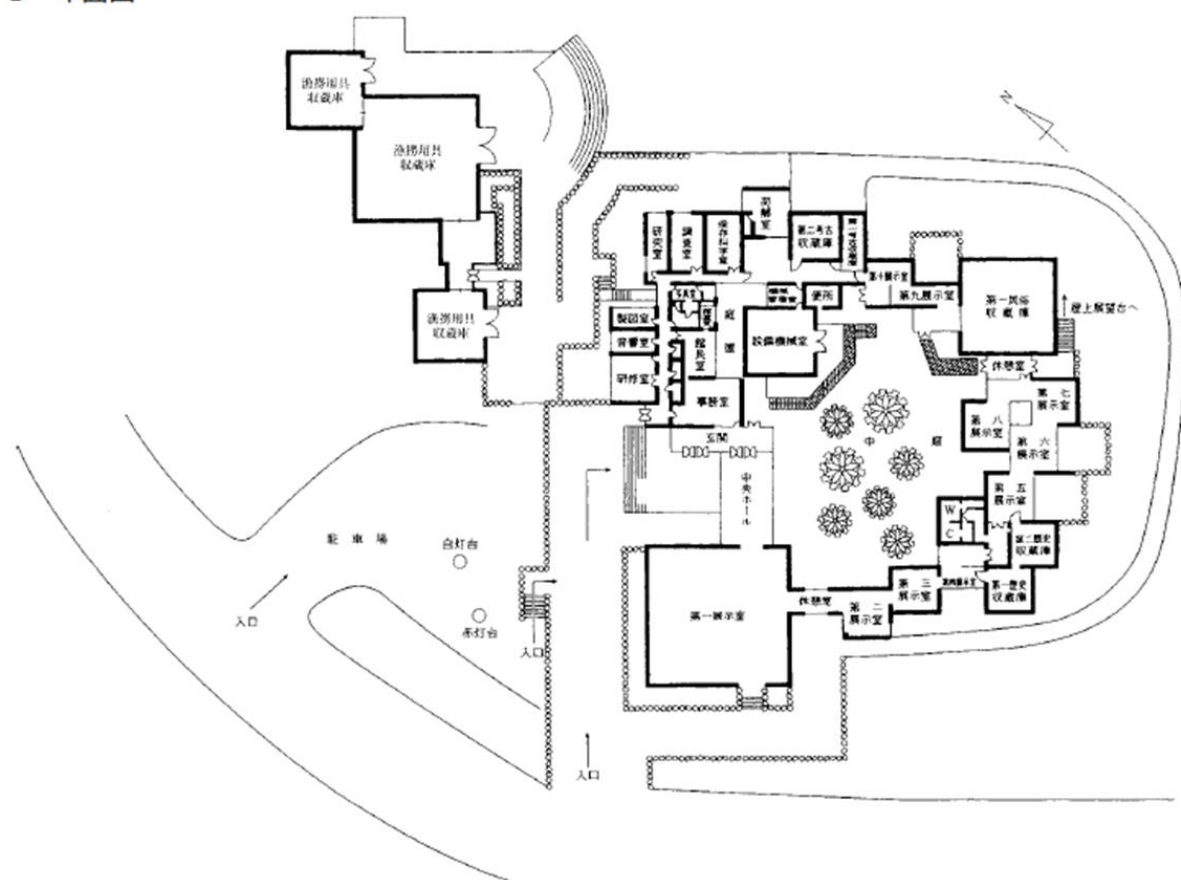
設計 建築：香川県建築課
 協働：山本坦設計事務所
 構造：木村俊彦構造設計事務所
 設備：香川県建築課
 監修 文化庁建造物課
 監理 香川県建築課
 施行 建築：(株)高岸工務店
 電気：近畿電気工事(株)高松営業所
 給水・衛生・空調：第一設備工業(株)
 四国出張所
 石壁：和泉政敏
 造園：(株)桂組
 鉄筋コンクリート造
 平屋建（一部中2階）
 外部 コンクリート打放し及び石積み
 内部 床：れんがタイル及びビニタイル張り
 天井：プラスターボード張りボイルキン
 吹付け及びOPローラ引き

2 面積

室名	面積 (㎡)
玄関	68.00
事務室	88.00
館長室	48.00
倉庫	15.00
宿直室	40.00
写真室	24.00
研修室	64.00
音響室	32.00
製図室	32.00
研究室	44.00
調査室	60.00
保存科学室	60.00
荷解室	88.00
機械管理室	24.00
設備機械室	132.25
中央ホール	134.12
第一展示室	705.60
機械室	207.36
休憩室	32.00
第二展示室（歴史）	64.00
第三展示室（歴史）	64.00
第四展示室（歴史）	64.00
第一歴史収蔵庫	64.00
第二歴史収蔵庫	118.18
第五展示室（考古）	64.00
第六展示室（考古）	64.00
第七展示室（考古）	64.00
第八展示室（考古）	64.00
休憩室	32.00
第一民俗収蔵庫	256.00
第九展示室（特別展示室）	64.00
第十展示室（特別展示室）	64.00
第一考古収蔵庫	40.00
第二考古収蔵庫	117.60
地下収蔵庫（民俗）	94.00
地下収蔵庫（民俗）	120.00
漁撈用具収蔵庫	952.00
その他	173.00
計	4441.11

延床面積 4,441.11 ㎡
 （展示部門 1,281.60 ㎡ 収蔵部門 1,761.78
 ㎡ 管理部門 1,397.73 ㎡）

3 平面图



分館 香川県文化会館

1 建築概要

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、
地上7階建て

建築面積：923.91 m²、延べ面積：4628.02 m²

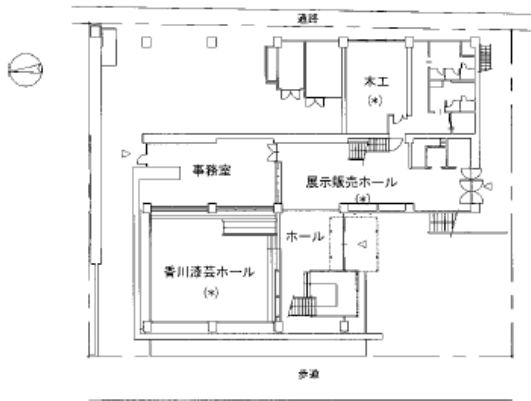
設置年月 昭和41年5月

2 面積

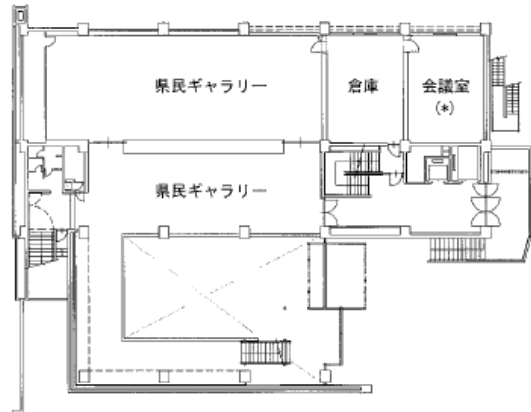
階	室名	床面積	階別面積
地階	機械室ほか	774.56	774.56
1階	香川漆芸ホール	152.10	844.16
	その他	692.06	
2階	県民ギャラリー	387.89	637.20
	その他	249.31	
3階	客席舞台	300.23	972.12
	県民ギャラリー	357.12	
	その他	314.77	
4階	和室	135.37	421.43
	その他	286.06	
5階	存清実習室ほか	301.78	301.78
6階	彫漆実習室ほか	301.78	301.78
7階	蒔醤実習室ほか	301.78	301.78
塔屋	その他	73.21	73.21
延べ面積			4,628.02

3 平面図

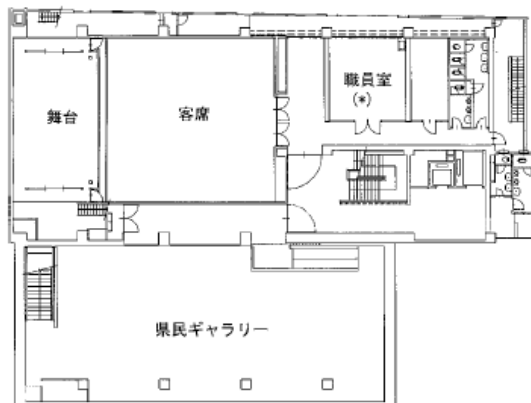
1階平面図



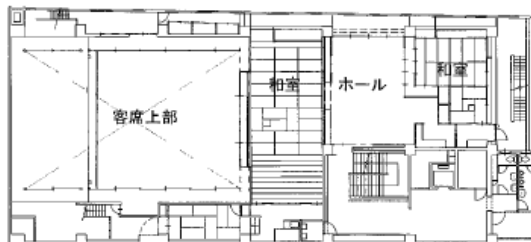
2階平面図



3階平面図



4階平面図



5階平面図(*)



6階平面図(*)



7階平面図(*)



図(*)は漆芸研究所

地階平面図



V 条例・規則等

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

香川県立ミュージアム条例

(平成 11 年 3 月 19 日条例第 6 号)

(設置)

第 1 条 歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）を高松市に設置する。

2 ミュージアムの分館として、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を置く。

(職員)

第 2 条 ミュージアムに、館長、学芸員その他の職員を置く。

(使用料の納入)

第 3 条 ミュージアムを利用する者は、香川県使用料、手数料条例（昭和 27 年香川県条例第 2 号）の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第 4 条 ミュージアムを利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(委任)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 11 年 11 月 16 日から施行する。
(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成 16 年 3 月 26 日条例第 28 号）

この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 19 年 3 月 20 日条例第 39 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例（昭和 27 年香川県条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則（平成 19 年 12 月 21 日条例第 72 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例（昭和 27 年香川県条例第 2 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例の一部改正)

3 附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例（昭和 32 年香川県条例第 43 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例の一部改正)

4 議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例（昭和 39 年香川県条例第 28 号）の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

香川県立ミュージアム規則

(平成 11 年 4 月 23 日教育委員会規則第 16 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム条例（平成 11 年香川県条例第 6 号。以下「条例」という。）第 4 条及び第 5 条の規定に基づき、香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(業務)

第 2 条 ミュージアムは、次の業務を行う。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

(2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。

(3) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。

(4) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等を開催すること。

(5) 前各号に掲げるもののほか、ミュージアムの目的を達成するために必要なこと。

(開館時間)

第3条 ミュージアム（瀬戸内海歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）及び香川県文化会館（以下「文化会館」という。）を除く。次条第1項において同じ。）

の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 駐車場以外の施設 午前9時から午後5時まで

(2) 駐車場 午前9時から午後10時まで

2 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

3 文化会館の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

(1) 県民ギャラリー 午前9時から午後5時まで

(2) 芸能ホール及び和室 午前9時から午後10時まで

4 教育委員会は、特別展示室又は県民ギャラリーで展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

(休館日)

第4条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

2 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

3 文化会館の休館日は、12月29日から翌年1月3

日までの日とする。

4 教育委員会は、特別展示室で展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

(利用の許可を要する施設)

第5条 ミュージアムのうち条例第4条の許可を受けなければならない施設は、特別展示室（常設展示室、ロビー又はエントランスホールのうち特別展示室と併せて展示の用に供される部分を含む。）講堂及び研修室並びに芸能ホール、県民ギャラリー及び和室（以下「特別展示室等」という。）とする。

(利用の許可)

第6条 特別展示室等に係る条例第4条前段の規定による利用の許可（以下「利用許可」という。）を受けようとする者は、香川県立ミュージアム利用許可申請書（第1号様式）又は香川県立ミュージアム香川県文化会館利用許可申請書（第1号様式の2）（以下「利用許可申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の利用許可申請書は、利用しようとする日（2日以上継続して利用しようとする場合は、その初日）の1年前から7日前までに提出しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

(1) ミュージアムの秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) ミュージアムの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) ミュージアムの利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

4 利用許可には、ミュージアムの管理上必要な範囲

内で条件を付することができる。

(利用の許可の変更)

第7条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、条例第4条後段の規定による変更の許可(以下「変更許可」という。)を受けようとするときは、香川県立ミュージアム利用許可変更申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前条第3項及び第4項の規定は、変更許可について準用する。

(利用の中止の届出)

第8条 利用者は、施設の利用を中止しようとするときは、香川県立ミュージアム利用中止届(第3号様式)により、教育委員会に届け出なければならない。

(資料画像等の利用の許可)

第9条 ミュージアム(文化会館を除く。)の保管に係る資料画像等の利用をしようとする者は、資料画像等利用許可申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 第6条第3項及び第4項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同条第3項第3号中「ミュージアムの利用」とあるのは、「ミュージアムの利用又は資料画像等の利用」と読み替えるものとする。

第10条から第12条まで 削除

(利用の許可の取消し等)

第13条 教育委員会は、利用者又は第9条第1項の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消し、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止を命ずることができる。

(1) この規則の規定に違反し、又は教育委員会の指示に従わなかったとき。

(2) 偽りその他不正の手段により利用許可若しくは変更許可又は第9条第1項の許可を受けたとき。

(3) 第6条第3項各号(第9条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当することとなったとき。

(4) 第6条第4項(第7条第2項及び第9条第2項において準用する場合を含む。)の規定により付された

許可の条件に違反したとき。

(5) 納期限までに使用料を納付しないとき。

(入館の拒否等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑を及ぼした者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯する者

(3) 前2号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(損害賠償の責任)

第15条 利用者又は第9条第1項の許可を受けた者は、その責めに帰すべき理由により利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消され、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用を停止されたために損害を被る場合においても、その損害の賠償を請求することができない。

2 ミュージアムの施設、設備、器具、展示品等を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

3 ミュージアムに保管を委託された資料が、災害その他の不可抗力によって損傷し、又は滅失した場合は、損害賠償の責任を負わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成11年11月16日から施行する。

附 則(平成12年3月31日教育委員会規則第23号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則(平成13年3月27日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則(平成13年5月8日教育委員会規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成13年7月24日教育委員会規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成 14 年 3 月 29 日教育委員会規則第 21 号）

この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 15 年 3 月 31 日教育委員会規則第 7 号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。
（香川県歴史博物館規則の一部改正に伴う経過措置）
- 3 この規則の施行の際現に交付されている第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票は、それぞれ第 3 条の規定による改正後の同規則第 11 条第 1 項第 1 号又は第 2 号に規定する証票とみなす。
- 4 この規則の施行の際現に香川県歴史博物館の駐車場を第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則別表第 5 号の表に規定する 5,590 円券により利用している者の当該利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 16 年 3 月 29 日教育委員会規則第 4 号抄）

- 1 この規則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 3 月 31 日教育委員会規則第 4 号）
この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 7 月 28 日教育委員会規則第 28 号）
この規則は、平成 18 年 8 月 1 日から施行する。ただし、別表第 5 号の表の改正規定中「7,800 円券」を「6,000 円券」に、「6,500 円」を「5,000 円」に、「13,000 円券」を「1 万円券」に、「10,500 円」を「8,000 円」に改める部分は、同年 9 月 1 日から施行する。

附 則（平成 18 年 9 月 29 日教育委員会規則第 29 号）

- 1 この規則は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。
- 2 障害者自立支援法（平成 17 年法律第 123 号）附則第 41 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている身体障害者更生援護施設、同法附則第 58 条第 1 項の規定によりなお従前の例により運営されている知的障害者援護施設又は同法附則第 48 条の規定によりなお従前の例により運営されている精神障害者社会復帰施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するものについては、第 3 条の規定による改正後の香川県立ミュージアム規則第 11 条第 1 項の規定にかかわらず、同法附則第 1 条第 3 号に掲げる規定の施行の日の前日までの間は、なお従前の例により観覧料を

免除する。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 5 号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 3 第 3 条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成 19 年 3 月 30 日教育委員会規則第 6 号）
この規則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 5 号）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
（経過措置）
- 2 この規則の施行の日の前日までに香川県歴史博物館の利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。
- 3 改正前の第 1 号様式から第 4 号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成 20 年 3 月 25 日教育委員会規則第 6 号）
この規則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 20 年 10 月 31 日教育委員会規則第 19 号）
この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び第 6 条の改正規定並びに第 1 号様式の次に 1 様式を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成 20 年 11 月 21 日教育委員会規則第 20 号抄）
（施行期日）

- 1 この規則は、平成 20 年 12 月 1 日から施行する。
- 附 則（平成 21 年 2 月 10 日教育委員会規則第 2 号）
この規則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。
- 附 則（平成 22 年 3 月 31 日教育委員会規則第 8 号）
- 1 この規則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。
 - 2 この規則の施行の日の前日までに香川県立ミュージアムの利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 9 号）
この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会規則第 11 号）
この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 24 年 3 月 30 日教育委員会規則第 8 号）
この規則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会規則第 10 号）
この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日教育委員会規則第 2 号）
1 この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。
2 改正前の第 1 号様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

教育委員会の権限に属する事務の委任

（平成 19 年 4 月 6 日教育委員会告示第 7 号）
地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 7 の規定により、平成 19 年 4 月 1 日から次の表の左欄に掲げる者に当該右欄に掲げる香川県教育委員会の権限に属する事務を委任した。

左 欄	右 欄
政策部 文化芸術局長	1 香川県立ミュージアムの管理運営に関する事務（重要なものに限る。）
香川県立ミュージアム館長	1 香川県立ミュージアム条例（平成 11 年香川県条例第 6 号）第 4 条に規定する利用の許可及び利用の許可の変更に関すること。 2 香川県立ミュージアム規則（平成 11 年香川県教育委員会規則第 16 号。以下「ミュージアム規則」という。）第 3 条第 4 項に規定する開館時間の変更 3 ミュージアム規則第 4 条第 4 項に規定する休館日の変更及び設定

4 ミュージアム規則第 8 条に規定する利用の中止の届出の受理
5 ミュージアム規則第 9 条に規定する資料画像等の利用の許可に関すること。
6 ミュージアム規則第 13 条に規定する利用許可若しくは変更許可若しくは資料画像等の利用の許可の取消し又は香川県立ミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止の命令に関すること。
7 ミュージアム規則第 14 条に規定する入館の拒否及び退館の命令に関すること。
8 地方自治法第 238 条の 4 第 7 項に規定する行政財産の使用の許可に関すること。
9 ミュージアム規則に定めるもののほか、香川県立ミュージアムの管理運営に必要な事項を定めること（政策部文化芸術局長の項に定めるものを除く。）。

前 文（抄）（平成 20 年 3 月 28 日教育委員会告示第 1 号）
平成 20 年 4 月 1 日から施行する。
前 文（抄）（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会告示第 4 号）
平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
前 文（抄）（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会告示第 2 号）
平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

前 文 (抄) (平成 27 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号)

平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

香川県立ミュージアムの管理運営のための組織規則

(平成 19 年 3 月 30 日規則第 29 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の管理運営を行うための組織について定めるものとする。

(組織)

第 2 条 ミュージアムに、総務課、学芸課、瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。)を置く。

(分掌事項)

第 3 条 総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算、決算及び会計に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用及び管理に関すること。
- (4) 公印の管理に関すること。
- (5) 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、学芸課、資料館及び文化会館の所掌に属しない事項に関すること。

2 学芸課は、次の事務を処理する。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示に関すること。
- (3) 資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

(5) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

3 資料館は、次の事務を処理する。

- (1) 瀬戸内地方の資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 瀬戸内地方の資料の展示に関すること。
- (3) 瀬戸内地方の資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。

(4) 瀬戸内地方の資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。

(5) 瀬戸内地方の歴史及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

(6) 前各号に掲げるもののほか、館長が資料館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

4 文化会館は、次の事務を処理する。

(1) 文化会館の施設、附属設備、器具等の利用及び管理に関すること。

(2) 公印の管理に関すること。

(3) 前 2 号に掲げるもののほか、館長が文化会館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

(職員)

第 4 条 ミュージアムに、次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 課長
- (4) 瀬戸内海歴史民俗資料館長
- (5) 香川県文化会館長
- (6) 香川県文化会館次長
- (7) 副主幹
- (8) 主任専門職員
- (9) 主任専門学芸員
- (10) 主任文化財専門員
- (11) 主任
- (12) 専門職員
- (13) 専門学芸員
- (14) 文化財専門員
- (15) 主任学芸員
- (16) 学芸員
- (17) その他の職員

(職務)

第 5 条 館長は、上司の命を受けて、ミュージアムの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐する。

3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を処理する。

4 瀬戸内海歴史民俗資料館長は、上司の命を受けて、資料館の事務を処理する。

5 香川県文化会館長は、上司の命を受けて、文化会

館の事務を処理する。

6 香川県文化会館次長は、香川県文化会館長を補佐する。

7 副主幹及び主任は、上司の命を受けて、事務を処理する。

8 主任専門職員、主任専門学芸員、主任文化財専門員、専門職員、専門学芸員、文化財専門員、主任学芸員及び学芸員は、上司の命を受けて、ミュージアムの専門的事務を処理する。

9 その他の職員は、上司の命を受けて、事務に従事する。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの組織に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月28日規則第25号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月27日規則第28号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

香川県立ミュージアム使用料規則

(平成25年3月29日規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号)第1条第1項の香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する規則で定める額並びに特別展示室を分割して利用する場合の使用料、利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後5時後の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料並びに駐車場を回数券により利用する場合の使用料、同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム瀬戸内海歴史民俗資料館の項に規定する規則で定める

額並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する規則で定める額並びに芸能ホールを準備又は練習のために利用する場合の使用料、県民ギャラリー又は和室を分割して利用する場合の使用料、芸能ホール又は和室を利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後9時後(県民ギャラリーにあっては、午後5時後)の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料は、別表第1のとおりとする。

2 香川県使用料、手数料条例別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する歴史展示室、常設展示室及び特別展示室を香川県立ミュージアム年間観覧券(以下「年間観覧券」という。)により観覧する場合の観覧料並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する県民ギャラリーを年間観覧券により観覧する場合の観覧料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の還付)

第3条 次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額の使用料を還付する。

(1) 天災地変その他香川県立ミュージアム規則(平成11年香川県教育委員会規則第16号。以下「ミュージアム規則」という。)第7条第1項に規定する利用者(以下「利用者」という。)の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。 全額

(2) ミュージアム規則第7条第1項に規定する変更許可により過納額が生じたとき。 当該過納額

(3) ミュージアム規則第5条に規定する特別展示室等を利用する日(2日以上継続して利用する場合は、その初日)の1月前までにミュージアム規則第8条の規定による届出があったとき。 半額

(観覧料の免除)

第4条 第1号から第7号までのいずれかに該当する者については歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、第8号に該当する者については歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第9号に該当する者については特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する日に限り歴史展示室及び常設展示

室の観覧料を、第 10 号に該当する者については知事が定める観覧料を免除する。

(1) 65 歳以上の者

(2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条第 4 項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている者

(3) 都道府県知事又は地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 252 条の 19 第 1 項に規定する指定都市の市長が交付した療育手帳に本人として記載されている者

(4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条第 2 項の規定により交付を受けた精神障害者保健福祉手帳に精神障害の状態にある者として記載されている者

(5) 保護施設、児童福祉施設及び老人福祉施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するもの

(6) 学校等における教育活動として、学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者を引率の上入室する者

(7) 国際博物館の日（5 月 18 日（その日がミュージアム規則第 4 条に規定するミュージアムの休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休館日でない日））に入室する者

(8) 法人等会員証（県が法人等（法人その他の団体及び事業を行う個人をいう。以下同じ。）に対し交付するミュージアムの利用に係る証票をいう。以下同じ。）の交付を受けている法人等の関係者であって当該法人等会員証を利用する権利を有する者

(9) 特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する者

(10) 前各号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、同号に該当することを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

3 第 1 項第 2 号に掲げる者は、入室の際、身体障害者手帳を提示しなければならない。

4 第 1 項第 3 号に掲げる者は、入室の際、療育手帳を提示しなければならない。

5 第 1 項第 4 号に掲げる者は、入室の際、精神障害

者保健福祉手帳を提示しなければならない。

6 第 1 項第 5 号に掲げる者は、入室の際、当該施設に在籍していることを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

7 第 1 項第 6 号に掲げる者は、あらかじめ、観覧料免除申請書（別記様式）を知事に提出し、その許可を受けなければならない。

8 第 1 項第 8 号に掲げる者は、入室の際、法人等会員証を提示しなければならない。

9 第 1 項第 9 号に掲げる者は、入室の際、特別展示室観覧券又は県民ギャラリー観覧券を提示しなければならない。

（観覧料の減額）

第 5 条 次の各号のいずれかに該当する者については、歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、団体で利用する場合における歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料に相当する額に減額する。

(1) かがわウェルカムカード（公益社団法人香川県観光協会が外国人に対し交付する証票で、当該外国人が県内の観光に関する施設等を利用する際に提示することにより当該利用に係る料金の割引等を受けることができるものをいう。以下同じ。）の交付を受けている者

(2) 文化観光施設入場割引券（公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが県内で開催される大会等の参加者に対し交付する証票で、当該参加者が県内の観光に関する施設等を利用する際に提出することにより当該利用に係る料金の割引を受けることができるものをいう。以下同じ。）の交付を受けている者

(3) 前 2 号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、かがわウェルカムカードを提示しなければならない。

3 第 1 項第 2 号に掲げる者は、入室の際、文化観光施設入場割引券を提出しなければならない。

4 次の各号のいずれかに該当する者については、特別展示室及び県民ギャラリーの観覧料を、その 2 分の 1 に相当する額に減額する。この場合において、10 円

未満の端数は切り捨てるものとする。

(1) 年間観覧券の交付を受けている者（以下「パスポート会員」という。）（年間観覧券により観覧する場合を除く。）

(2) パスポート会員に同行して観覧する者（観覧 1 回につき 1 人に限る。）

5 前項第 1 号に掲げる者は、入室の際、年間観覧券を提示しなければならない。

6 学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者並びに前条第 1 項第 1 号から第 4 号までのいずれかに該当する者については、第 2 条第 2 項に規定する観覧料を、その 3 分の 1 に相当する額に減額する。この場合において、10 円未満の端数は、切り捨てるものとする。

（資料画像等使用料の免除）

第 6 条 次の各号のいずれかに該当する者については、資料画像等使用料を免除する。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する教育、学術上の調査研究又は啓発を目的として資料画像等の利用をする者

(2) ミュージアムの広報に資する用途に供することを目的として資料画像等の利用をする者

(3) 前 2 号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

（補則）

第 7 条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの使用料に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 26 年 3 月 31 日規則第 30 号）

この規則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日規則第 14 号）

この規則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 22 号）

この規則は平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 29 年 3 月 14 日規則第 9 号）

この規則は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

付 則（平成 31 年 3 月 19 日規則第 7 号）

この規則は平成 31 年 10 月 1 日から施行する。

（別表省略）

香川県政策部文化芸術局における歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針

（趣旨）

第 1 条 この収集方針（以下「方針」という。）は、香川県政策部文化芸術局（以下「局」という。）における歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針について定めるものとする。

（方針）

第 2 条 方針は、「収集の目的」、「資料の範囲」、「収集の対象」について別表のとおり定めるものとする。

（資料収集要綱等）

第 3 条 局の所管する各文化施設は、別に定める収集要綱及び要領等に基づき、資料収集、調査研究、鑑定評価等の手続きを行うものとする。

附 則

1 この方針は、平成 31 年 2 月 1 日から施行する。

別表

	収集の目的	資料の範囲	収集の対象
1 歴 史	香川県の歴史を解明し、その特質を国内外の中に位置付けることで、県民の郷土がもつ文化・歴史への理解を深める。	古文書を始めとする記録資料のほか、考古資料や美術工芸品、民俗・生活資料等の非文字資料もその中に含む。考古資料や民俗・生活資料は、文字資料と一体となった資料群として収	① 香川県の歴史・文化を理解する上で必要と認められる資料及び資料群 ② 歴史資料として保存すべき価値が高い資料、資料群及びコレクション ③ 展示、調査研究、学習支援活動を行

		集する場合に、歴史資料として扱う。また、美術工芸品については近世以前に制作されたものを歴史資料として扱う。ただし、資料群として収集する場合はこの限りではない。	う上で必要と認められる資料及び資料群 ④国指定文化財及び県・市町指定文化財。 もしくはそれに準じる資料
--	--	---	---

2 美術	香川県にまつわる芸術の動きをとらえ、国内外の動向に位置づけることでその魅力を紹介する等により、県民が美術に親しみ、文化芸術への関心をさらに高め、創造性を育む機会を充実させる。	創造的行為の産物であり、かつ時代状況を反映するような意義を持つ作品及びその関連資料。	①香川県及び瀬戸内地方にゆかりのある優れた作品 ②国内の近代以降の絵画、版画、彫刻・立体造形、工芸、デザイン、建築、写真、書等の流れをたどることができる作品 ③香川県及び国内の近現代美術に大きな影響を与えた国
---------	---	--	--

			外の優れた作品、及びその影響の系譜をたどることができる作品。 ④現代の表象としての意義がある作品 ⑤その他、展示、調査研究、学習支援活動を行う上で必要と認められる作品 ⑥上記の作品を理解するうえで役立つ資料および資料群
3 民俗	香川県及び瀬戸内地方の民俗資料を能動的に収集し、新たなコレクション形成を目指すとともに、現在行われている行事、生活等を積極的に画像や映像で収集し、変化衰滅が著しい民俗文	古くから民間で伝承・使用されてきた衣食住・生産・生業・人の一生・年中行事・信仰等くらしのあらゆる場面で使われていた有形の道具や祭り・行事・民俗芸能等の無形の資料。また、近代以降	①香川県及び瀬戸内地方の有形・無形の民俗を理解する上で必要と認められる資料及び資料群、映像等の記録類 ②民俗資料として保存すべき価値が高い資料、資料群及びコレクション

	化の記録と 衰滅後の復 活に資する。 また、近代以 降の生活の 変化を物語 る再現展示 を可能にす る道具・資料 の体系的収 集を目指す。	の生活の変 化を示す電 気製品を始 めとする機 械製品など 大量生産品 などの資料。	ン ③国指定文 化財及び県・ 市町指定文 化財。もしくはそれに準 じる資料 ④展示、調査 研究、学習支 援活動を行 う上で必要 と認められ る資料及び 資料群 ⑤近代・現代 の生活資料 （大量生産 品を含む）の うち、世相や 流行を反映 したものや、 生活様式を 大きく変化 させたもの 等、歴史的・ 社会的・技術 史的に重要 性が認めら れる資料及 び資料群
--	--	---	---

香川県政策部文化芸術局における歴史、美術 及び民俗に関する資料収集要綱

（趣旨）

第1条 この要綱は、香川県政策部文化芸術局（以下「局」という。）における歴史、美術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）の収集に関し、必要な事項を定める。

（収集する資料）

第2条 収集は、「香川県政策部文化芸術局の歴史、美術及び民俗に関する資料収集方針」に基づき、歴史、美術及び民俗に関する実物のほか、標本、複写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、電磁的記録その他の資料について行う。

（資料収集の方法）

第3条 資料の収集は、次の各号に掲げる方法により行う。

- （1）購入
- （2）寄贈
- （3）寄託
- （4）発掘・採集
- （5）製作

（資料の調査研究・鑑定評価・意見聴取）

第4条 局の所管する各文化施設の長（以下「各文化施設の長」という。）は、資料を収集しようとするときは、あらかじめ当該資料について調査研究及び鑑定評価を行うものとする。

2 購入価格が1件100万円を超える資料を購入しようとするときは、長が別に定めるところにより意見聴取を行うものとする。

（申込書の提出）

第5条 各文化施設の長は、寄贈又は寄託の申込みがあった資料を収集しようとするときは、速やかに当該資料の所有者に対し、寄贈申込書（様式1）又は寄託申込書（様式2）の提出を求めるものとする。ただし、寄贈申込書又は寄託申込書により難いときは、その都度別に定めるところによるものとする。

（寄託契約）

第6条 寄託資料は、歴史、美術及び民俗に関する資料寄託契約書（様式3）に目録を添付し、受託するものとする。

（寄託期間）

第7条 寄託契約の期間は、原則として2年とし、期間満了の2か月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に契約期間を更新したものとする。ただし、契約期間中において、特別な事情が生じたときは、寄託者と協議のうえ寄託資料を返還するものとする。

(受領書の交付)

第8条 寄贈資料又は寄託資料を受領した場合は、速やかに受領書（様式4）を寄贈申込者又は寄託申込者に交付する。

(感謝状の贈呈)

第9条 資料の寄贈申込者に対しては、資料の寄贈に伴う感謝状贈呈基準（別記）に基づいて感謝状の贈呈を行うものとする。ただし、特別の事情がある場合は、その都度別に定めるものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、資料の収集に関し必要な事項は、各文化施設の長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成31年2月1日から施行する。
- 2 「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」は廃止する。
- 3 「香川県立東山魁夷せとうち美術館の美術資料収集に関する要綱」は廃止する。
- 4 「香川県漆芸研究所に対する漆工芸資料の寄贈に関する要綱」は廃止する。
- 5 この要綱の施行日前に附則2項から4項までに規定する要綱の規定に基づいてなされた寄附申込、寄託契約その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

この要綱は、令和3年9月1日から施行する。

利用案内（令和6年4月1日現在）

◆本館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
 特別展開催時は夜間開館を行う場合があります。
- 休 館 日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
 ・年末年始
 ただし、ゴールデンウィークの期間は無休
- 観 覧 料 常設展（歴史展示室・常設展示室）
 一般個人 410円
 一般団体（20人以上） 330円
- ・特別展は展覧会により異なります。
 ・特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。（一部の特別展を除く）
 ・次の方は観覧料が免除されます。当館受付にて証明するものをご提示ください。
 *高校生以下
 *65歳以上
 *障害者手帳をお持ちの方
 *学校教育活動の一環として児童生徒と入室する引率者
 *このほかにも無料もしくは免除になる場合があります。
- 交通案内 JR高松駅から東へ900m
 ことでん高松築港駅から東へ800m
 ことでん片原町駅から北へ500m
 ・岡山・愛媛・高知方面から
 高松自動車道高松西ICより車で約30分
 ・徳島方面から
 高松自動車道高松中央ICより車で約25分
 ・高松空港から
 JR高松駅までリムジンバスで35分
- 駐 車 場 地下駐車場（普通乗用車50台）
 ・使用料：25分ごとに100円
 ・使用時間：午前9時～午後10時
 別に、大型バス3台駐車可能（事前申込が必要です。）
 近くに香川県玉藻町駐車場（有料）があります。



〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

TEL. 087-822-0002（代）

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum>

◆分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）
・年末年始（12月29日～1月3日）
- 観覧料 無料
- 交通案内 五色台北端部に立地
・JR高松駅から車で約25分、JR坂出駅から車で約30分
・坂出北ICから車で約30分
（いずれも県道高松王越坂出線の大崎ノ鼻経由）
- 駐車場 普通車30台、大型バス可（無料）



〒761-8001 高松市亀水町 1412-2
TEL. 087-881-4707
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/setorekishi/>

◆分館 香川県文化会館

- 利用時間 県民ギャラリー 午前9時～午後5時（金曜日は午後7時30分まで）
芸能ホール・和室 午前9時～午後10時
- 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）
- 交通案内 JR高松駅から南へ1.5km
ことでん瓦町駅から西へ1.2km
- 駐車場 香川県番町地下駐車場（有料）
高松市立中央駐車場（有料）



〒760-0017 高松市番町1-10-39
TEL. 087-831-1806

香川県立ミュージアム年報 第17号（令和6年度）

発行日 令和7（2025）年9月12日

編集発行 香川県立ミュージアム

香川県高松市玉藻町5番5号

TEL（087）822－0002（代） FAX（087）822－0043

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/kmuseum>